

ORIGAMI

TANTEIDAN

# 折紙探偵団

M A G A Z I N E

定価 600円

イベント情報

イギリスで「ON PAPER」展開催

Information About "ON PAPER" in UK



クローズアップ Close-up : "I have a Dream."

Kittaka Mihoko

"I have a Dream." ~ 私には夢がある ~ 橘高美保子

折り図

スミロドン

Smilodon

神谷哲史

Model and diagrams  
by Kamiya Satoshi

展開図折りに挑戦!

ドラゴン

Crease Pattern Challenge :  
Dragon

西川誠司

Nishikawa Seiji

隔号連載開始

Takagi Satoshi's Studies on Origami Documents and Records

高木智の 折り紙資料から

高木 智

Takagi Satoshi

好評連載

Tomoko in the Box : Fuse Tomoko / Tomoko's Shikishi-Hyakka : Tanaka Tomoko  
Tomokoのびっくり箱:布施知子 / ともこさんの色紙百花:田中具子  
Let's Enjoy Math through Origamics : Haga Kazuo / Origami Sampo Still Goes On : Maekawa Jun  
数理を楽しむオリガミクス:芳賀和夫 / も少し折紙散歩:前川 淳

通巻

68号

# 日本折紙学会 (JOAS) の理念

The Purpose of Japan Origami Academic Society

## 第一章 名称と目的

### 第一条 会の名称

1. 本会の名称は日本折紙学会とする。
2. 本会の英語での名称は、Japan Origami Academic Societyとする。
3. 本会の略称は、JOASとする。

### 第二条 会の目的

1. 本会は、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折り紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折り紙の専門研究とは、折り紙の創作、折り紙の創作技術の研究、折り紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折り紙の普及とは、折り紙の社会的認知度の向上活動、折り紙愛好者層の拡大活動、折り紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

## Chapter 1: Name and Purpose

### Article 1: Name

1. This society is to be called Nihon Origami Gakkai in Japanese.
2. This society is to be called Japan Origami Academic Society in English.
3. The abbreviated name of this society is JOAS.

### Article 2: Purpose

1. The purpose of JOAS is to promote studies of origami, diffusion of origami, and both domestic and international association of all origami-lovers.
2. The studies of origami mentioned above includes designing, designing techniques, criticism, mathematical studies, educational studies, history, bibliography, studies on the preferential right, studies of industrial and commercial design, and so on.
3. The diffusion of origami mentioned above includes widening appreciation of origami, expansion of the community of origami-lovers, scouting and rearing the origami talent, and so on.

## ●折り方の約束記号 SYMBOL FOR FOLDING

谷折り線  
Line indicating  
valley fold.

山折り線  
Line indicating  
mountain fold.

手前に折る  
Fold forward.

後ろへ折る  
Fold backward.

折り筋を  
つける  
Fold and unfold.

段折り  
Pleat.

裏返す  
Turn over.

引き出す  
Pull out flap.

図の見る  
位置が変わる  
Rotate.

図が  
大きくなる  
Diagram enlarged.

見えない  
ところ  
X-ray.

押す。  
押しつぶす  
Push here.

切る  
Cut.

## 表紙作品解説

スミロドン  
作:神谷哲史 (P.25)  
Smilodon  
Kamiya Satoshi (P.25)

■化石でのみ知られている古代の剣歯虎(サーベルタイガー)。異様なまでに巨大化した牙はインサイドアウトで表現され、凶暴なイメージをさらに増幅しています。ネコ科動物の特徴である全身の丸みをおびたフォルム、しなやかな筋肉をまとった四肢のバランスなど、作例写真を参考に仕上げの処理方法を追求してみましょう。

(解説:北條高史) Comments: Hojyo Takashi

No. **68**

**C O N T E N T S**

■ 好評連載陣

Series

**Tomokoのびっくり箱 4**

Tomoko in the Box

とってつきの長持 Japanese chest with a pull

布施知子 Fuse Tomoko

**ともこさんの色紙百花 8**

Tomoko's Shikishi-hyakka

オシロイ花 Four-o'clocks

田中具子 Tanaka Tomoko

**数理を楽しむオリガミクス 14**

Let's Enjoy Math through Origamics

面積半分の図形を折る

Fold a square sheet of paper and make a figure of the exactly half-size in area.

芳賀和夫 Haga Kazuo

**高木 智の折紙資料から 16**

Takagi Satoshi's Studies on

Origami Documents and Records

高木 智 Takagi Satoshi

**も少し 折紙散歩 18**

Origami Sampo (Origami Walk) Still Goes On

炎夏の寄り道 Loitering on the way in a hot summer day

前川 淳 Maekawa Jun

■ カラーページ

**ORIGAMI PHOTO GALLERY 20**

解説・北條高史 Comments: Hojyo Takashi

「オシロイ花」田中具子／「とってつきの長持」

布施知子／「豊國揮毫 奇術競」より「賊首児雷也」

三代豊國／「バルサー」ジニー・モズリー

Four-o'clocks: Tanaka Tomoko / Japanese chest with a pull: Fuse Tomoko / Jiraiya the Chief Bandit in Kijutsu Kurabe: Toyokuni III / PULSAR: Jeannine Mosely

■ クローズアップ

Close-up

**“I have a Dream.” 11**

～私には夢がある～

“I have a Dream.”

橘高美保子 Kittaka Mihoko

■ 折り図 Diagrams

**ゆびぺん 22**

Fing Peng

作・折り図: 木村良寿

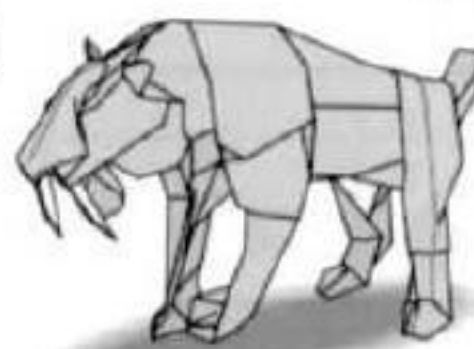
Model and Diagrams by Kimura Yoshihisa

**スミロドン 25**

Smilodon

作・折り図: 神谷哲史

Model and Diagrams by Kamiya Satoshi



**展開図折りに挑戦! 35**

Crease Pattern Challenge

**ドラゴン 34**

Dragon

西川誠司 Nishikawa Seiji

■ エッセイ・コラム Essay & Column

**おりすじ 33**

Orisuji ("Fold-Creases") 鈴木美恵子 Suzuki Mieko

**折紙三昧 34**

Origami-Zanmai (This Origami and That) 西川誠司 Nishikawa Seiji

■ インフォメーション

**つまみおり 36**

Rabbit Ear (Information)

・訃報・・・伏見満枝さん逝く

Obituary: Fushimi Mitsue

・イギリスでON PAPER展開催

Information About "ON PAPER" in UK

・21世紀自然科学と折紙への招待～富山大学公開講座～  
 A Trip to the 21st Century Natural Science and "Origami"

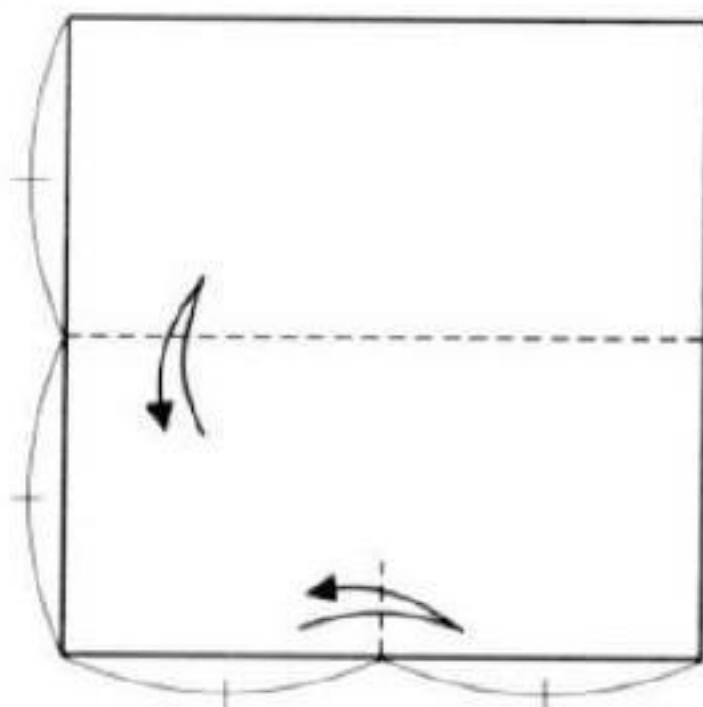
# とってつきの長持

とってのついた長方形の箱です。ふたに合わせる本体の寸法のとり方が多少面倒ですが、きっちりぴったりしたできあがりになります。

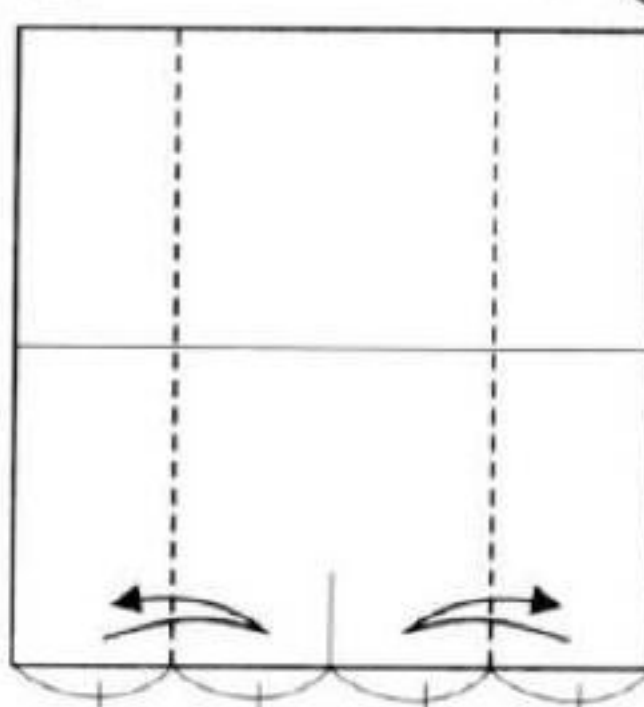


## とってつきの長持（ふた） The lid of the chest

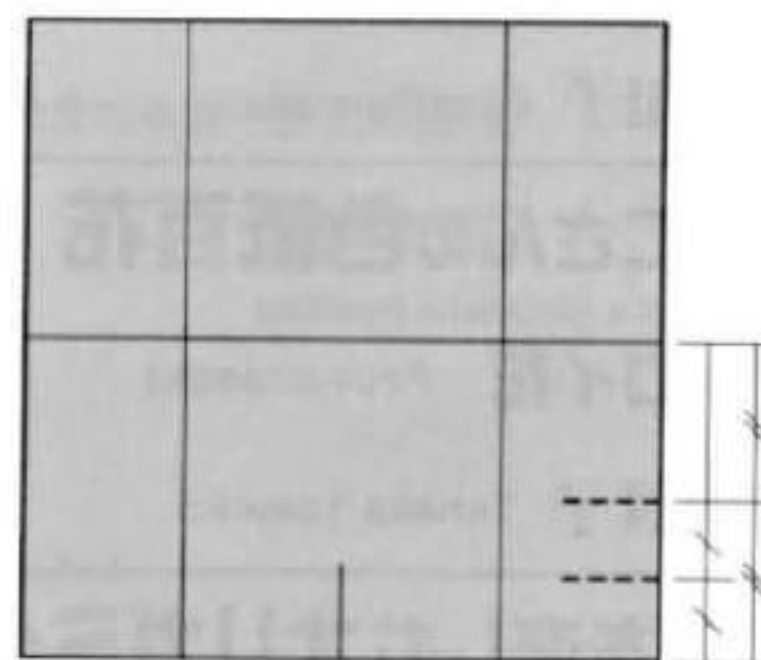
① 図のような折り線をつける



②

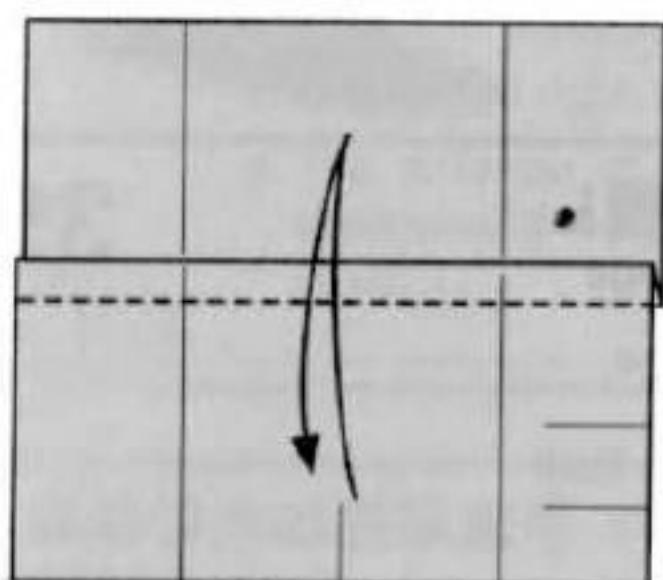


③ 図のような折り線をつける



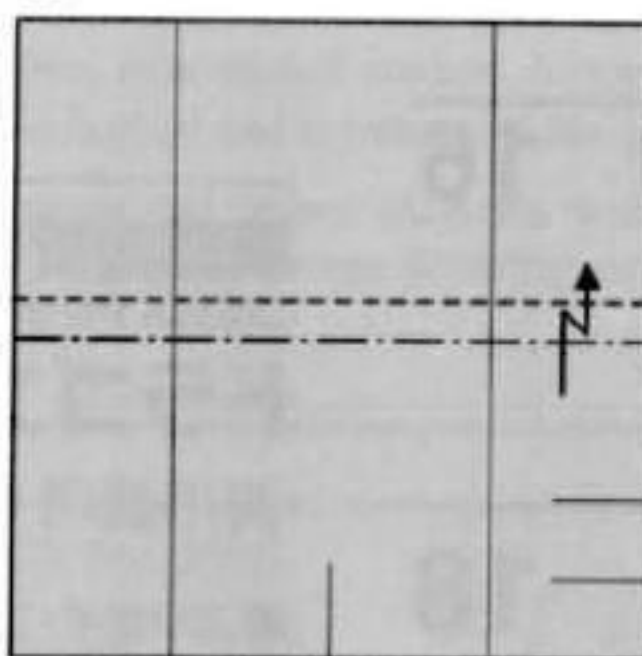
⑥

後ろに合わせて折り線をつける

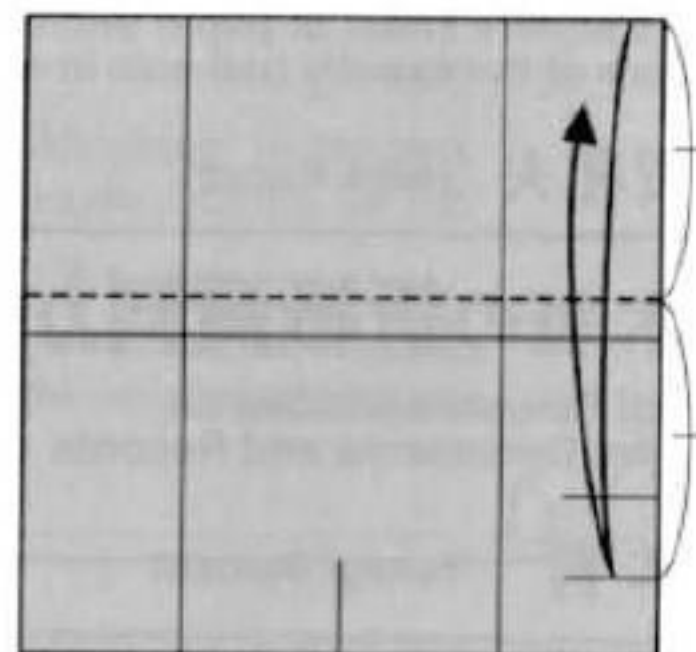


⑤

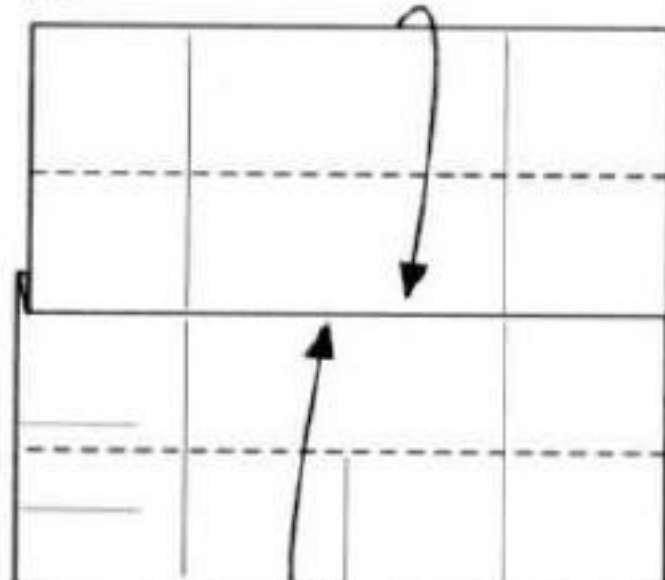
段に折る



④

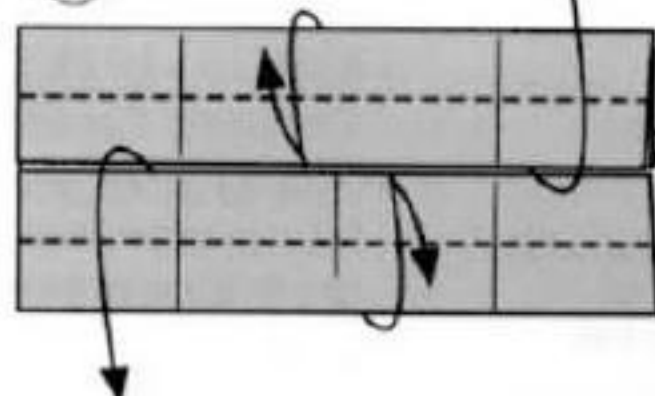


⑦

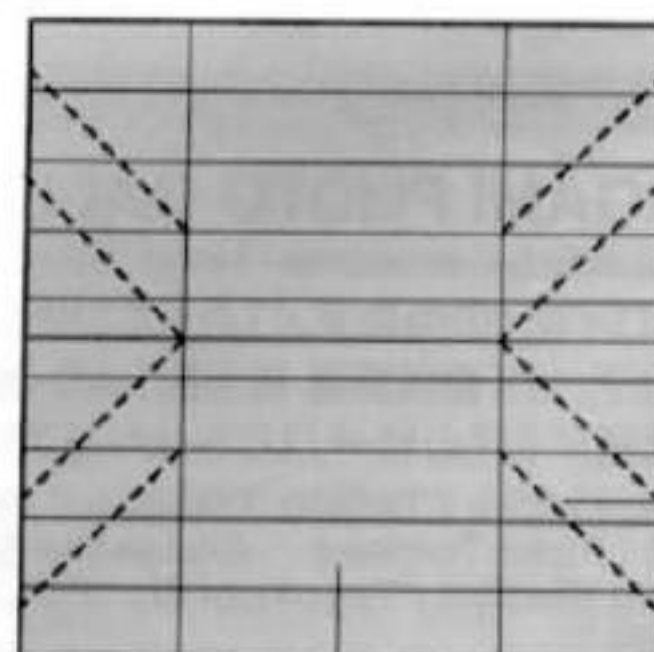


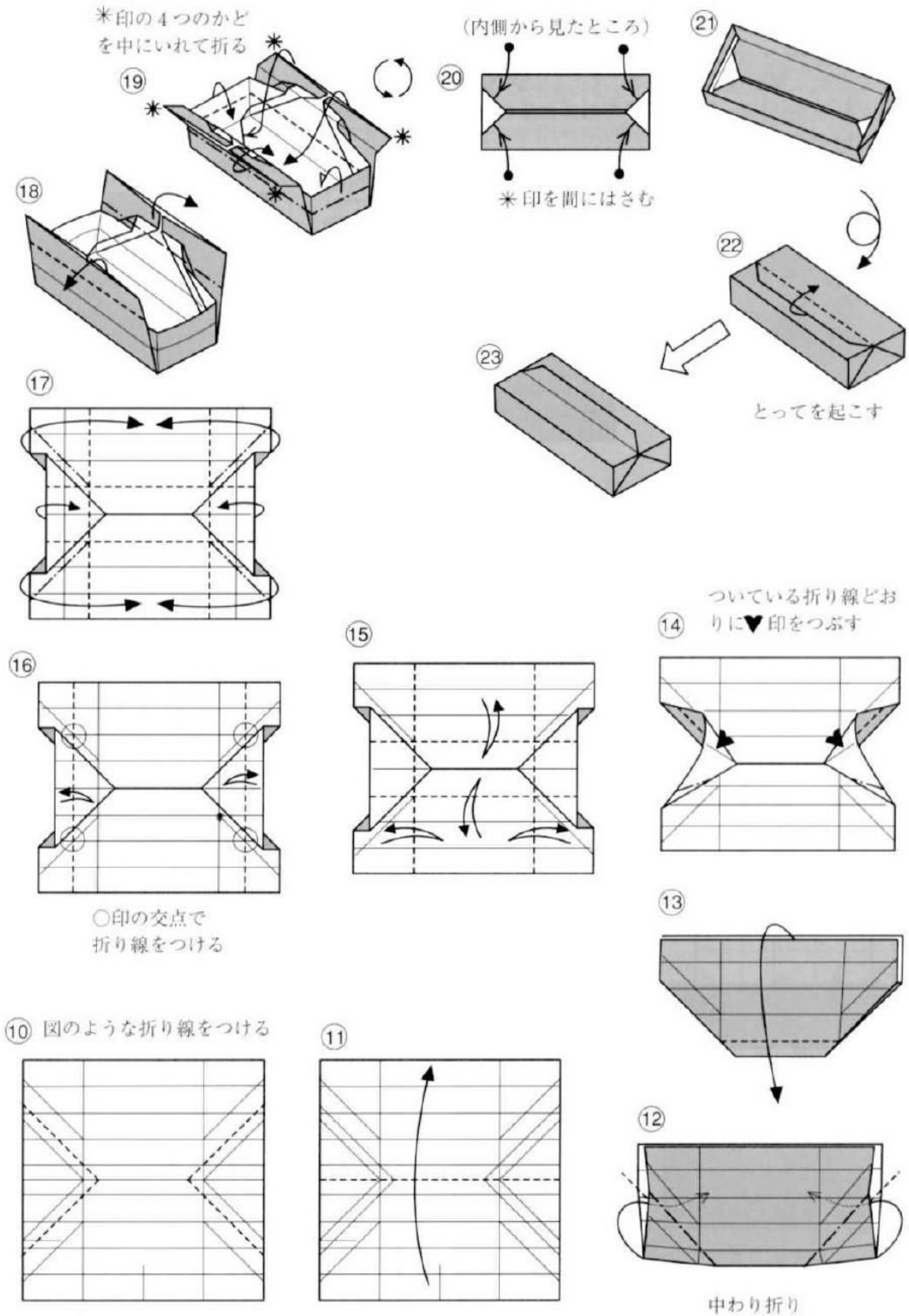
⑧

折り線をつけたら全部開く



⑨ 図のような折り線をつける

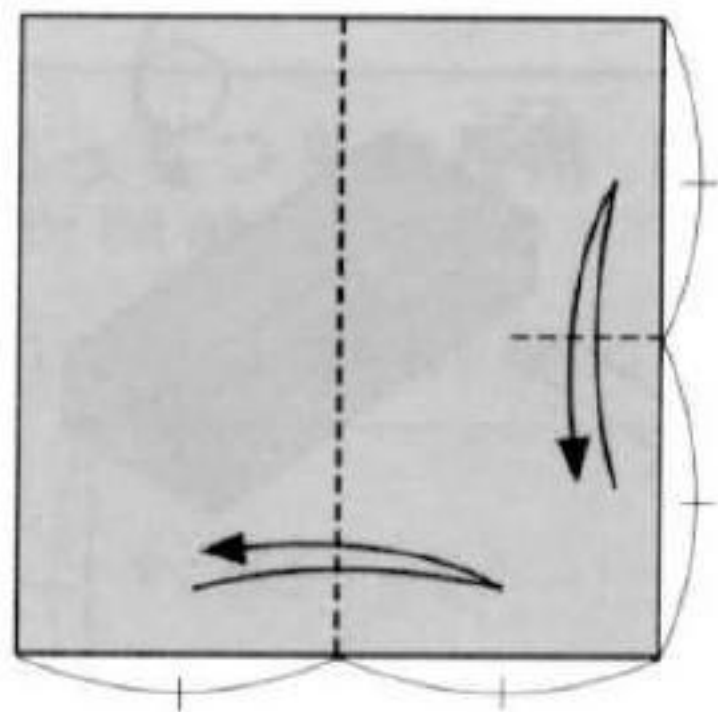




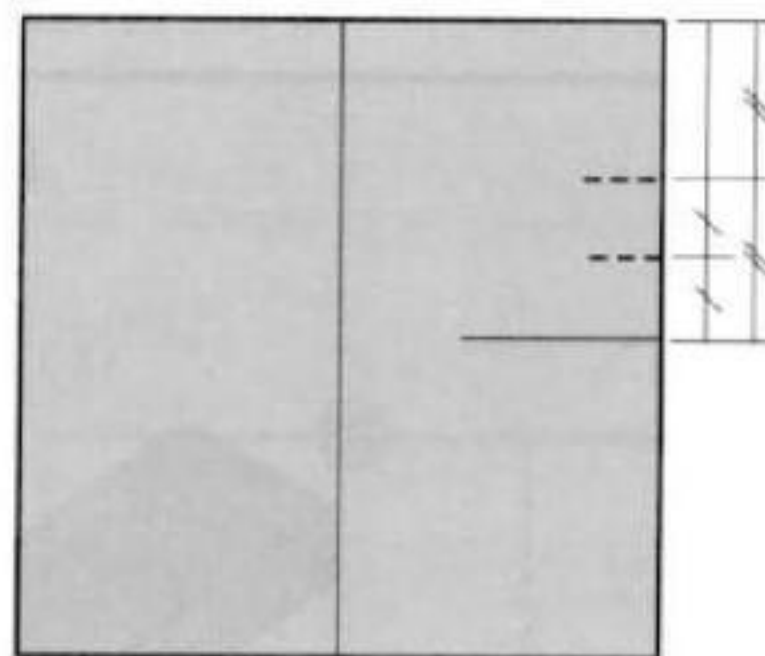
## とってつきの長持（本体） The container part of the chest

本体はふたより底面が小さくなるように折ります。底面の短辺を、辺の5分の1にするとほどよい大きさになります。④までの手順がその折り出しで、⑨で示した部分が底面になります。つまり、ふたと本体がほどよい大きさになればよいので、abはこの折りにこだわらず、自由に折ってかまいません。なおこの折り方の基本は『ギフトボックス』（NHK出版）で紹介してあります。

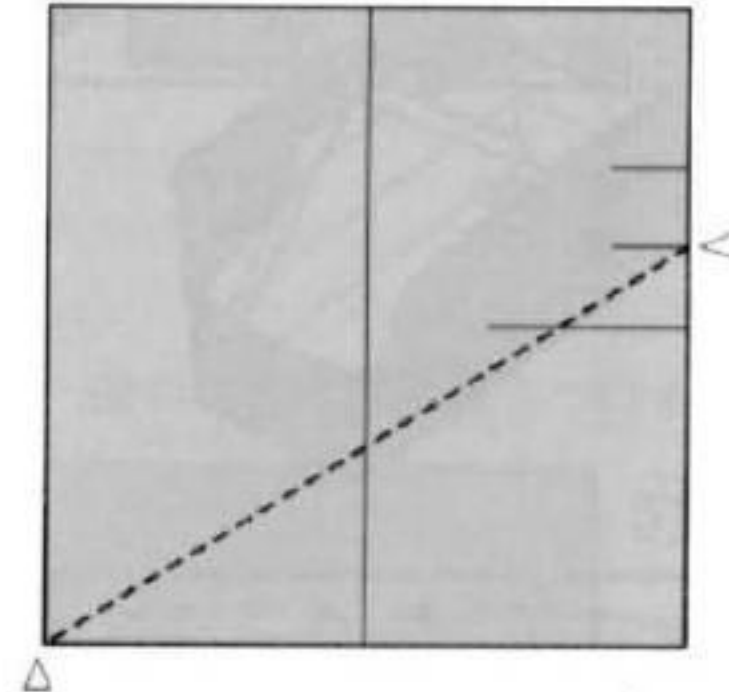
① 図のような折り線をつける



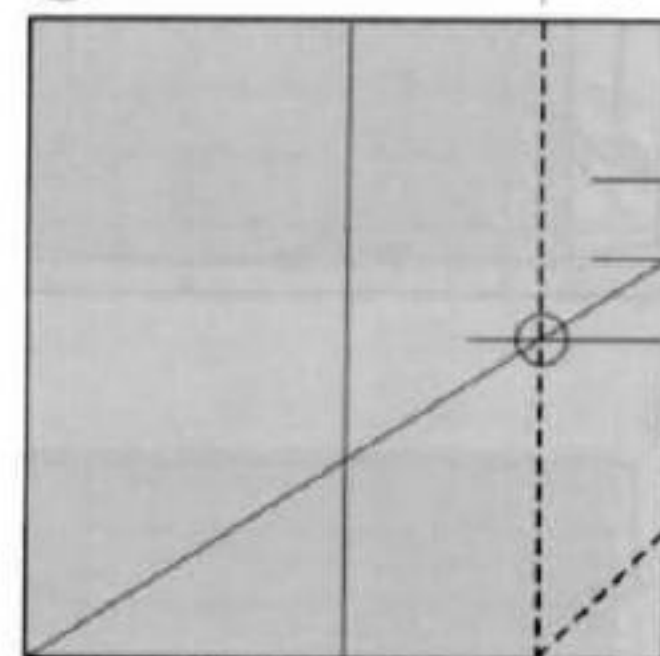
② 図のような折り線をつける



③ 図のような折り線をつける

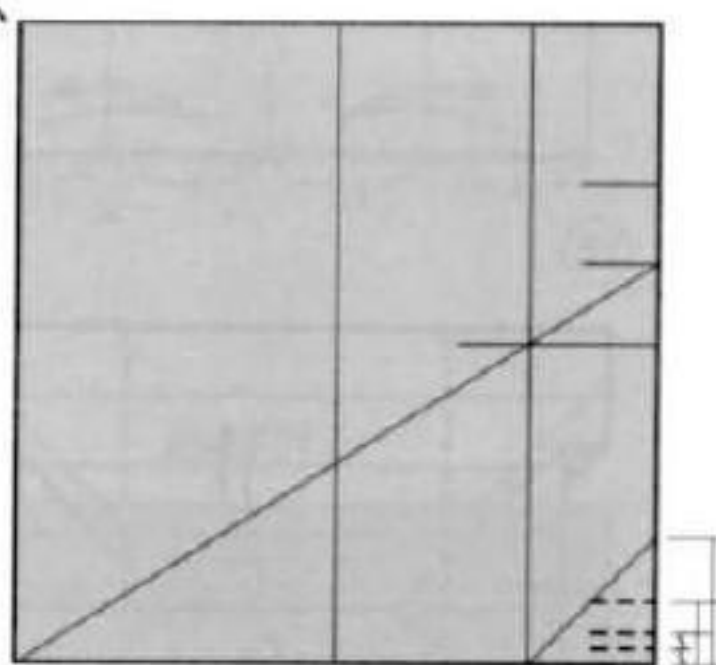


④ 図のような折り線をつける

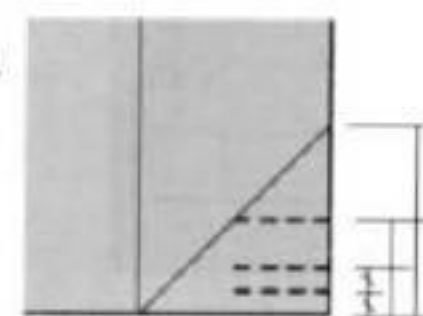


○印の交点で折り線をつける

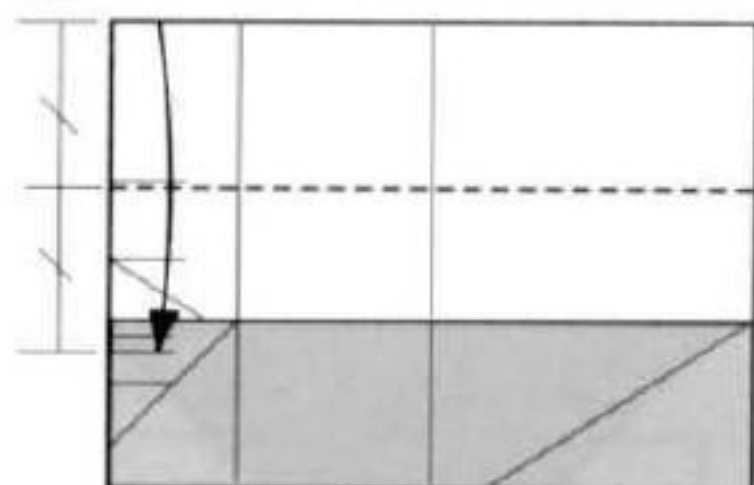
⑤



図のような折り線をつける

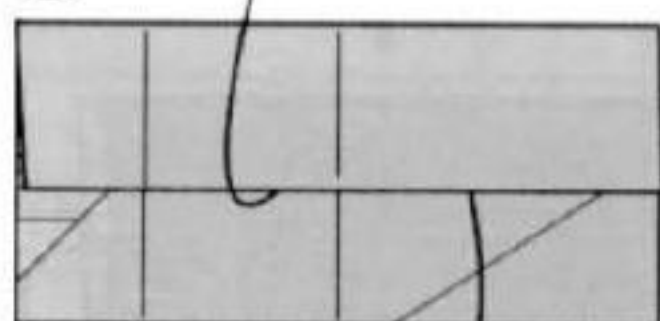


⑥



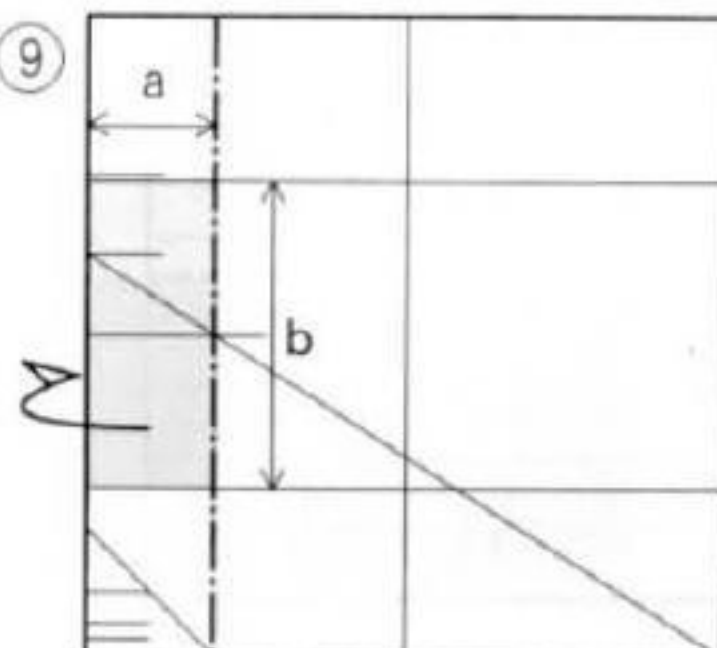
薄く色のついた部分が底面になる。  
a bの幅がふたと合わせたとき、  
ほどよい大きさで小さければよい。

⑦

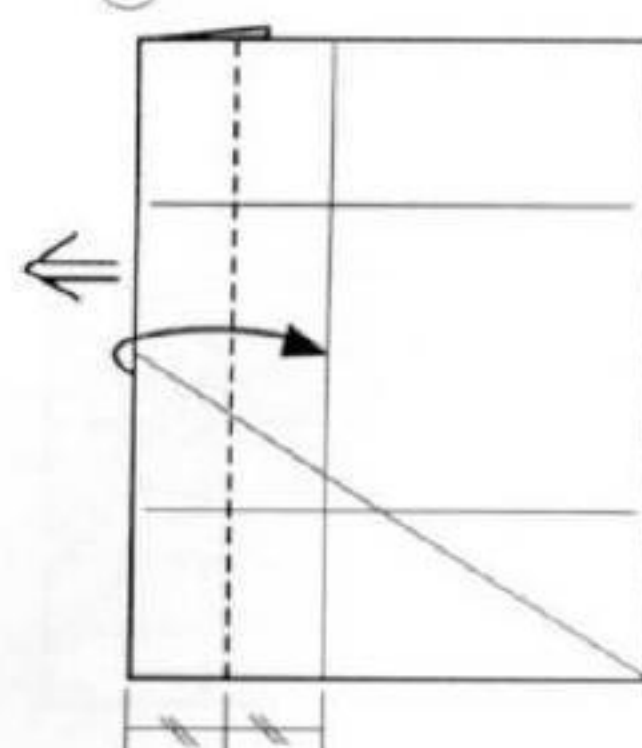


ひらく

⑧



⑨



# ショートエッセイ「墓場の花」

今は無人となった集落の、道路より一段下がったところに墓場がある。新しくて立派な墓石が最後にご不幸のあった家のもの。その花入れに挿してある花を見て、タロ氏が言った。「まだひまわりが咲いているのかね」「あれ造花だよ、気がつかなかったの？ ばっかじゃなかるか」あきれて答える。

黄色いひまわりと青いガーベラと白菊と。秋のお彼岸から初冬へと季節が移って、移るほどにそれは目立ってきた。そのころにこのタロ氏のせりふ。同じ景色の中で違うものを見ている。それぞれだ。

当家の大家さんの墓は、塩の貝集

落にある。このあたりでは集落ごとに墓場がある。運転免許のない母さんは、春秋のお彼岸に必ずしも墓参りに来れない。免許のある若いものの都合による。「ホトケ様は向こうにもあるから、こなんでもいいんだけんど」とおっしゃる。

墓場で造花を見かけるのはめずらしいことではない。つる草があばれて原野化しつつある中で見かけたとき、その対比に、しばし言葉が出ない。自身の祖母を思い出す。ナイロンやプラスチックが環境汚染を引き起こすなんて考えてもみない世代。若い人に墓場に造花を挿すという発想は浮かばないだろう。

このところ新刊のために、毎日くす玉を作っている。締めきりをにらみつつ、ひとりで数を折るのはたいへんで、「たのしい折り紙」とばかりはいかず、ため息もでる。

『薬玉』1/ 種々の香料を詰めた錦の袋に薬草や造花をつけ、長い五色の糸を垂らした飾り物…。2/ 造花などで1に似せて作った飾り物の玉。式典、祝い事などに用い…。(大辞泉)

折り紙の薬玉を大量に作りながら、墓場の造花のこと、昨日拾ったキツキ卵のこと、菜園のルッコラのこと、ダリアのこと、だれそれさんのこと、今日のおかずのこと、あれこれとりとめなく考えている。

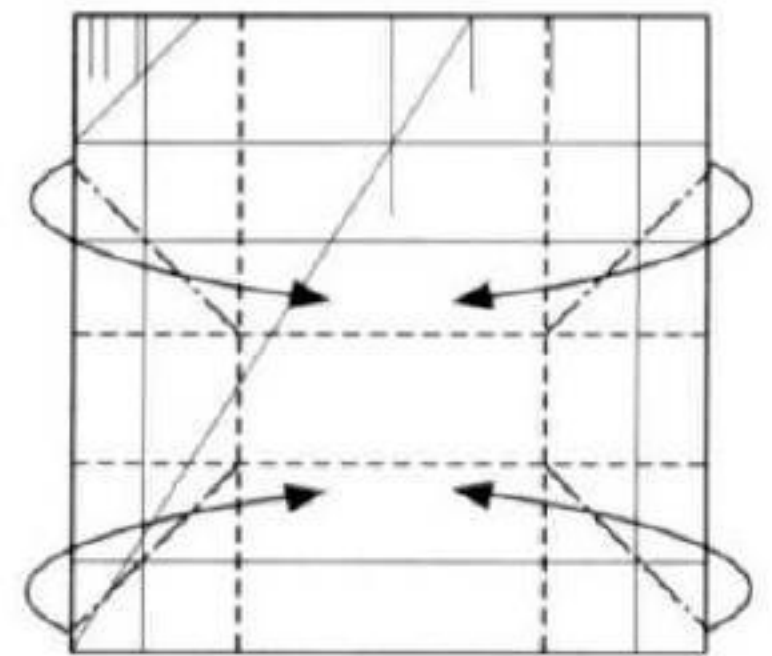
ふたをかぶせる

中に折りこむ

18

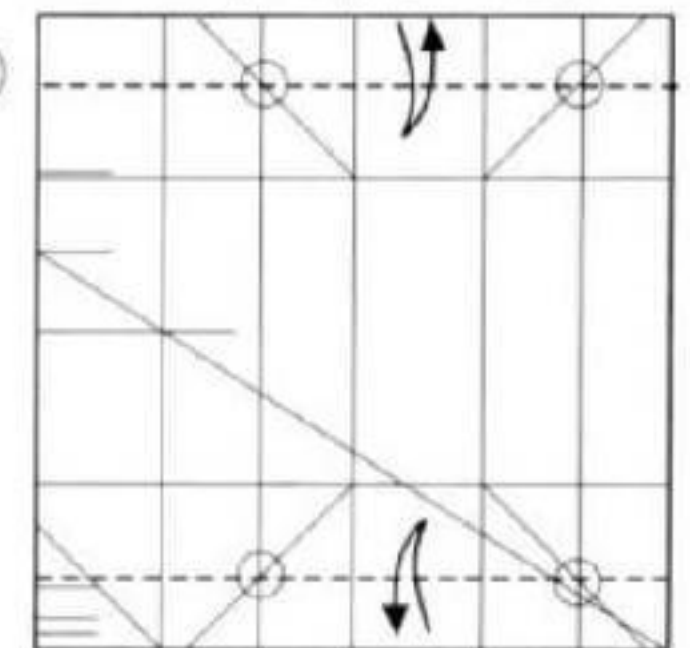
17

16 折り線どおりにまとめる



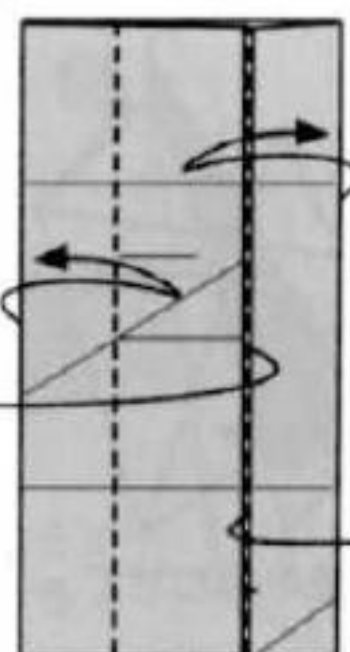
○印の交点で  
折り線をつける

15



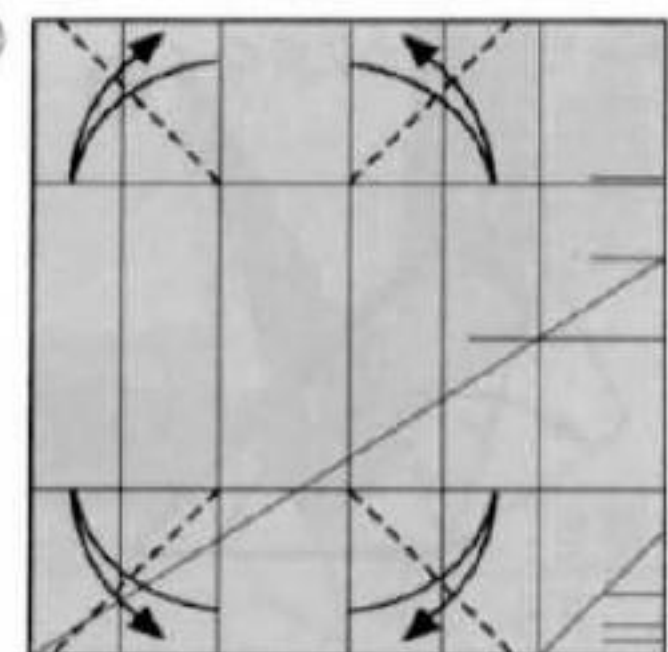
折り線をつけ  
たら開く

13

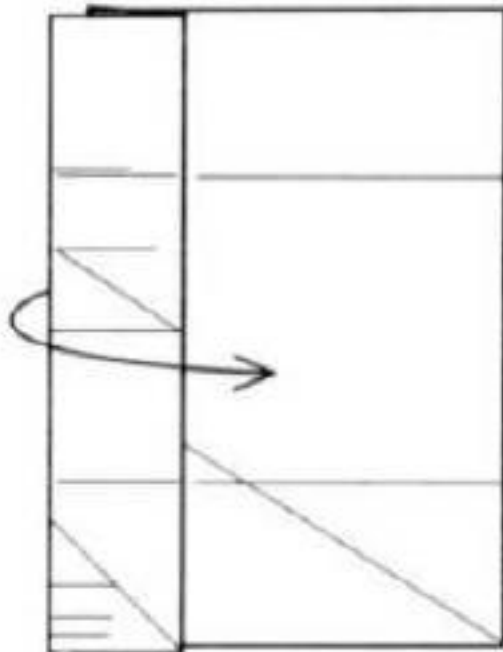


図のような折り線をつける

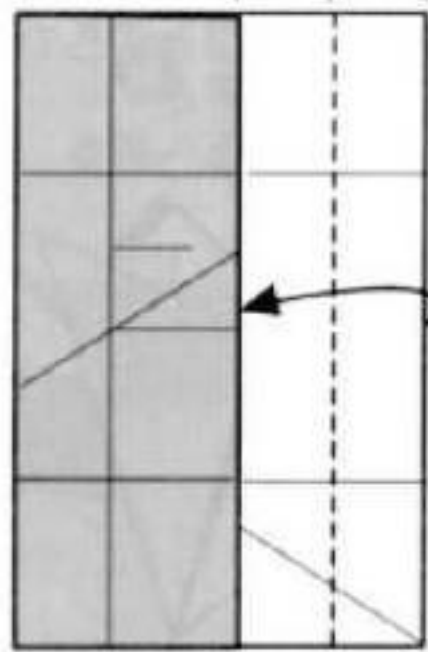
14



11



12

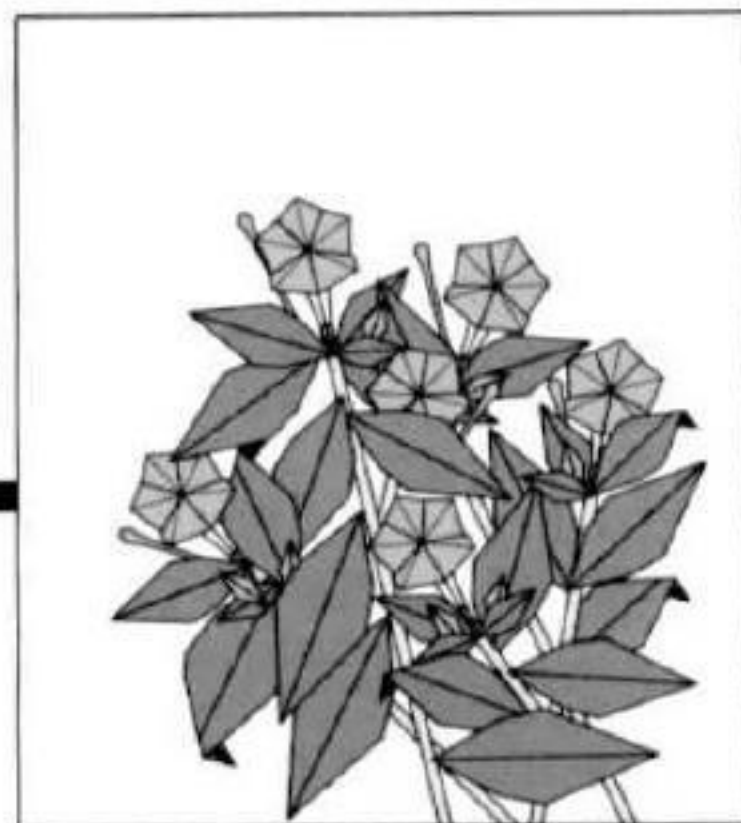


# ももこさんの 色紙 百花

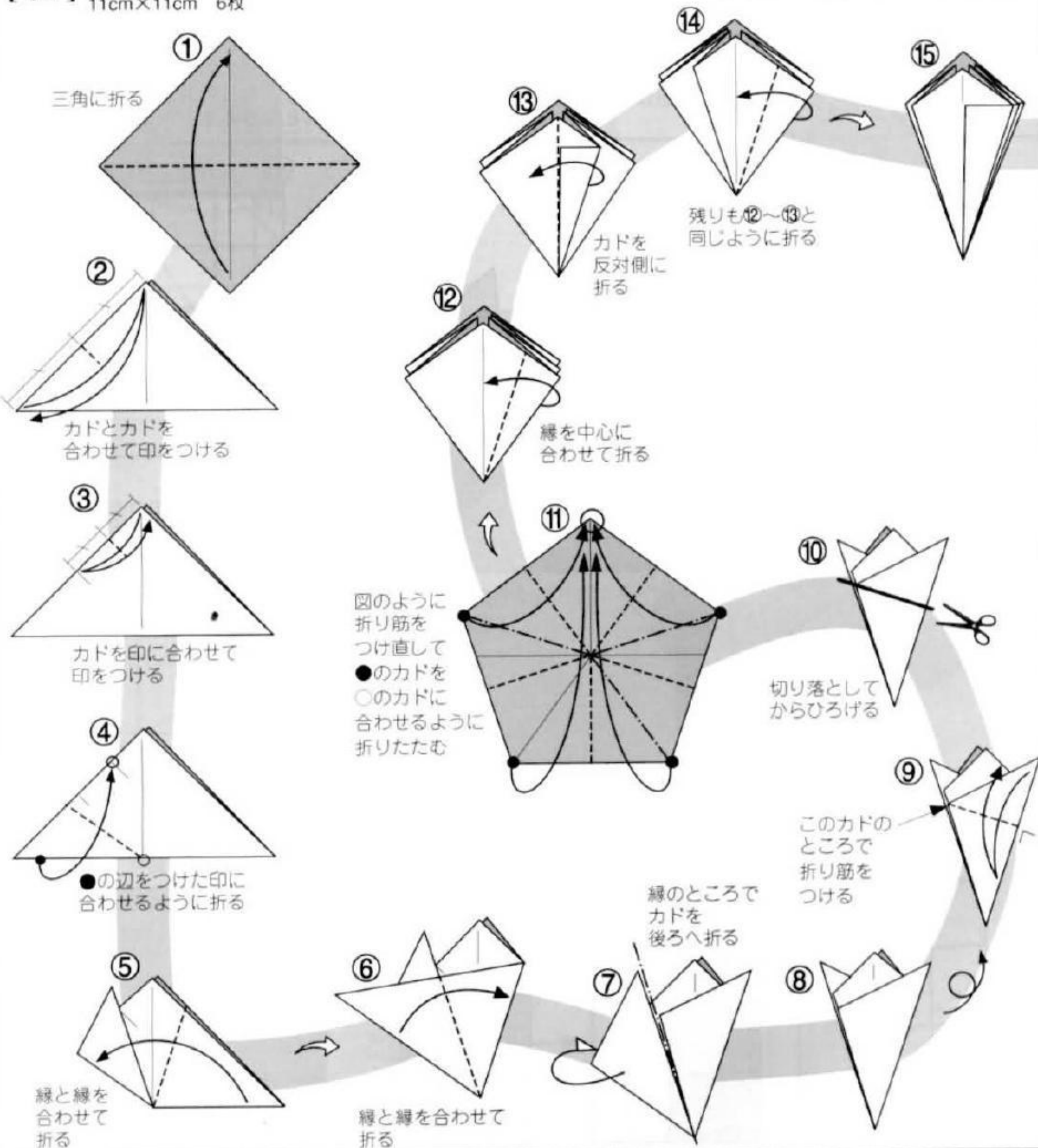
## オシロイ花 Four-o'clocks

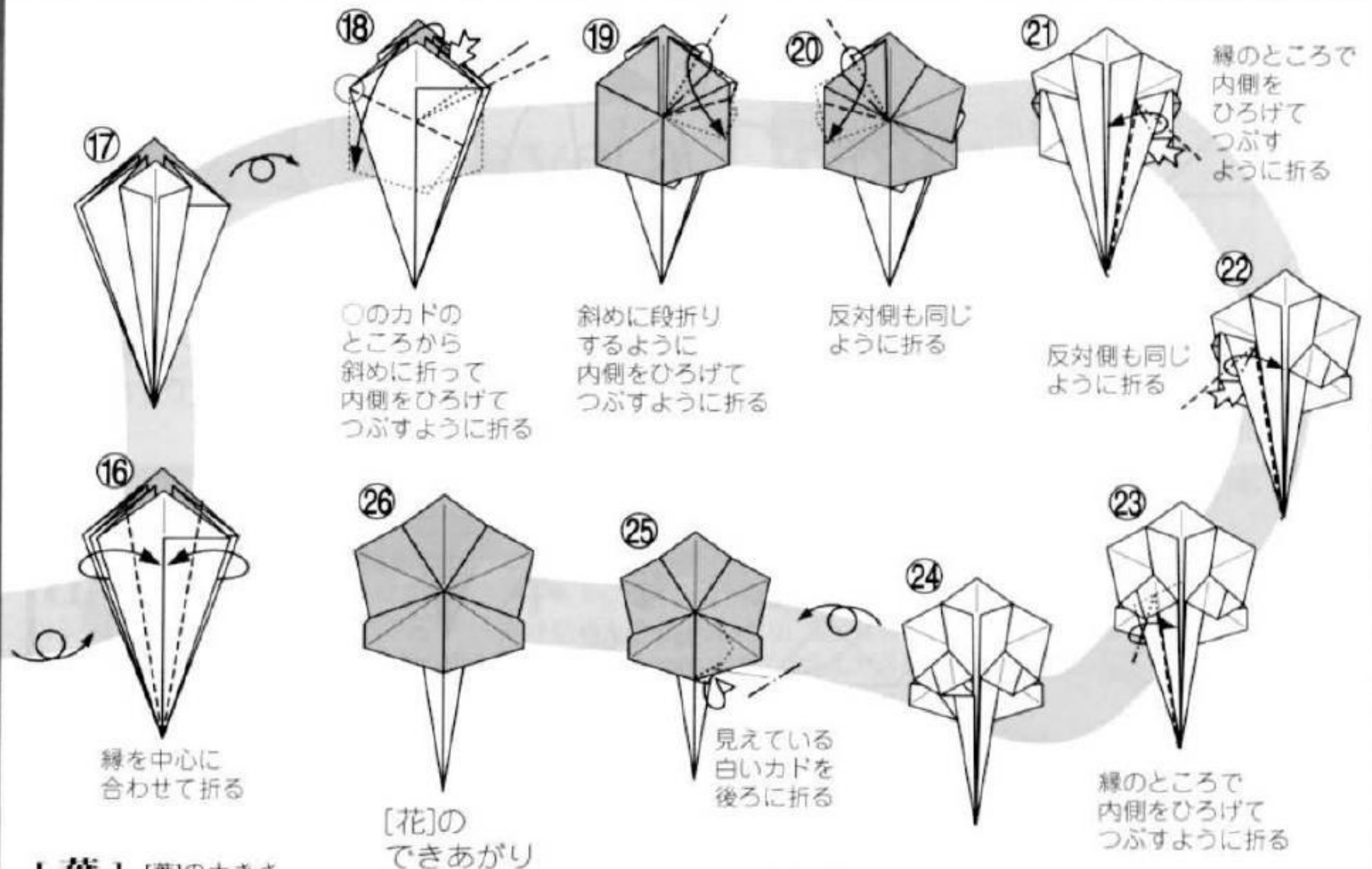
田中具子  
Tanaka Tomoko

重なりが多いレイアウトですので、重ねる順番に注意してのりづけして下さい。



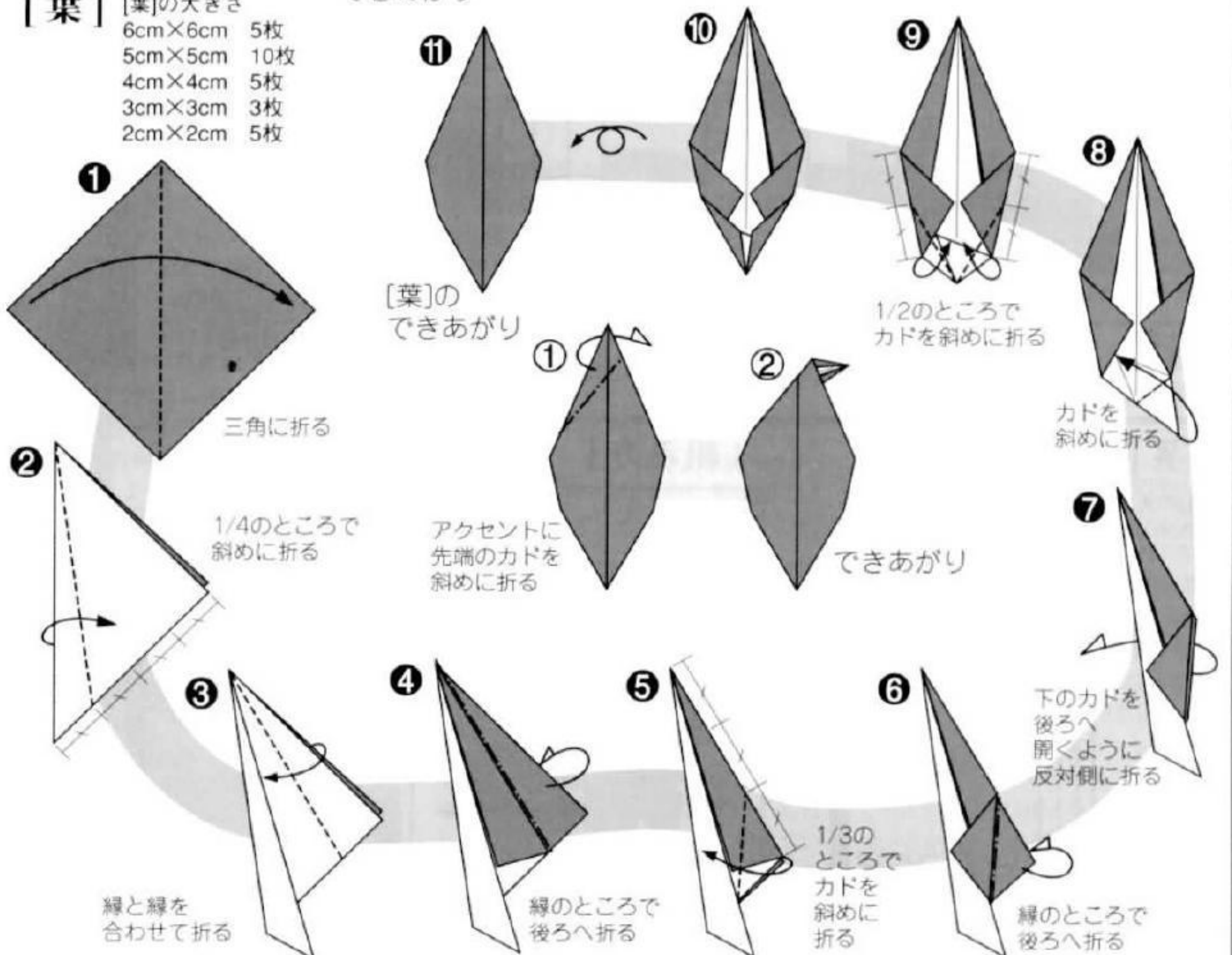
【花】 [花]の大きさ  
11cm×11cm 6枚





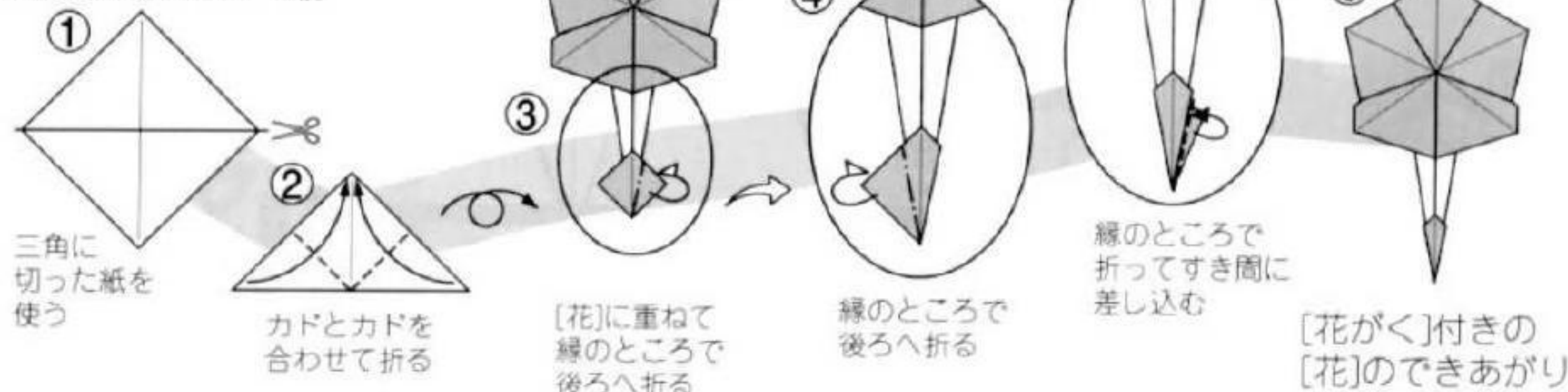
# 【葉】

[葉]の大きさ  
6cm×6cm 5枚  
5cm×5cm 10枚  
4cm×4cm 5枚  
3cm×3cm 3枚  
2cm×2cm 5枚



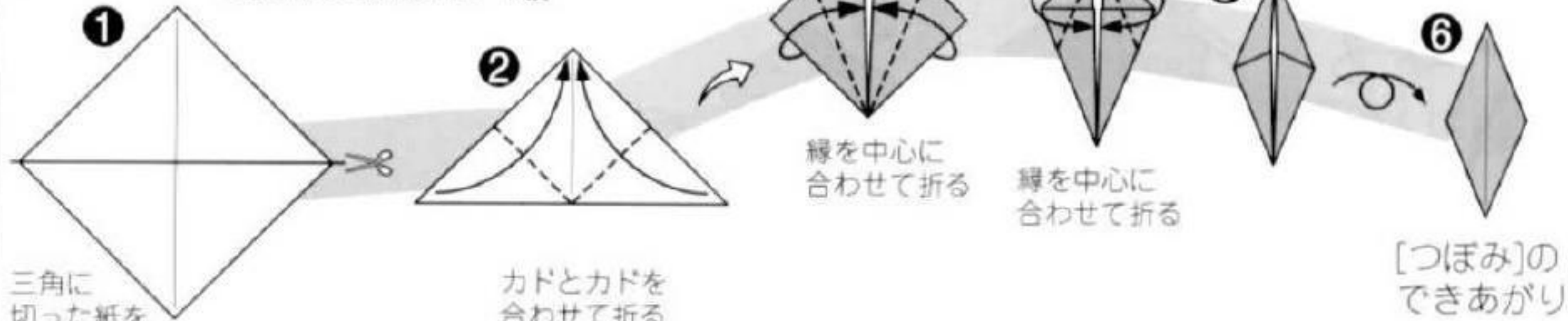
# [花がく]

[花がく]の大きさ  
1.5cm×1.5cmの1/2 5枚



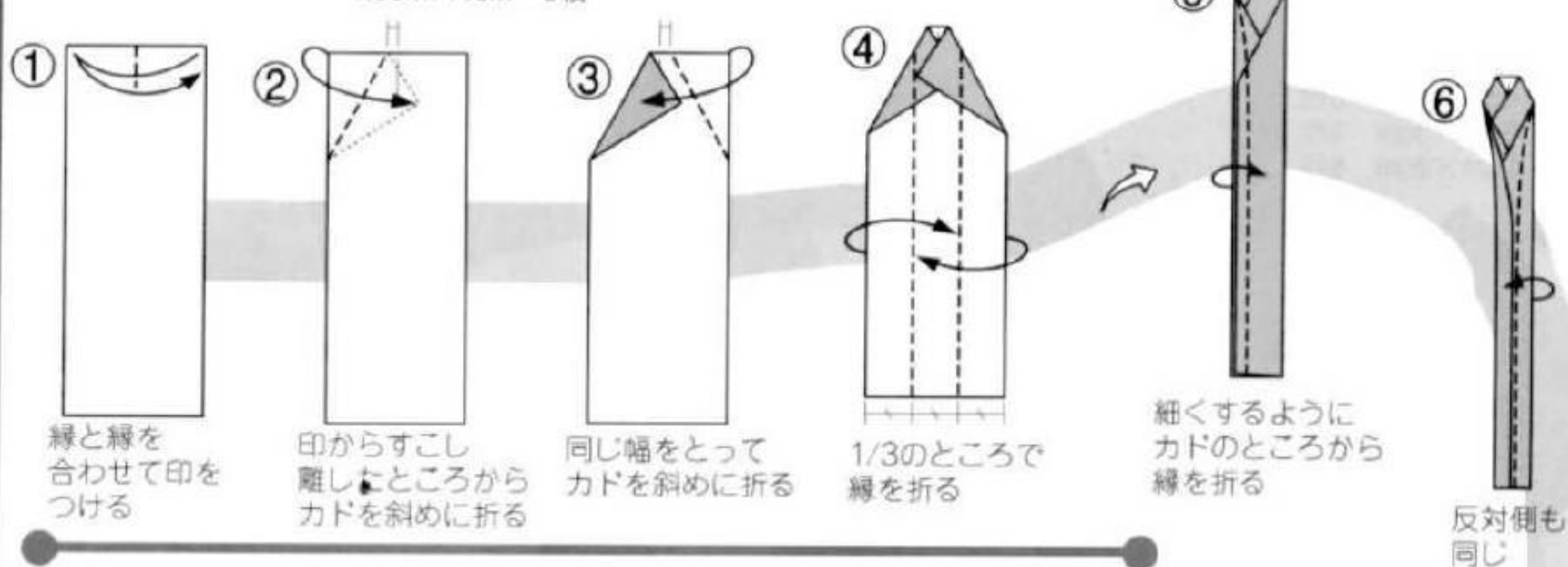
# [つぼみ]

[つぼみ]の大きさ  
2.5cm×2.5cmの1/2 7枚



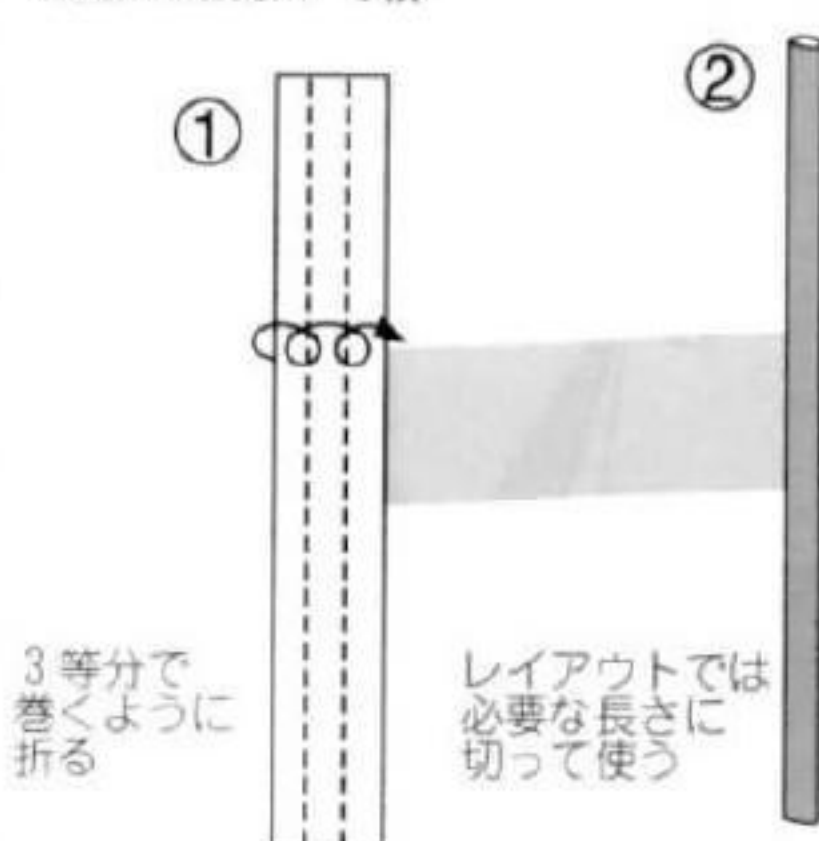
# [しぼんだ花]

[しぼんだ花]の大きさ  
1.5cm×4cm 5枚

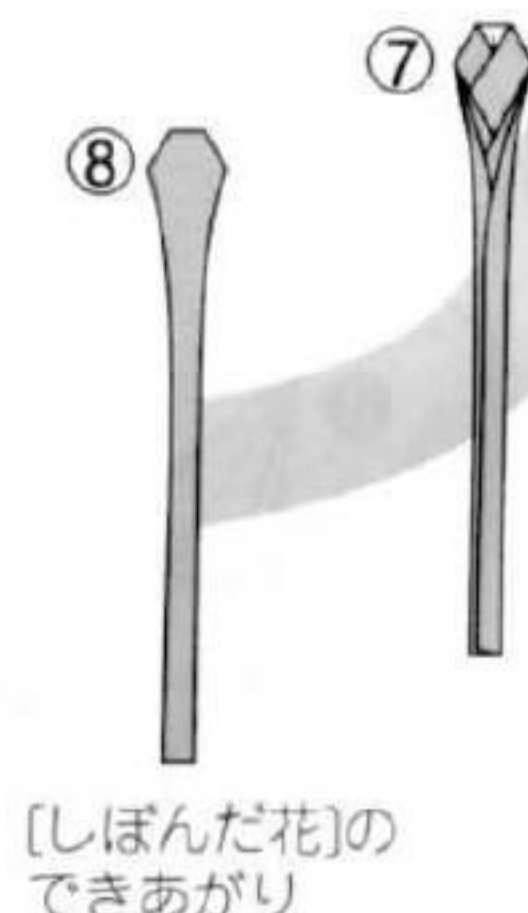
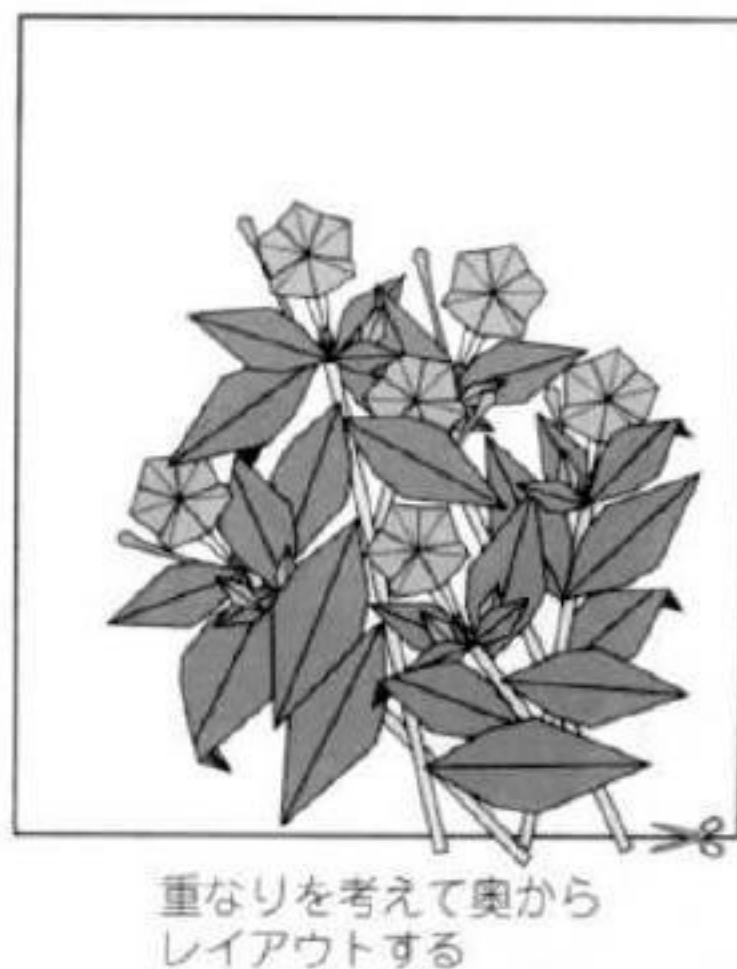


# [茎]

[茎]の大きさ  
1.2cm×20cm 3枚



# [組み方]



# "I have a Dream." ～私には夢がある～

橘高 美保子  
Kittaka Mihoko

## はじめに

五月某日、利き腕に激痛が走り整形外科へ行きました。手に力が入らないので、受付の用紙に書き込む文字もよれよれです。年齢欄ではちょっと考えたりして。いえ別に鯖を読むつもりではなくて、少々計算に暇が掛かるというか……。いーえ、まだ憶けてなんかいませんったら。つまり言いたい事は、生年を元号で記入すると、続く年齢の項で軽い混乱を覚えるのは、昭和生まれとして当然だと……。え、そんなのは私だけ?)

まあそれはともかく、折紙歴の方ならいつでも聞いてください。今は平成13年だから、私が折紙を始めて13年目。なかなかよく続いています。しかしそうは言っても、侮れないのが折紙の世界。二十代にして折紙歴30年、は幾らなんでも大袈裟ながら、25年くらいの人だったら結構棲息していそうでしょう。私なんぞに読者の参考になるようなお話ができるかどうか。ご披露に値する理論も貴重な資料もございませんので、ただ筆任せに折紙への個人的思い入れなど綴ることにいたします。

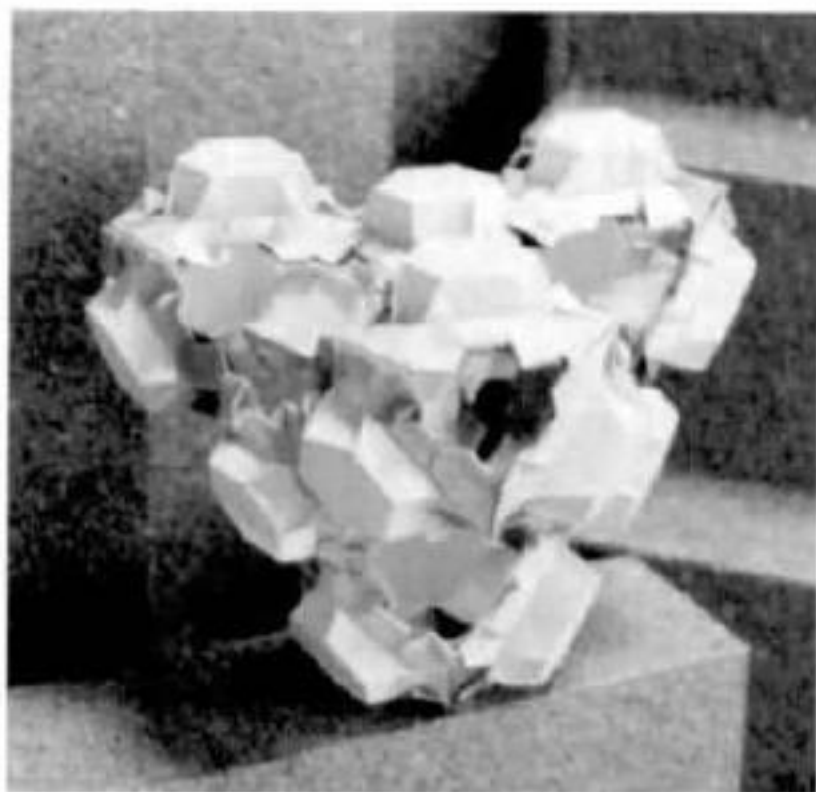


写真1 正四面体もしくは切頂正四面体を核に持つ、ユニット16枚組み作品

## 相変わらずの成り行きです

本の通りに折るだけでは詰まらない、と自分なりの創作に意識を向け始めたのは平成3年頃。確か4年が初の個展だったのでそんなもんだと思います。えっ、それじゃキャリア4年で厚かましくも個展を? 実はそうなんです。しかも当初より己が本能の命ずるまま、好き勝手に変な形ばかり追い求めてきました。自分でも何だか解らない奇妙なカタチを(写真1)。又それらのほとんどが、しっかりした完成形のイメージに促されての製作ではありません。明確なビジョンを持たずとにかく折ってみる、のが私流。

この計画性の無さは、ユニットや平織りに取り組む場合も同じで、言わば成り行き任せ。ただし、既に完成されているデザインに応用之際して、その目指す最終形を容易に推定できる時には、始めに図面を引きそれを頼りに折ることがあります。平織りの連続を切り子として表現したい場合などがそうです。切り子というのは切り込みや切り抜きの入った平織りのことで、正しくは「折り紙切り子」(写真2・3)。言うまでもなく、世間ではまるで認知されていない、私の造語です。

## 東京タワーは別よ

んな私が作る物は概して抽象的です。そもそも既存の物体や生物を表わそうという気持ちが希薄なのだから、自然にそうなります。でもここで「抽象にしてもいったい何を表現したいのか?」と突っ込まれると、困ってしまう。むしろ、そこが知りたいくて折っているのですが……。自分には折紙が合っていると思えるし、どうにかマンネリにもなっていないようなので続けています。

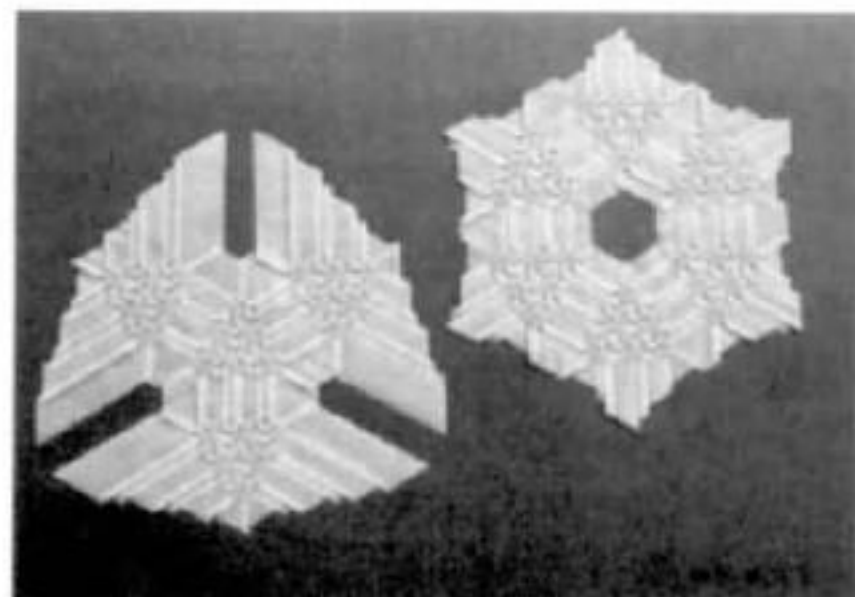


写真2 「フレンズ」折り紙切り子作品

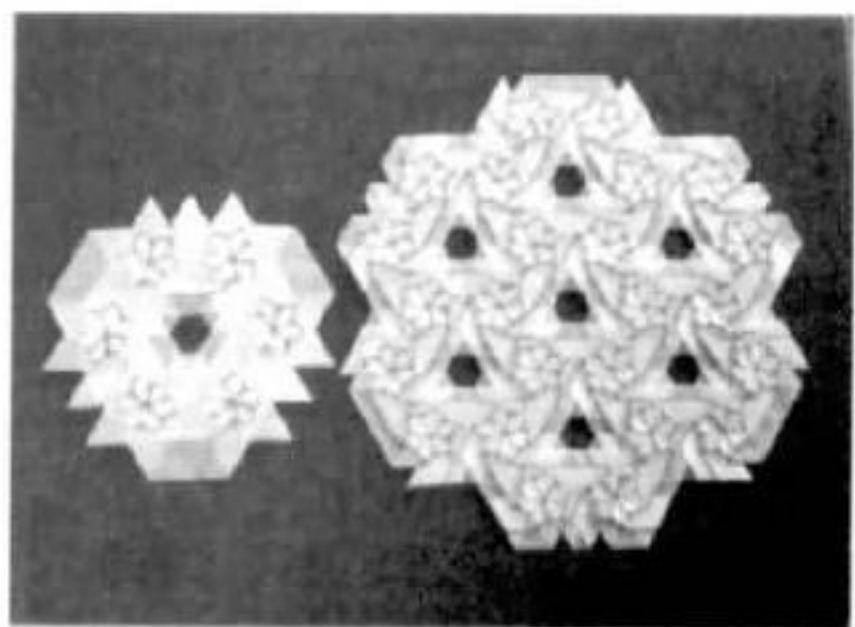


写真3 「マクラメ」(右)折り紙切り子作品

私が楽しみながらも自己の内面と向き合うための方法として、折紙が最適らしいのです。しかし紙を折ることは、目的ではなく手段に過ぎません。だから逆に、折紙を通じて掛け替えの無い何ものかを得た(或いは得られない)と確信できたなら、意外にあっけなくこの領域から離れて行くような気もします。創作における究極の目的は、折紙作品のように実際に触れることのできる物質とは、異なる次元のものだと思うからです。

ところで抽象的造形の予定だったのに「おや、見立てられちゃった」というケースがあります。自作品では螺旋をいじっているうちに何となくできたバンドネオンとか、今年の関西コンベンション用に準備した一連の帽子なんかがそうです。東京タワー? あれは完璧注文品だから別です。資料片手に「いかにもそれ

# "I have a Dream."

～私には夢がある～

橘高 美保子 Kittaka Mihoko

らしく見えるように「心血を注いだもので、普段の創作スタイルとはまるで違いますから。

ではいったい、抽象的折紙の作り方ってどうやるんでしょうね。依然として具体的な製作風景がちっとも見えてきませんね。知りたいですか？ 変てこなオブジェの作り方を。本当に？…はい、それでは。

## 創作の秘密

目の前にデパートの紙袋があります。中には、ちょっと見サンプルと呼ぶのも憚られるような紙類がたくさん。それをえいやっと引っ繰り返してカラフルな紙の山を作り、ぐしゃぐしゃと手探りまさぐり。ややあって取り出された一枚が、何故かその日の気分に合わせていた。じゃあ今日はこれをもう少し発展させてみるか、とかね。或いは幾らか欲張って複数選抜し、この子達の良い所を合成したら、未だかつて見た事がないような造形になりはせぬか？とか。いやはやこうして文字にすると、我ながら呆れる程のお気楽な光景です。でも真実、この行き当たりばったりが常のパターンなのだから、どうしようもない。

なお、この際沈黙を守って待機するサンプル達とは、要するにどれもこれも中途半端な代物です。彼らは作品として目の目を見ていません。ただし(自分で言うのも何ですが)隅々まで綺麗に折られています。だからいつお呼びが掛かって改造の手が加えられても、案外すんなりと新たな造形へと移行し、時には華麗なる変身を遂げてくれたりもするのです。サンプルとして保存されている物とは、諸般の事情により今は浪人中だけれど、所謂大器晩成の磨かれざる玉ばかり(のはず)。もとを正せば、過去の

ある時点で真剣な折りを施された面々ですから、長いブランクとは関係なく結構有能な戦力ともなり得るのね。しかし又、きちんと折ることだけが、良い結果への道ではないのがおもしろい。矛盾するようですが、そんな折筋や失敗の中にこそ、新鮮な発想の種が隠されているのです。

さて、毎度毎度頭を悩ませるのは、どの辺で止めるかです。乱暴に言ってしまうと、抽象造形はどんな形でもOKなのだから、切りがありません。時間制限(と重力?)さえ無視すればユニットはいくらでもつなげられるし、平織りも無限に続く。「平織りのユニット」なんてハマルと怖いんですよ。大体、自らを不切正方形一枚折りの制約から離れたポジションに置いている分、造形の飛躍に歯止めが掛かりにくいんですよ。しかもどうせなら形は奇妙奇天烈な方が良く、と思っているので余計止まらなくなってしまう。途中で「これは果たして折紙と言えるのだろうか」と不安になる程、従来の折紙の枠からはみ出すこともあります。ちょっぴり悩みますが、やはり「これも折紙」なのです。レース編みや刺繍に見えても、又は技法がアートフラワーに近くなっても、私にとっては折紙。

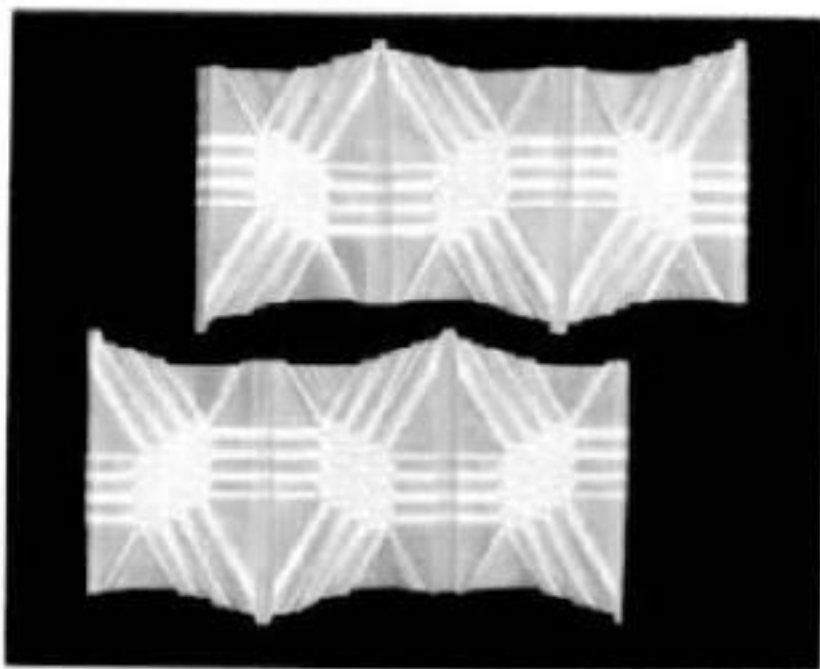


写真4 「瀬の音未だし」タイトルに悩んだ作品。「せのといまだし」と読みます

斯くの如く自問自答しつつも、いつかは区切りを付け作品として仕上げる訳ですが、これにタイトルを付ける場面でまたまた頭を抱えることに(写真4)。さらに作品展でそのタイトルを見た人が、案の定、首をひねってたりして…。

## 美

ここまで筆を進めてきたことのささやかな副産物として、折ることの目的をそれらしい言葉で表現できそうな気がしてきました。どうやら私の創作における動機・原動力とは、「素材(紙)の潜在能力を引き出し、魅力的な造形へと昇華させる喜び」を味わうことのようなのです。なーんだ、そんなことは創作を試みる人間なら誰でも言いそうじゃないか。はい、その通り。肝腎なのはその作品の完成度をどこまで高められるか、なのでしょね。

ところで数多ある折紙作品の中には、その造形表現の手段が何故折紙なのか、理解に苦しむものがあります。製作者の意図がよく解らない。例えば「折り図や完成形に惹かれて折ってはみたものの、何だか期待外れ」というタイプは、きっとその造形のどこかに無理があるのでしょね。又折ることで紙本来の美が損なわれている、としか言いようのない無残な作品も見かけます。いっそ「触らぬ紙に祟り無し」と呟きたくもなるのですが、これってちょっと厳しいですか？ でもね、一般の折らない人達はもっとシビアな批評眼をお持ちですよ。仮にあなたが折紙を媒体として、趣味の域を超えるレベルでの自己表現を目指すのであれば、作品を作品たらしめているあらゆる側面に神経を行き届かせてほしい。

無論、「美しさ」のみが折紙に期待される要素ではないことも承知していま

○ 橋高美保子(きったか・みほこ)＝昭和32年7月10日愛媛県生まれ。京都府長岡京で「ユニット折り紙」というサークル活動を行う。東京、京都にて個展4回。



す。こういった事は、個人的な好みも関係するデリケートな問題でもあり、当然異なった見解をお持ちの方もおられるでしょう。従って以下は、一人の鑑賞者としての単なる希望に他なりません。私は作り手の思いが凝縮された、ある種の緊張感を漂わせているような物を見たい。その人の精神世界に身を委ねて、心地よい時を過ごしたい。そんな作品に触れることで私も成長したい。自身の作品をも高めたい。折紙に限らず創作物とは、作った人間の分身なのだから。

## 愛

**試** 作には時間をかけます。そうしてやがて機が熟したら、その美のエッセンスを慎重に抽出し、一旦硝子の小壺に封じ込めておく。(比喻です。空き壺を捜す必要はありません)これをそのまま眺めてもなかなか良いけれど、そこからほんの一匙掬い上げて応用作品に活かしてもgood!! 私の思い描く折紙の理想形とは、作者よりも鑑賞者よりも紙自身がhappyになること。彼らがただの平面であった頃の何倍も生き生きと自らを主張し、誇らし気に存在すること。素材の個性を最大限に発揮さ



写真5 「萌し」彩典紙作品。「きざし」と読みます

せてやるべく、私はどれ程の時間を彼らに捧げられるのか。…もはや、これは紙への愛ですね。

デザインが紙を選ぶ、という現象はよく起こります。この形を美しく安定させられるのは、あの特殊な紙だけかもしれないとか(写真5)。逆にありふれた紙にもかかわらず、ある種の折り方を施すことによって、なぜか他の素材の追随を許さないくらいの勢いで光り輝くの、とか。そこで大切だと感じるのは、「綺麗に折れない」「思うように仕上がらない」のを安易に紙のせいにして、諦めてしまわない事です。デザインと素材の幸せな配合が適うまで、手と足と頭を使って模索を続けるのです。この子(デザイン)にぴったりのお相手(紙)がどこかにいないかなーってね。もはやこうなると、愛というより仲人の意地なのかな?

## 夢

**I** have a dream. これはキング牧師の演説中最もよく知られた言葉ですが、また拙文のタイトルでもあります。私にもひとつの夢があるのです。それは「いつの日か déjà vu (デジャ・ビュ)と jamais vu (ジャメ・ビュ)を同時に味わえるような不思議な作品を創りたい」というものです。いかにも最近とみに奇をてらう傾向が強くなってきた自分らしい夢だと思います。私は幼い頃から何かに感動すると同時に、しばしば déjà vu もしくは jamais vu としか言い表わせない感覚に捕らわれるのですが、皆さんはいかがですか?

初めてなのに懐かしい。何度も繰り返されたはずなのに初体験みたい。この相反する印象が共存する折紙作品な

んで、いったいどんなんでしょう。さっぱり解りません。おそらくは見果てぬ夢なのでしょうね。でも創れたら素敵だと思います。折紙に内在する歩き尽くせない迷路の魅力は、そのまま人生の趣にも重なるようで、もうしばらくは止められそうにありません。

## おわりに

この稿の始めに、腕を痛めたと書きました。原因は折紙のやり過ぎです。ちょっとした思い付きに逸る心を抑えられず、ついつい休みなく折ってしまいました。右腕が上がらず顔も洗えませんでした。電気・注射・投薬・リハビリなど一通りやってもらって、後日なんとか作品も仕上げました。夏のコンベンションに持っていくつもりなので、良かったら感想を聞かせてください。

余談をもう一つ。整形外科医に「どうしてこんな風になったのか」と問われた時、「手先を使う細かい作業をやり過ぎちゃって」と答えました。簡潔に「折紙」とは言えませんでした。ドクターのイメージする折紙と、あの激烈なる症状とがスムーズに結び付くとも思えなかったし。自分が日常的にやっている折紙を正確に説明するだけの気力も、当時は奪われていたし。今考えるとそこまで神経質になる場面でもありませんでした。そう、「たかが折紙」です。でもね、やっぱり我々にとっては「されど折紙」なのよね。ともかく皆様も健康の為折り過ぎには注意してください。そうそう、今回はうっかりしていたけど、近所の「笠原はり灸院」って、折紙痛にものすごく効きそう…だと思いません?

# 数理を 楽しむ

## オリガミクス ②

芳賀和夫

Let's Enjoy Math through Origamics  
Haga Kazuo

○芳賀和夫(はが・かずお)  
♂、1934—  
小・中学生の科学体験グループ  
「サイエンス・キッズ」の指導者。  
自然観察、蛙の解剖、物理・化学  
実験など、もちろんオリガミクスも。  
キッズは現在128人。ボランティア  
アシスタント募集中。



(この連載では、素材としての正方形の紙をひらがなで「おりがみ」、それ以外の意味合いでは「折り紙」と書くことにします。)

### 第2回 面積半分の図形を折る

Fold a square sheet of paper and make a figure of the exactly half-size in area.

#### アイデア募集のブース

私の仕事場がある茨城県つくば市で毎年秋に開催される「青少年科学フェスティバル」は研究所、大学、学校、市民団体などがそれぞれ実験体験や展示のブースを構えて、会場を訪れる子どもたちを楽しませます。私もオリガミクスの体験ブースを出展しました。入場者が小学生から高校生、それに付き添いの親まで多様なうえ、科学と名がつく以上、単に折り方の伝授や説明に終始してはいけないと思い、簡単なテーマを設定して、来場者のアイデアを募ってみました。

- 1枚のおりがみを折って、ちょうど面積が半分になる形をつくろう ●

という課題です。折ってできあがった形の輪郭図形の面積がもとのおりがみ正方形の面積の半分になるように折るわけです。これを「半積図形」と呼びます。折りの回数は問いませんが、切ったり貼ったりしてはいけません。

簡単すぎる!と思われるかもしれませんが、ところが、来場者からは、実に多彩なアイデアが次々に出てきて、一つ一つ検証するのが大変なくらいでした。これに味をしめて(?)横浜国立大学での公開講座でも受講生の宿題にしたところ50種類以上の「作品」が出されました。探偵団員のみなさんのエレガントなアイデアも期待します。

それでは課題の考え方を簡単に説明しましょう。

#### 考え方1 (紙をちょうど二重にする)

おりがみは、いつもやるように三角にあるいは縦や横に半分に折れば半積図形になります(図1a, b)。これは、折り返した色の面がちょうど白い面をかくして全体が二重になっています。図1cもそうですね。

ところで、図1cの場合、左右から折った紙の合わせ目を、中央ではなく少しずらせても半積図形です(図1d)。このずらせ方で多くの、というよりは無数の折り方ができることになります。この合わせ目が端にきた場合が図1bと考えると、bもcもdも同工異曲で同じアイデアのものとして扱う方がよさそうです。

ところで、このようにちょうど二重になる折り方はまだあります。——そう、四隅のかどを中心点に折った図1eもそうですね。もう一つあります。図1eの下半部だけ

折った図が図2aです。これはもちろん半積図形ではありません。下半部は面積半分になっていますから、あと上半部を半分にすればよいわけです。そこで、上記の考え方例1にしたがって上半部を図1fのように折ればどこも二重になっている半積図形ができます。

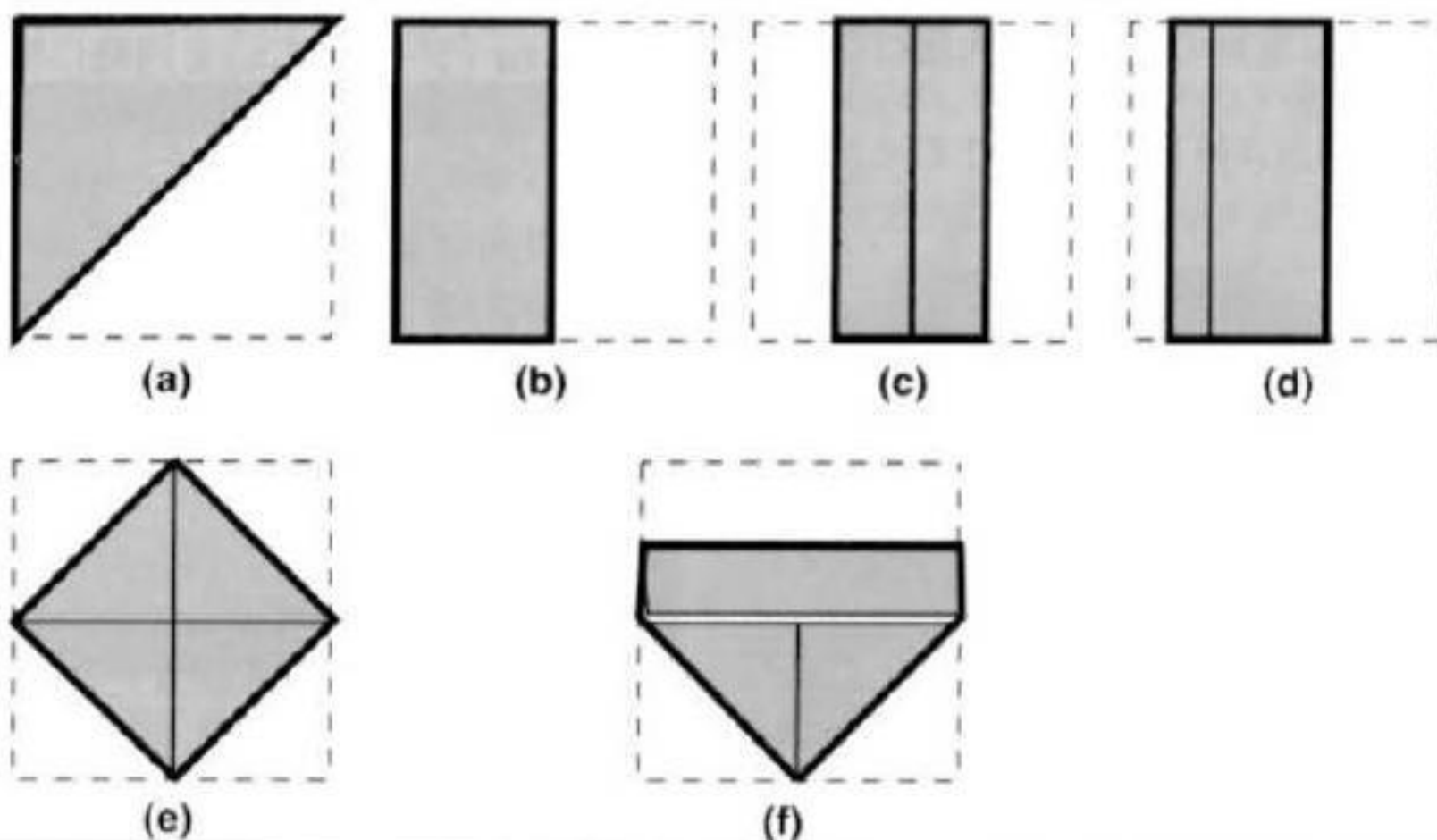
#### 考え方2 (紙長方形を対角線で折る)

ところで、図2aではもう一つ考えられます。上半部は長方形ですから、その面積を半分にするため、その対角線で折るというやり方です。図形は図2bのようになります。これは輪郭だけ見たらどうして面積が2分の1かすぐには分かりませんね。

対角線で折れば長方形の面積が半分になるということは、上半部の長方形を大きさのちがう2つの小さい長方形に割ったと想定して(図2a)、それぞれを対角線で半分に折っても半積図形ができます(図2d)。

ここで考えてみると、上半部の長方形を2つの長方形に分割する仕方は境界線をずらせば無数にありますから、これをもとにした図形も無数に生じることになり

図1 全面が二重になるようにする折り方、cとdは合わせ目をずらしただけで同じ種類



ます。これらも一括して1種類と数えることにしましょう。

### 考え方3 (三角形の底辺を2分する)

おりがみに対角線をつけ、左右の辺を対角線に合わせて折ると図3aのようになります。これは面積2分の1図形ではありません。折った部分は二重になっていますが、下の三角形は一重です。この三角形の面積を半分にするれば全体で半積図形になります。三角形を半分に割るには中線で折るのが簡単で分かりやすい方法です。しかし、この場合は中線では折りためません。どうすればよいのでしょうか？

三角形の面積=底辺×高さ÷2  
ですから底辺または高さを半分にすれば面積は2分の1になりますね。だから、底辺の中点を決めて、その点と頂点を結ぶ線を考えると、形は違っても底辺の長さが高さが等しい2つの三角形ができます。この2つは上の式から面積が同じはずですね。これは折れます。こうしてできた半積図形が図3cです。

おりがみ正方形の対角線でできる2つの直角二等辺三角形のそれぞれの底辺の中点を使った図3dの折り方も同じ考えです。これは図3aと外形が似ていますが、これで半積図形になっています。

### 考え方4 (合同な部分の差し引き)

たとえば、おりがみの辺を3等分して図4bのように折ります。そうすると紙が二重になっている部分と重なっていない部分、それに中央部に紙が三重になっている部分ができます。二重部分はそれだけで半積ですからあとの部分を考えます。よく見ると、一重の正方形と三重の正方形はいずれも1辺がもとのおりがみ1辺の3分の1になっている、互いに合同な図形であることが分かります。そこで、一重の正方形を一つ残して、他の一重正方形は半分に折って二重の三角形にしてしまいます(図4c)。こうして合同部分の差し引きによる半積図形ができます。(「芳賀第1定理折りを使うと素手で簡単に正確な3等分点が得られます」)

### 考え方5 (ユニット数)

おりがみの面に縦・横・斜めの多数の等間隔の線を描きます。あるいは描いてあると想定します。正方形の紙ですから線で区切られた三角形はみな同じ大き

図2 長方形を対角線で折って半分にする

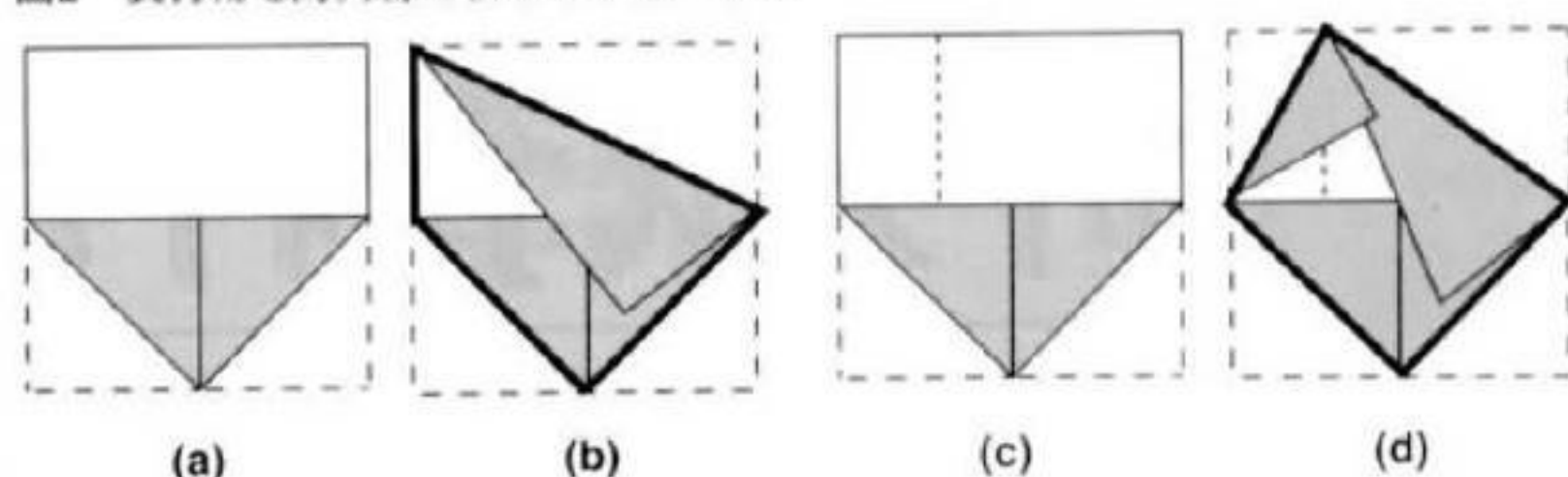


図3 三角形の底辺(または高さ)を半分にすると面積が半分になることを利用する

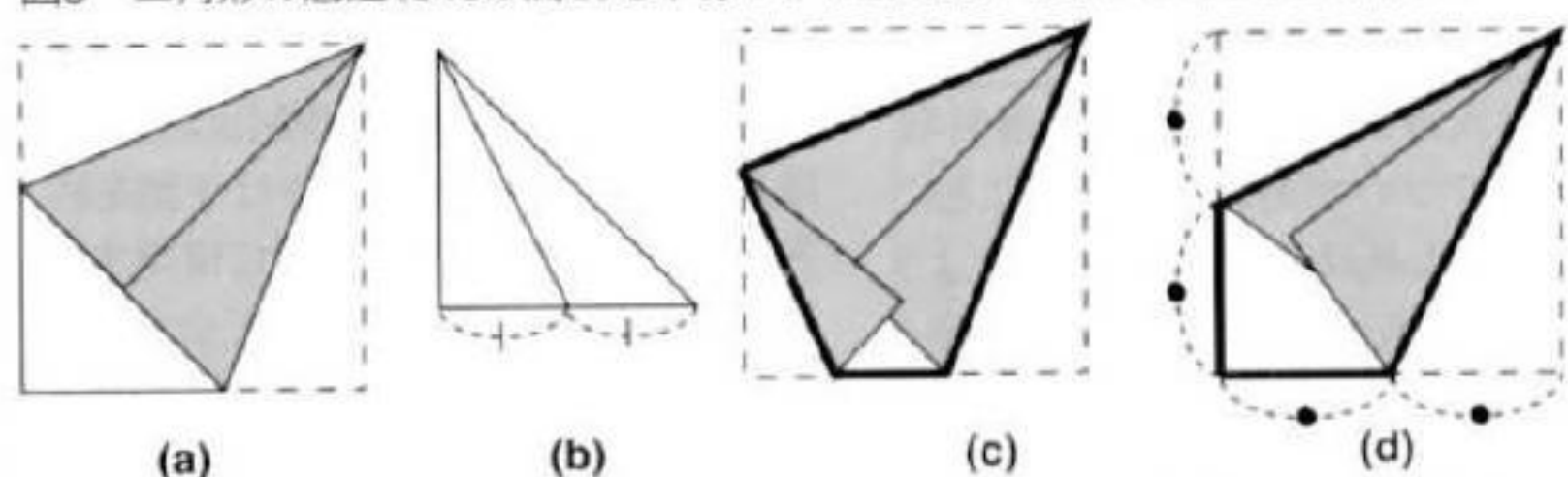


図4 三重に重なっている部分と同じ面積が一重になっていれば全体で二重になる

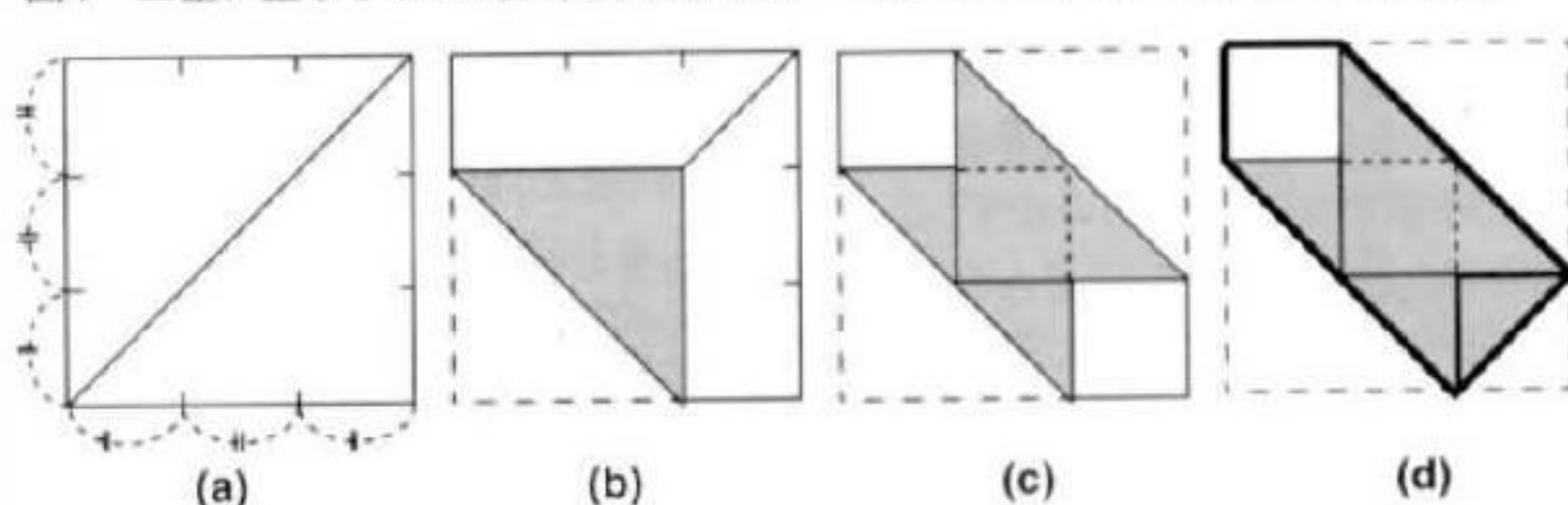
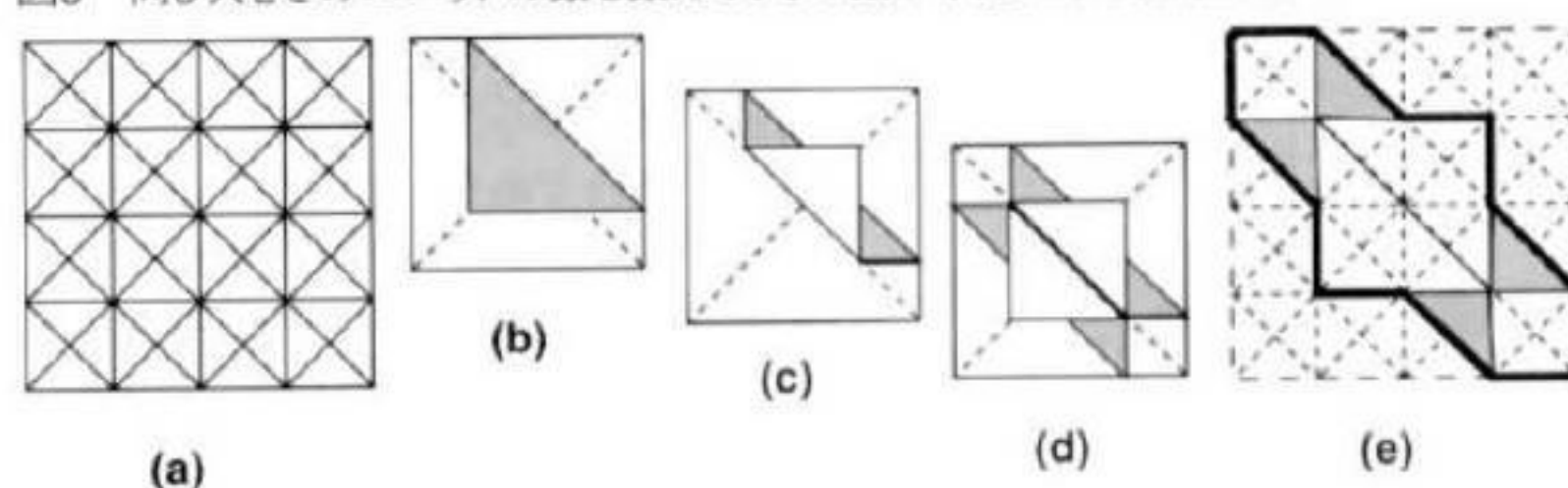


図5 同じ大きさのユニットの数を数えて、その数が半数になる図形を作る

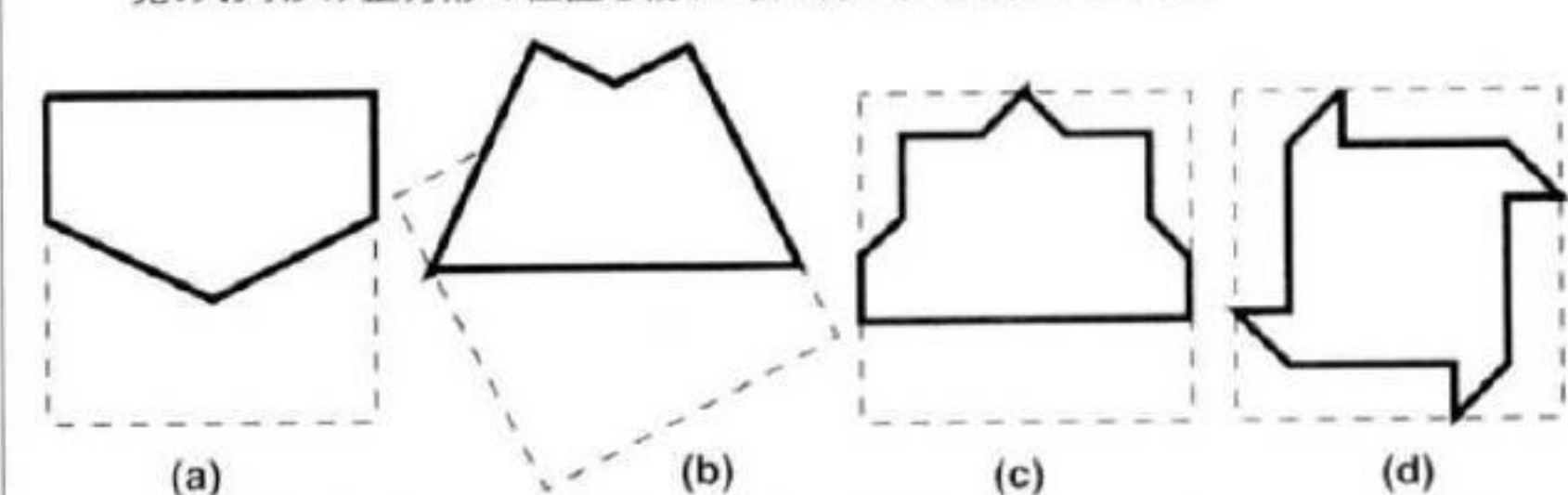


き同じ形(合同)です。この三角形をユニットとして、その数が半分になるように紙を折って半積図形を作ります。図5aの場合は三角ユニットが64個ありますから、その半分の32個でできている図形を作るわけです。参考に、図5eの例を、折り方(図5b~d)とともに示しておきます。

以上の5つの考え方以外にも、まだまだありますから、独創的で見た目も整った半積図形を、とりあえず3種類作ってみましょう。

また、パズルとして、受講生の作品などから、対称図形になっているもの4つの輪郭だけ示しておきますので(図6)、折り方をお楽しみください。

図6 この4つのシルエットはいずれも半積図形になっている。  
元のおりがみ正方形の位置を頼りに折り方を解き明かしてみよう



高木 智の

# 折り紙資料から

1

Takagi Satoshi's Studies on Origami Documents and Records

高木 智

Takagi Satoshi

**山**口氏再三のお招きにより、資料収集についてあれこれ記すことになった。当初、氏は「資料自慢」を書くようにとのことであったが、家蔵資料は多く発表済みだし、新発見資料も多くは期待できない以上、とても書き続けることはかなわないと申し上げた。

すると、「資料発見の裏話」はどうかとのアドバイス。しかし、まさか家庭争議を起こしそうな話を書くわけにもいかず、これも難問である。それに第一、そんな話でお茶を濁すのは読者に対して失礼であろうし、私自身にもなんの得るところもなく書く気も起こらない。

結局、時間切れの現在、まだテーマも決まらず、とりあえず最近無理を承知で買い込んだものからお目に掛けることにした。その最初にとりあげたのが「蛙」である。



**さ**て今回の資料は、三代豊國(初代歌川國貞)が喜寿の年すなわち文久三年(1862)に描いた大判浮世絵シリーズ「豊國揮毫 奇術競」(36枚)の1枚で、「賊首児雷也」(長田幸徳編「三代豊國作品目録」によれば役者は権十郎=河原崎ということである)と題するものである。ご覧の通り「がま」の代わりを「蛙」にさせているところがみそである。

この「蛙」の図は、『浮世絵に見る蘭科風俗史』で見て以来私の渴望していた豊原國周画の「當勢三十二相・呼(ん)で見た相」で娘が目を輝かせて見つめている手の中の「蛙」と殆ど同じで、これを書肆のカタログで発見した時息が詰まる思いであった。その細かな衣装の図柄を始め豊國の高齢にもかかわらず精力的な制作態度も、価値の高いものである。入手してみると、印刷、保存の状態も非常によい。

ただ、その制作年代が遅く、はたして國周の作品といずれが先かは予断を許さない。浮世絵の画材を勝手に借用することは、当時の絵師達にとって全く剽窃の意識はなく、むしろ手柄のごとく平然と行われている雰囲気があるから、豊國が弟子の國周の「蛙」を使用したことがないとも言いきれないのである。

國周画のテーマ「呼(ん)で見た相」の発想と折り紙の「蛙」とは、十返舎一九著「娼売往来」に記された「まち人まじないのかいるの折かた」(『折るころ』17ページ参照)でも知れるように、必然的な関連がある。したがって、國周の作品がまずあって、その「蛙」を児雷也に発想転換するほうが自然なのでもある。

そこで、國周の図を再調査したところ、落款の書体から、慶応二年から明治三年頃の制作であることが判明した。したがって私の杞憂は一応解決した。また、山々亭有人の解説文に「原来(もとより)

新造(太夫に付く若い遊女)の手細工にして児雷也が術もなく徳兵衛が法もなけれど云々」とあって、廓で流行していた「蛙」のまじないの効果の程度を、「児雷也」の妖術と比較しているのだが、ここは豊國の作品からヒントを得たことを暗示するかのとき印象もある。

たまたまこの作品を第一回材料にしようと決めたばかりのところへ、岡村氏の67号発表資料は國貞の「児雷也」と知らされて愕然とした。しかしよく聞けば作者も違い、全く異なる資料なので、同じテーマが続くのも一興ということになったのである。ここでも当然「がま」としての



▼拡大図：「呼(ん)で見た相」の「蛙」



▲拡大図：「賊首児雷也」に描かれた「蛙」たち(全体図はP.21に掲載)



○高木 智(たかぎ・さとし)＝昭和10年6月10日京都市生まれ。京都大学教育学部卒。昭和42年頃荒木京子に師事、折り紙を始める。現在日本折紙協会理事。著書に『古典にみる折り紙』他実用書多数。



「蛙」が描かれているが、これは立体図で画家は二代國貞というから、三代豊國(初代國貞)の一門は折り紙の「蛙」は熟知するところだったわけである。



そもそも、私が折り紙の資料調査を開始して以来、伝承作品で図になっているものは、「折り鶴」、「薦僧」、「船」の三点が圧倒的で、逆にもっとポピュラーな「兜」の図などは江戸期には未発見で、文字資料としては散見するものの、図示されるのは近代以後になると思われる。

もうひとつ言えることは、作品により「折り鶴」や「たたみ箱」のように、まことに写実的な作品と、「薦僧」のように、雰囲気は違いないのだが決して折れない図柄に描かれているものがあることである。

材料によってこのような類似性が起こるのも、浮世絵師たちの先輩の図から一部を拝借するというイージーな題材、図

柄探しに因るところが多いと私は考えている。

そうした中、「蛙」には常々興味をもってきた。というのは、「蛙」は「かえる＝帰る」という同音から、『清輔朝臣集』の「かへる」を初めとして、特に遊女たちのまじないに利用された折り紙の「蛙」もよく知られていたにもかかわらず、意外に資料が少なく、またそうとう杜撰なものが多いのである。

例えば歌川國芳の画「吾妻婦理」に見える「蛙」(『古典に見る折り紙』41ページ参照)や菊川英山画『風流東都八景』の「忍々岡弁財天」(『折るころ』24ページ参照)で子供が手に乗せている「蛙」、さらには前述の『娼売往来』に記された「蛙」などはむしろ実在の蛙の写生に近い。

その他、『嬉遊笑覧』巻六に「折形の蛙」という名称があり、また天保頃(1830～)安藤広重が描いた「風流おさな遊び」の「をりもの」にも「蛙」がある。

▶十返舎一九著『娼売往来』より「まじないの蛙」



このように、「かやらくさ」の「蛙」を除けば、國周の図が、これまで私が目にした殆ど唯一の折りに忠実な「蛙」だったのであるが、では今回発見した三代豊國の「賊首兇雷也」の「蛙」はどうであろうか。

まず頭の大きさが折り上げたままの状態とすれば広すぎる。この大きさは、空気をいれて膨らませたときようやく達する広さである。このことは、國周の作品も同様である。次に先頭の「蛙」はともかく2匹目から、腰の位置に当たる紙が左右に出っ張り過ぎているのがやや難点である。しかし胴の襷が3～4枚ずつ見え、前脚、後脚の出方は正確に描かれている。また、四肢の折り具合もほぼ正確である。

おもしろいのは、「かやらくさ」の「蛙」が足を細くするときに手前に折っているのに対しこの「蛙」は内側に折っていることである。そして明治期の、岡山秀吉の『手工製作品図集』や木内菊次郎の『折紙と図画』、『図画応用 紙細工』には豊國の「蛙」の折り方が記されるようになっており、現在の折り方につながっている。

とまれ、江戸末期に正確な「蛙」の絵の存在が確認できたことをもって今回の報告とする。

◀『風流東都八景』の「忍々岡弁財天」

▼拡大図：「忍々岡弁財天」に描かれた子供が手に乗せている「蛙」



も少し

# 折紙散歩

前川淳の

第2回

## 炎夏の寄り道

- Loitering on the way in  
a hot summer day-

これを書いているのはまだ6月ですが、寒冷地仕様のわたしは、すでにまいています。



筆者紹介＝東京生まれ。折り紙創作・研究家。折鶴モノコレクター。「一足めのわらじ」は科学技術計算。阪神タイガースの熱狂的なファン。

I often gaze on maps and atlases, but not to find the way. I do so only to find strange land names. I often visit gardens and museums, but not for appreciating fine arts. I only look for origami-like constructs therein, to write this silly article. Stupid? Sure, I think so.

### 路上歩行

「『折紙探偵団』が届くと、まっさきに『折紙散歩』を読みます」というひとがいるらしい。わたしが書くとウソくさいが、どうやら本当らしい。「『折紙探偵団』が届くと、まっさきに表紙裏の『折り方の約束記号』を見ます」というひとはいないと思うので、我が記事は、『折り方の約束記号』に勝ったと言えるが、実は、この『約束記号』にも見るべきところは多い。山折り線が一点鎖線になっているのに、折り図ではそれが二点鎖線となっていることがそのひとつである。「どっちが正しいんだ!」と目くらまをたてるひともいないだろうし、要は「鎖線」ということが重要で、「どっちでもよい」というのが答えなのだが、この鎖線問題も、それはそれでなかなか奥が深かったりする。そもそも谷折りが点線で山折りが鎖線であるのも、吉澤章さんを元祖とするらしいのだが、地図記号のようにきっちりとした標準があるわけではない。雑誌付録などによくある、いわゆる「紙工作」の世界では、折紙界とは逆に、点線が山折りで鎖線を谷折りとすることが多いとも聞く。一方、地図の世界では鎖線は行政界を示すが、こうした境界は自然境界であることが多く、すなわち、地図を見ると山の峰が鎖線になっていたりと、まさに「山折り」なのである。ところが、モールス信号では、一点鎖

線は「一・一・一」で「タニ」と読める…と、これは、『折紙探偵団新聞』(注)にも書いたことがあるネタで、気にいっているので再度使ってしまったが、「ところが」などとなげられるような文脈があろうはずもなく、話はここで軌道修正すべきなのだが、他にも解釈があるだろうなあ、とあらためて調べてみると、一点鎖線が「一・一・一」で「いろんな庭」と読めたり、「ロ(一・一・一)」が「路上歩行」と覚えましょうということだったり、二点鎖線は「一・一・一」で「トホホ」だったり、「いろんなところに行き、街を歩き、トホホなものを探してこい!」というこの連載のテーマ(そんなものがあつたのか?)を思い起こさせることになるので、寄り道もそうそう軽んじるものでもない。そもそも「散歩」なんだから、寄り道が身上だ。

とは言ってみたものの、街を歩いているだけで折り紙に出遭うなんてことはそうそうあろうはずもない。だいたい、わたしは普段眼鏡をかけていないが、運転免許には「運転の条件:眼鏡等」と書いてあるぐらいで、格別注意力が優れているわけでもなく、街で知り合いとすれ違っても気がつかず、向こうから声をかけられることも多いボーッとしたやつなのである。つまり、ポイントやはり調査である。

### バス停と彫刻

まず、地名は地図で調査がつく。と、これは当たり前の話だが、わたしは以前から地図を見るのが好きで、最近には検索の容易なデジタル地図などという便利なものもあり、ついこのあいだも渋谷区の幡ヶ谷に「谷折」を発見した。この「幡ヶ谷折返所」の「谷折」の写真をわざわざ撮りにいく行為が、散歩者として、わ

れながらご苦労さんというか、おバカでありながら重要なところなのだが、電車に乗って出かけなくても、「折返」と言えば、自宅から徒歩3分のところに、「東京オリンピック大会・マラソン折返点」なるポイントもある。聖火が燃える駒沢競技場で、インド対パキスタンのホッケーのゲームを見たこともある(幼稚園児だっ

たから、よく覚えていませんが)世代としては、人生の折返地点とやらにも来ているみたいだし、感慨がなくもないが、地名の話題は、今回のものほどではないが、「それだけ」になりやすい。「折返し」と言っても折り紙にはな一んの関係もないからである。

やはり、立体もの、つまり折り紙彫刻みたいなものを発見したときのほうが折紙散歩の醍醐味(そんなものがあるとすればだが)は深い。で、こちらのほうでも、蛇の道は蛇というのか、物好きはいるもんだというのか、街で見かけるパブリックアートの調査記録を記したインターネットのサイト『彫刻天国』(<http://member.nifty.ne.jp/bakkei/>)なるものがあって、これがなかなか役に立つ。

まずは、川崎市の等々力緑地に二重螺旋のオブジェがあることがわかったので、実際に行ってみると、その構造は布施知子さんの「やぐらユニット」とよく似ており、作者の銘はないものの、けっこう力強い造形に感心した。同緑地には『軽くふれる』(飯塚八朗)という平面の変形を基礎にした彫刻もあり、ついで見えてきた川崎市民ミュージアムでの「呪(まじな)いと占い」と題された企画展では、いざなぎ流(注)の儀式で有名



布施さんのユニット折り紙のような二重螺旋のオブジェ(等々力緑地(川崎市))  
Double helixes like Fuse's modular origami Todoroki public garden in Kawasaki city

な高知県物部村の御幣の造形も見ることができ、「鶴仙人-折鶴紀行」なる謎の千社札が発見された東京世田谷区の等々力(66号参照)も、「折紙散歩」的には得難い場所だったが、多摩川をはさんだ川崎の等々力もなかなか侮れないところなのである。

もうひとつ、港区の、聞くだけに高そうな南麻布の有栖川ヒルズという高級マンションにあるオブジェは、波打つ正方形のごとき造形で、わたしには当然折り紙に見えるのでアリス

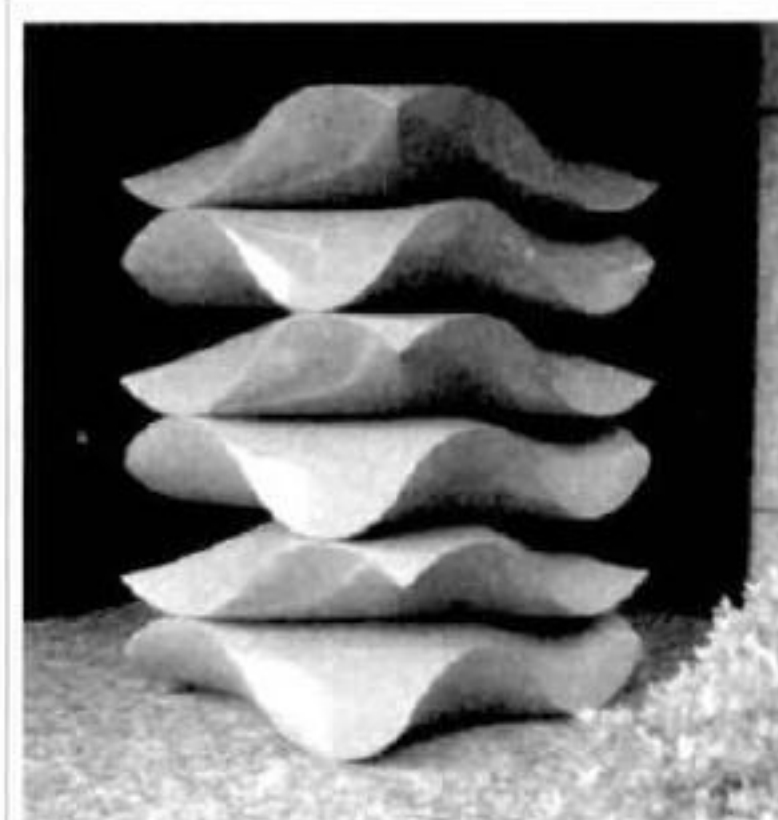
## 折紙辞典

【折紙探偵団新聞】(おりがみたんていだんしんぶん) 固有名詞

本誌(雑誌『折紙探偵団』)の前身。『折紙探偵団』は今号で68号を数えるが、54号までは新聞だった。バックナンバーの入手は、現状では残念ながら不可能。

【いざなぎ流】(いざなぎりゅう) 名詞

高知県香美(かみ)郡物部村(ものべそん)に伝承される民間信仰。陰陽道、修験道などが習合したもので、恒久的な神像仏像の類がなく、祭儀の際に、その種類が200種にも及ぶという御幣をつくる、全国的に見てもきわめて珍しい民俗である。御幣は、切り込みが入れられているが、造形的にもたいへん興味深いもので、信仰というだけではなく、先人の「紙による造形」への熱意が感じられる。古代氏族の物部氏と同じ村名、平家落人伝説など、伝奇的な雰囲気にも溢れている。



波打つ正方形  
(有栖川ヒルズ(港区南麻布))  
Waving squares Arisugawa Hills  
(an apartment house) in Tokyo

ガワ。と、今回はやけに冗舌な文体になってしまい、あっという間に字数がいっぱいになってしまったので、おわりです。



バス停の標識にある「谷折」(渋谷区)  
Valley fold (tani-ori) in a bus stop sign

■深緑の葉とのコントラストが非常に美しいオシロイ花からは、初夏とは違う本物の夏らしい熱気が漂ってきます。むら染めの和紙をそのまま生かした斑入りの花びらの表現に要注目です。

■これまでのびっくり箱作品群にはなかった細長い形状で、新鮮な魅力を満載して登場する布施作品。蓋・箱部分ともしっかりと組み上がり、取っ手も付いているので思わず何度も蓋の開け閉めをして遊んでしまいそう。

■季刊『をる』でも連載紹介され、その規模の膨大さで知られる高木智氏所蔵資料のなかから、今回は色彩豊かな歌舞伎役者絵を掲載しました。

■カラフルな立体ユニット「PULSAR」は、なんと変形して全く異なる形態に変身します。完成後もいじって楽しめるユニークな作品は、先日のOrigami USAコンベンションでも多くの人の関心を集めていたようです。



「オシロイ花」作:田中具子(P.8)

Four-o'clocks : Tanaka Tomoko (P.8)

■夏から秋にかけて、近所の花壇などでもよく見かける花。黒い種子を砕くと、おしろいのような粉が出てくるそうです。見慣れた風景をイメージしながら、オリジナルのレイアウトにも挑戦してみましょう。

### 「とってつきの長持」

作:布施知子(P.4)

Japanese chest with a pull  
: Fuse Tomoko (P.4)

■装飾的・オブジェ的な雰囲気が強かったこれまでの作品にくらべ、ストイックに洗練された印象でまとまっています。作例のように模様のある用紙を使えば、いつも手元に置いて使いたいアクセサリー箱といった感覚。何をしまっておこうかな、と考えるとわくわくしますね。



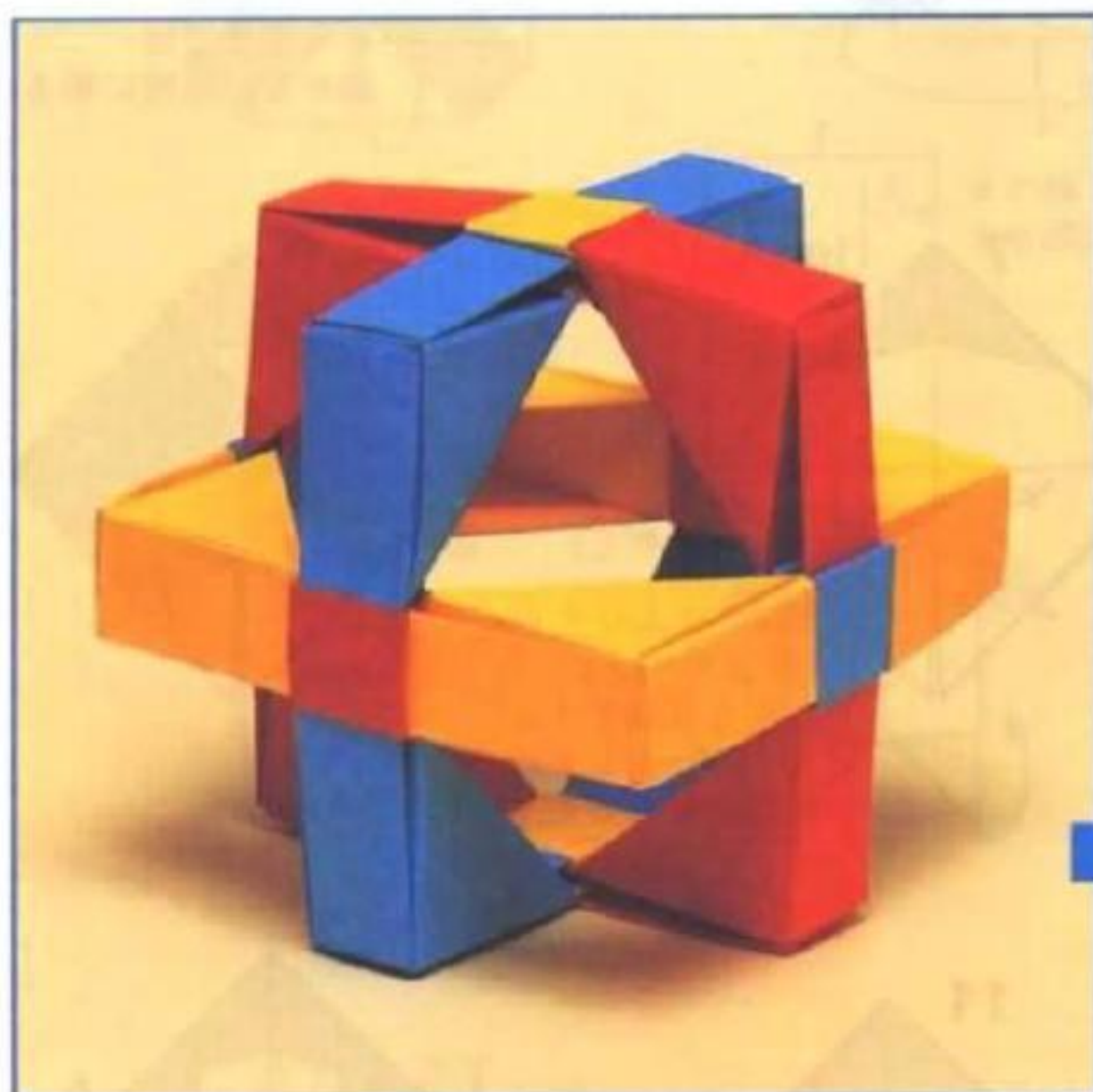
「豊國揮毫 奇術競」より「賊首児雷也」

高木智 蔵(P.16)

Zokushu Jiraiya in Toyokuni Kigou Kijyutsu Kurabe  
(Jiraiya the Chief Bandit in Kijyutsu Kurabe by  
Toyokuni III) : Property of Takagi Satoshi (P.16)

■児雷也といえはガマですが、ここに伝承作品の「蛙」を用いているのは非常に興味深い演出だと思います。折り紙が神秘性や妖力など、さまざまなエネルギーを秘めたものであるという認識は、いつの時代にも共通するもののようです。以下、高木智氏による解説です。

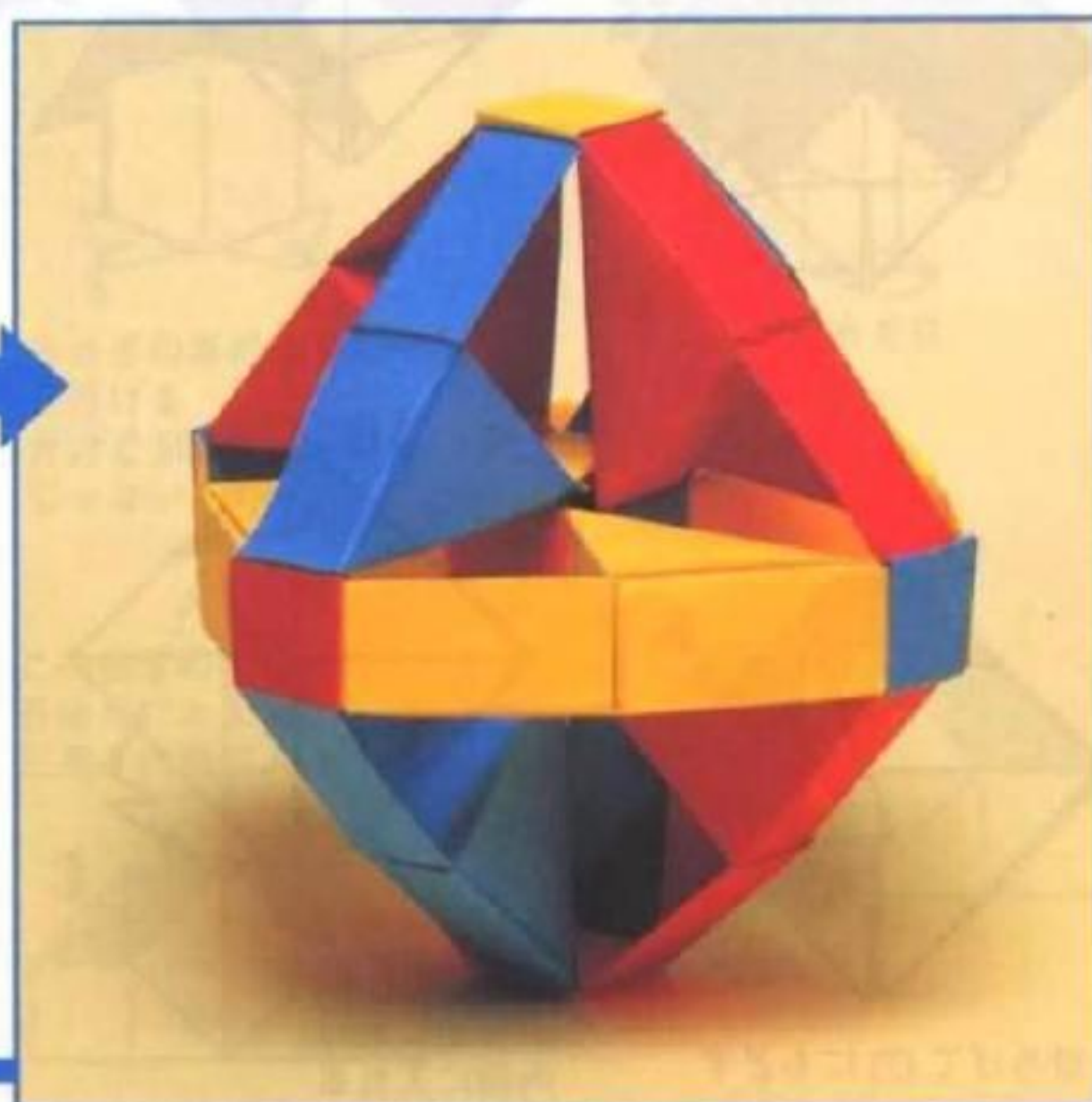
芝居の児雷也は一匹のぬいぐるみが演じますが、本図では十数匹になっています。折り紙は小さいからというのが理由と思えますが、國貞(三代豊國)は『薄倂幻日記』の口絵でも十羽ほどの折り鶴に念力を持たせています。「北国五色墨」に千羽鶴を描いた國貞は、折り紙の数に念力を持たせることを考えたのかも知れません。(いずれも『古典にみる折り紙』参照)



「バルサー」作:ジニーン・モズリー(アメリカ)(P.36)  
PULSAR : Jeannine Mosely (U.S.A) (P.36)

■バルサーは天文学用語で、規則的な周期で電波を発している小天体のこと。本作品の変形機構に、この周期性をイメージしたのでしょうか。このふたつの形態が途中どのように変形してできるのか、過程を想像してみてください。

編注：本作品は、比率の違う3種類の紙を計72枚使って作られています。左写真の黄色のカドを押すと下の写真の形になります。



# ゆびペン

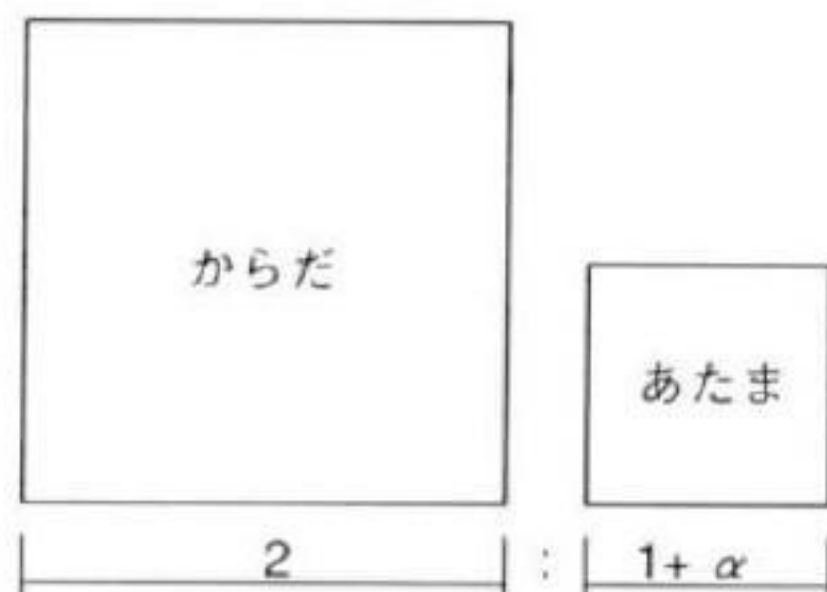
Fing Peng

2001.06.02 創作

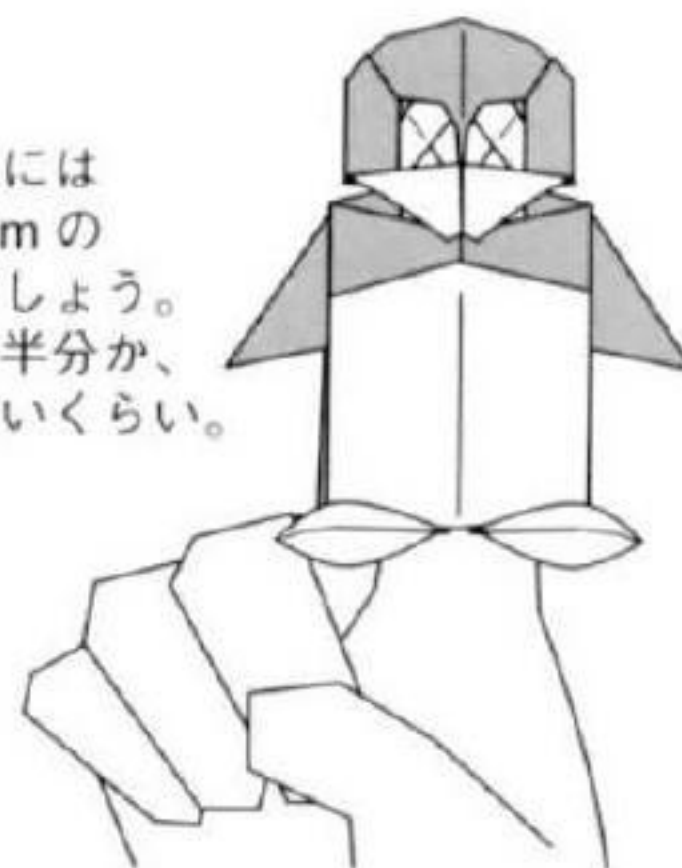
木村良寿

Kimura Yoshihisa

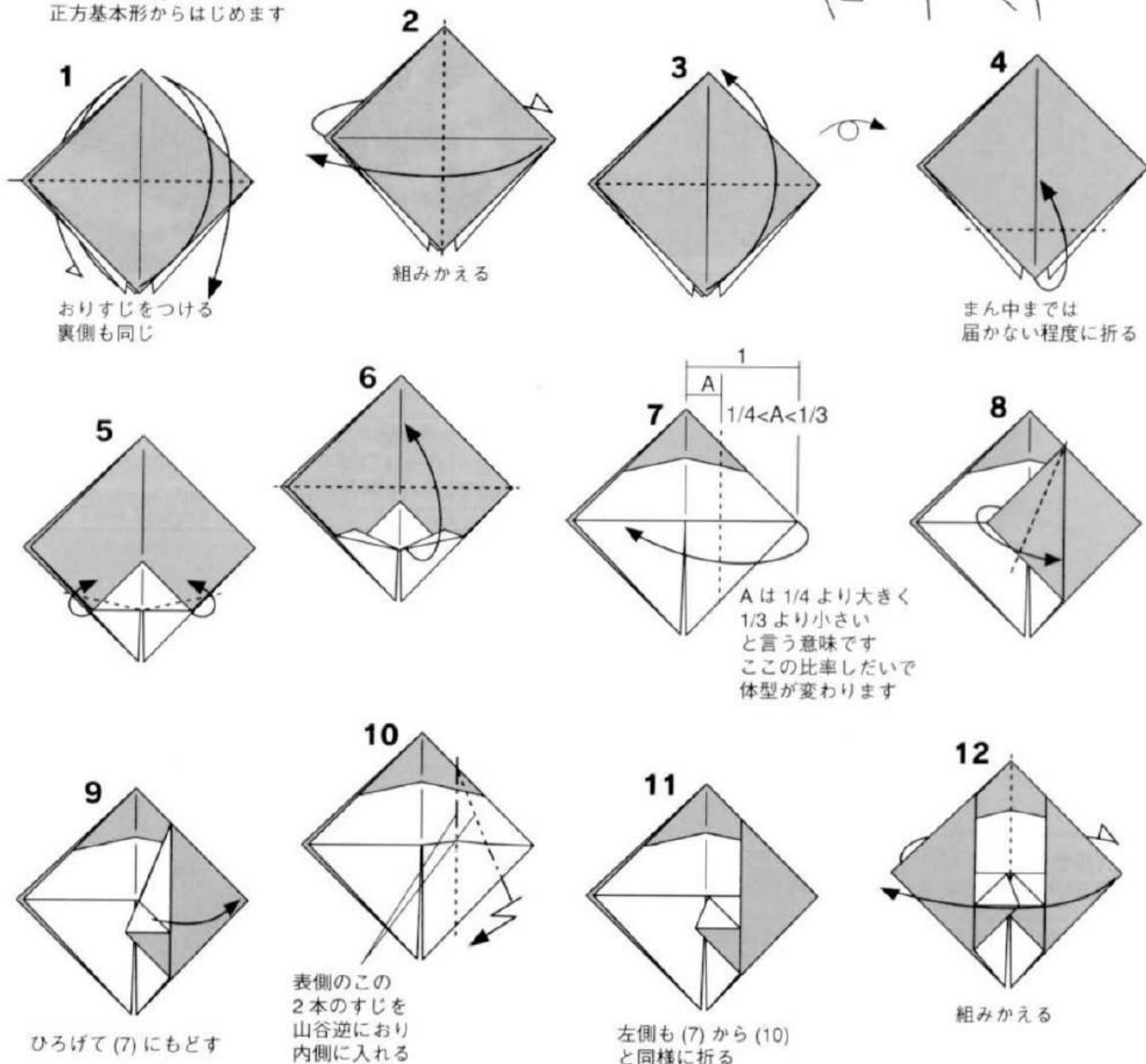
6月2日の探偵団東京友の会の  
講習でお披露目しました。  
って、締め切りギリギリ。  
それゆえ練り込み不足ごめん。

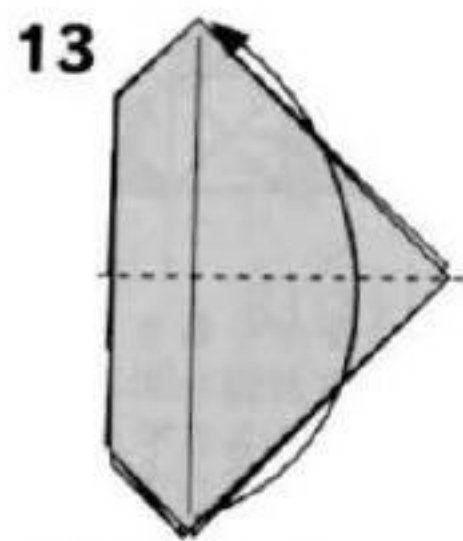


大人の指にはめるには  
からだを 12~18cm の  
紙で折るとよいでしょう。  
あたまはからだの半分か、  
それより少し大きいくらい。

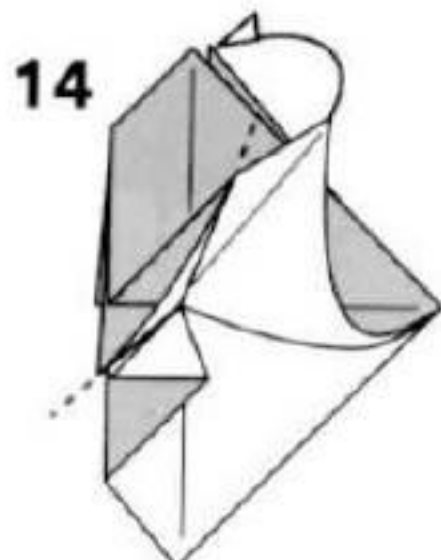


からだです  
山口真氏命名のいわゆる  
正方基本形からはじめます

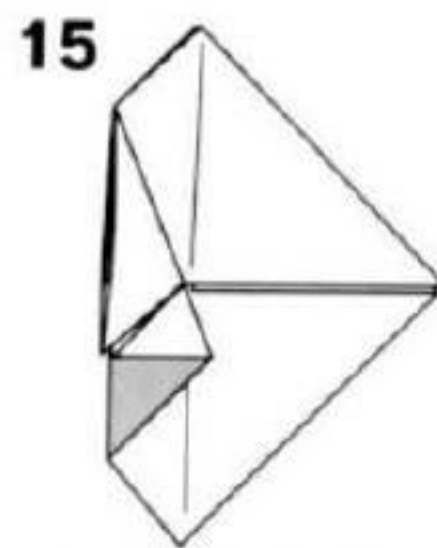




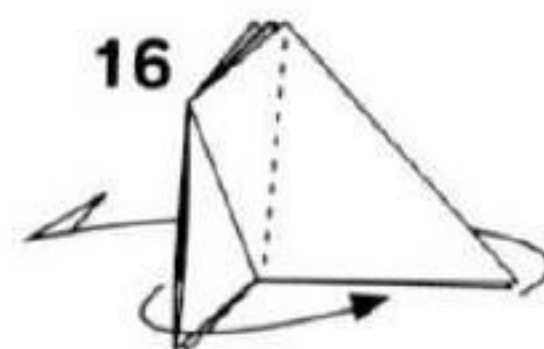
手前の一枚のみ  
折り上げる



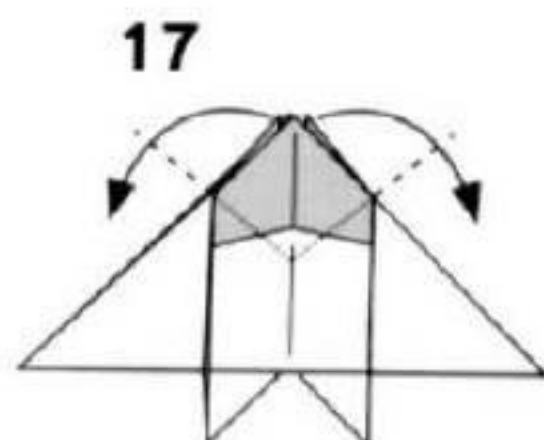
途中、あらたに  
2本の折り線がつく



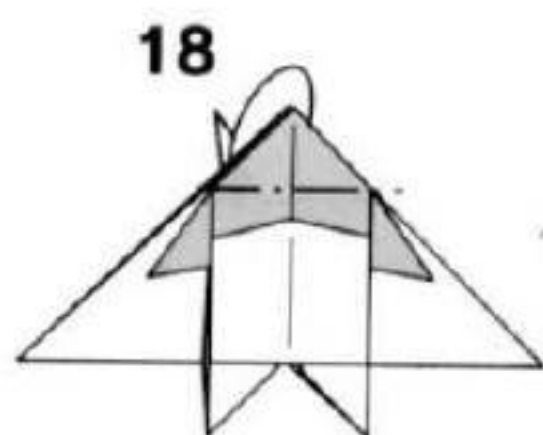
裏側も (13)(14) と  
同様に折る



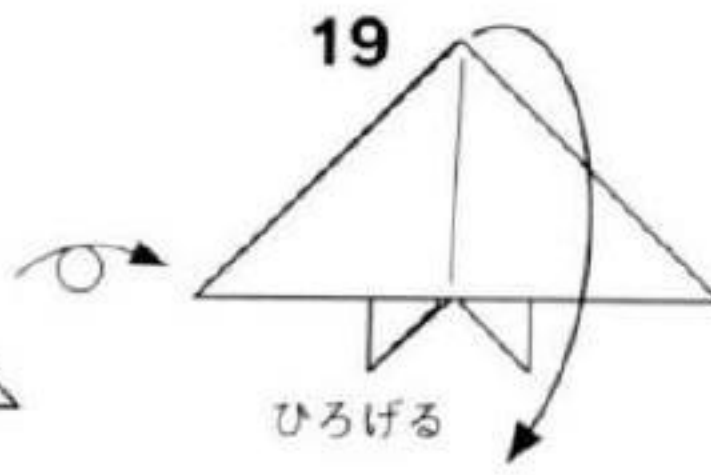
組みかえる



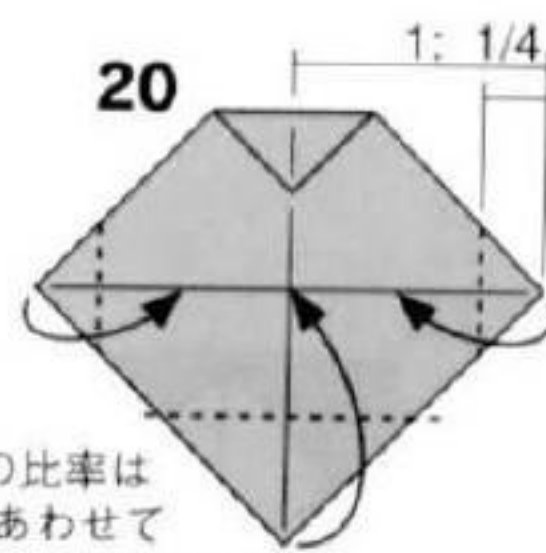
中わり折りでは  
ありません



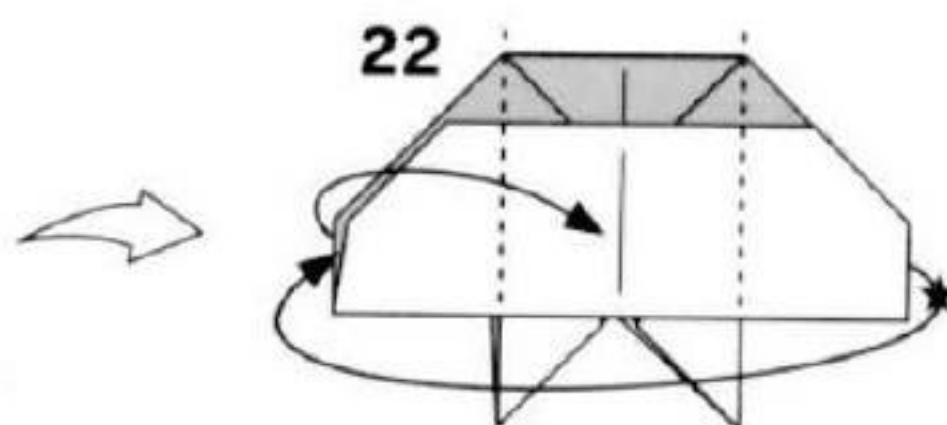
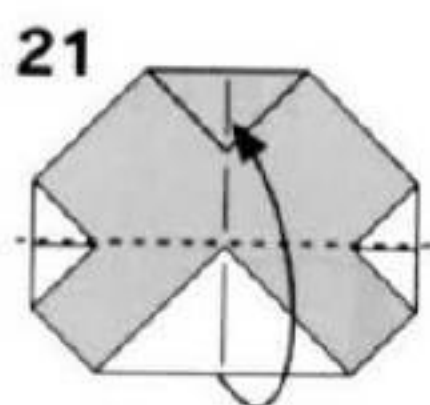
一番後ろの紙は  
折りません



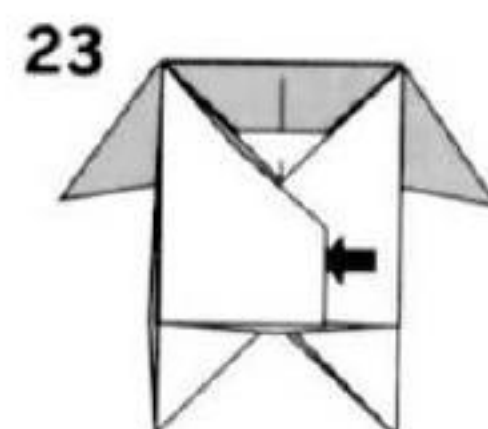
ひろげる



1/4 の比率は  
指にあわせて  
調節してください



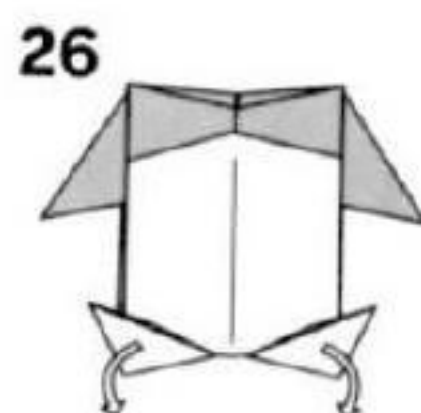
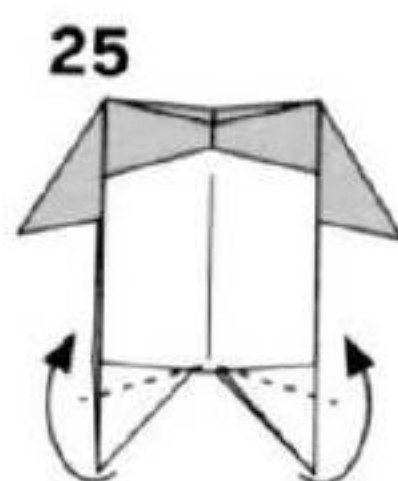
★の縁をもう一方の  
すき間に差しこみます



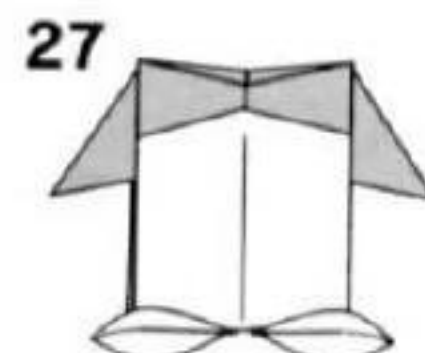
★の縁がつきあたるまで  
押し込みます



差し込んだまま  
折りすじをつけ  
立体的にする

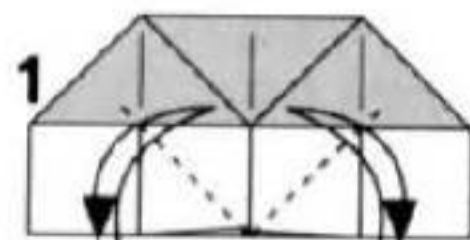


うさぎの耳のように  
ひろげる  
けど Rabbit Ear  
じゃないんですね

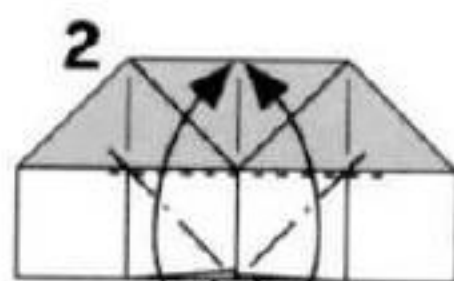


これでからは  
完成です

さて、あたまです  
まことに唐突ですが  
伝承作品の「いえ」  
から始めます

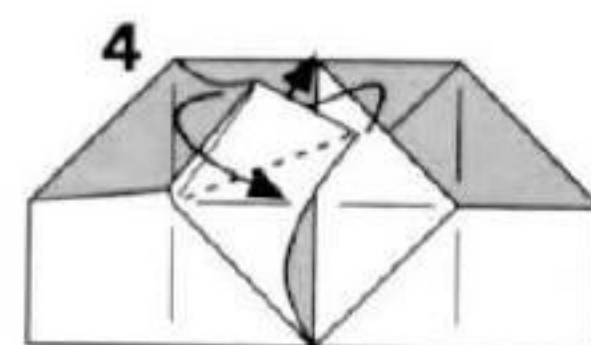
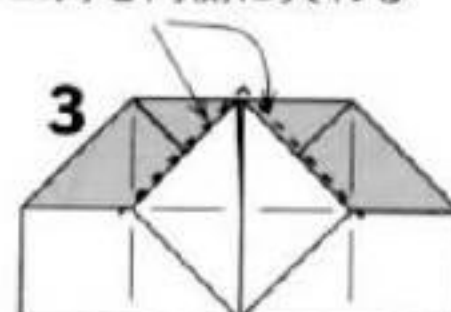


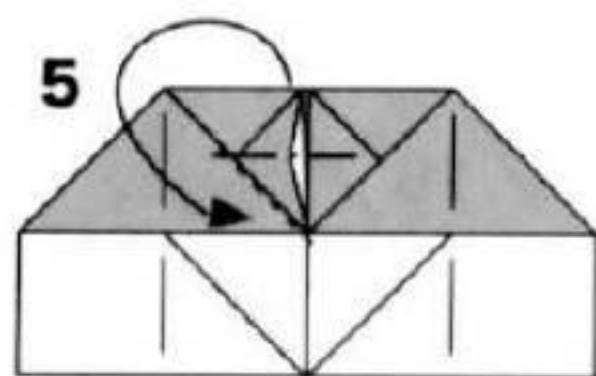
折りすじをつける



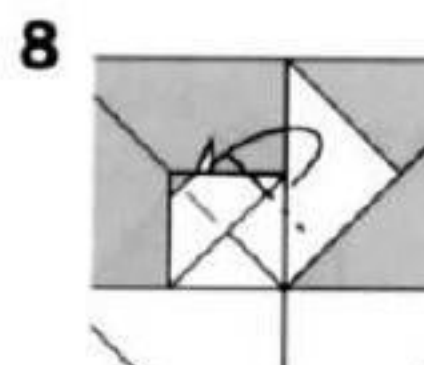
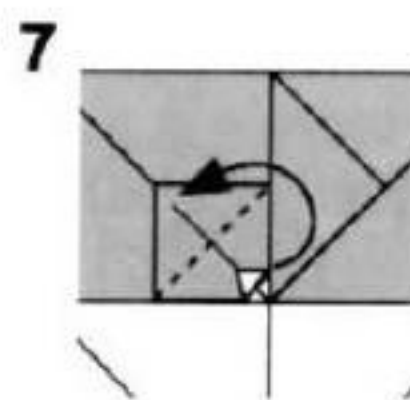
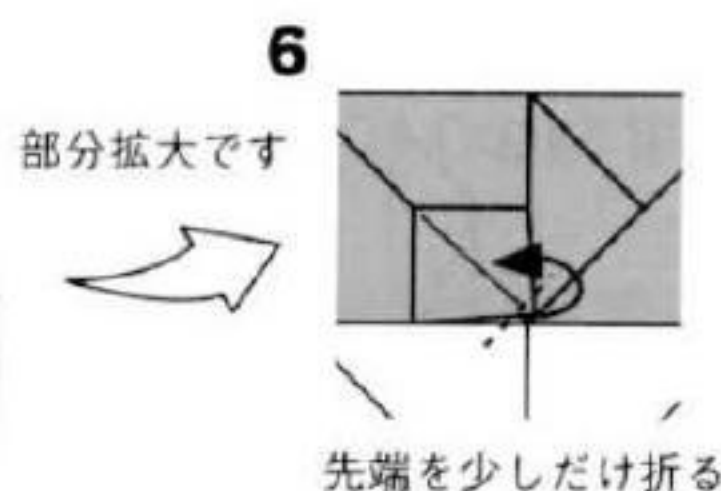
ひらいてつぶす

この部分の山折りを  
谷折りにかえて  
三角を内側に入れる

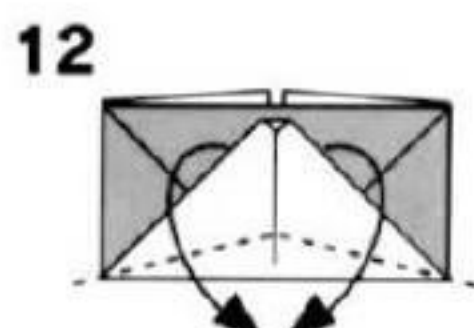
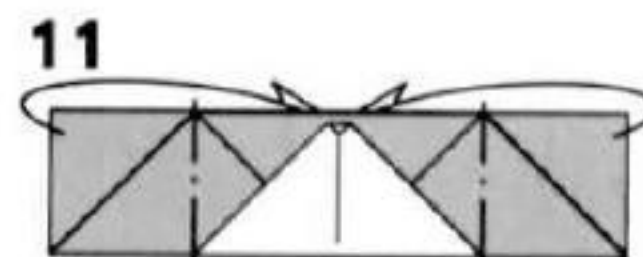
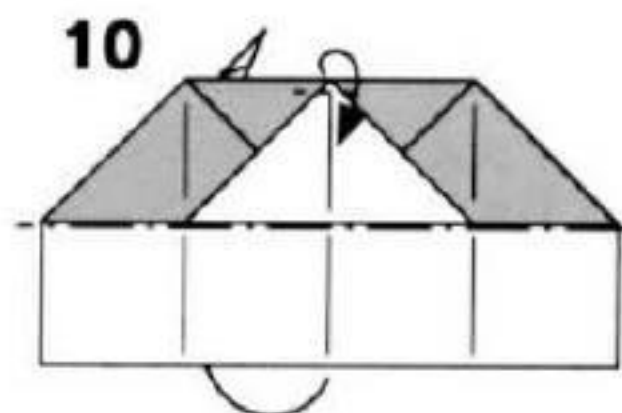
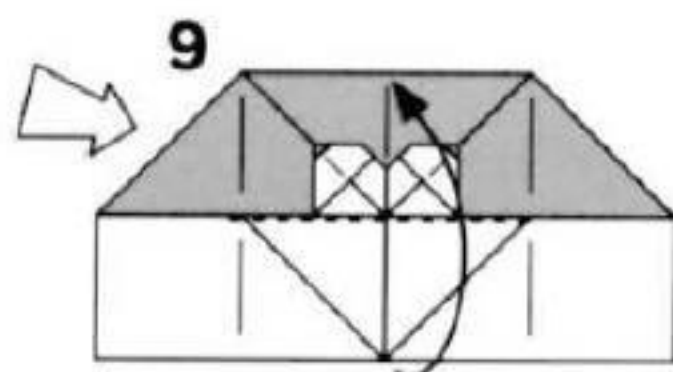




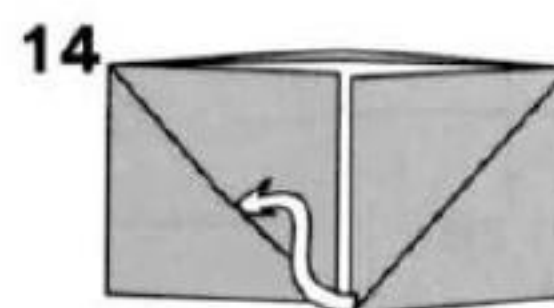
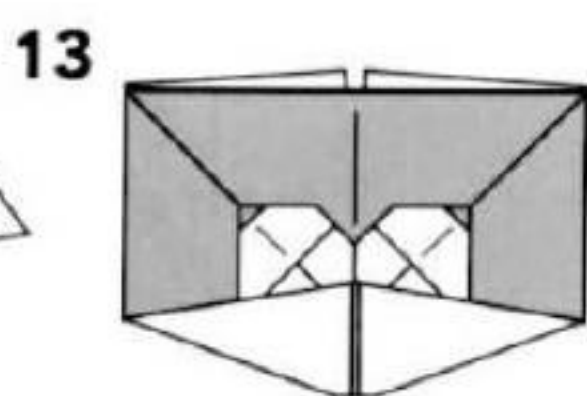
ひらいてつぶす



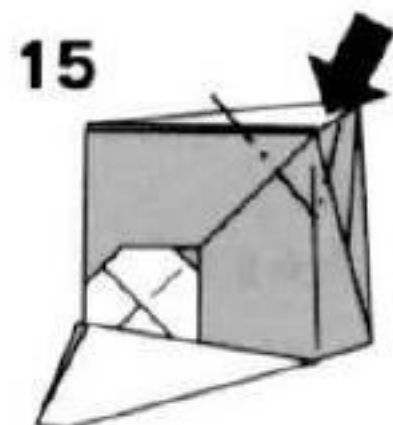
5 から 8 まで  
反対側も同じ  
よくある平凡な  
目の折り方ですね



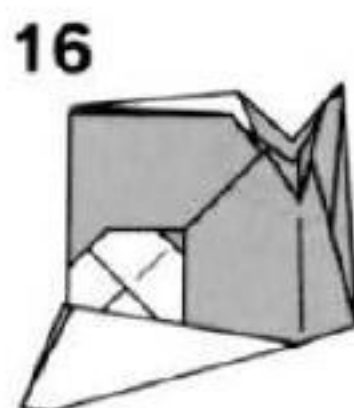
かぶせ折りというべきか  
つまむように折るといのか  
角度は  $1/2$  よりずっと  
大きくしてください



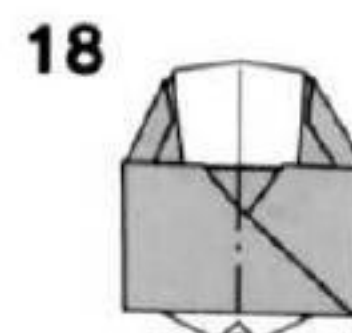
片方をもう一方に  
さしこみます



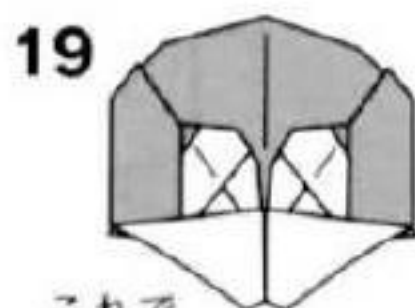
カドをおしこむ  
反対側も同じ



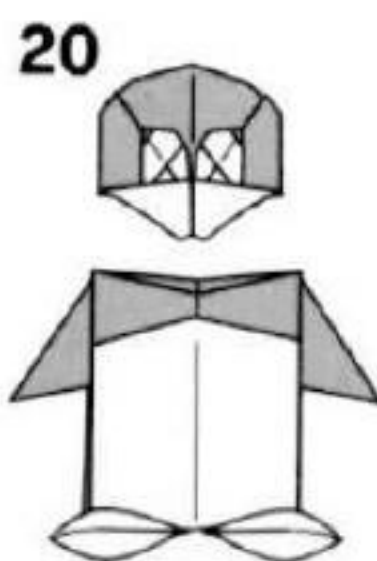
うしろの紙も  
おしこむ



まんなか  
折り目をつけて

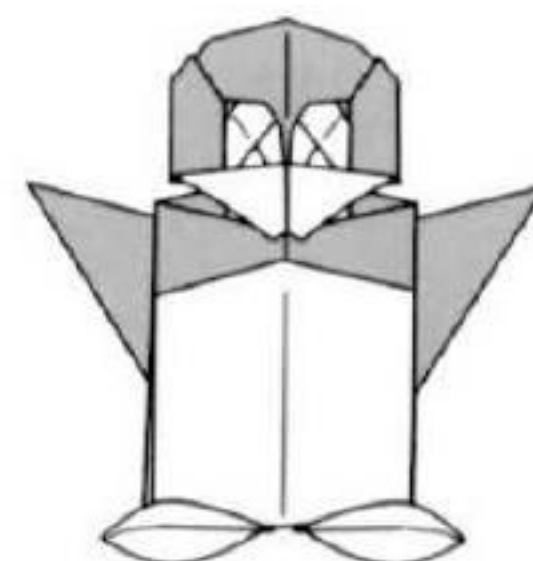
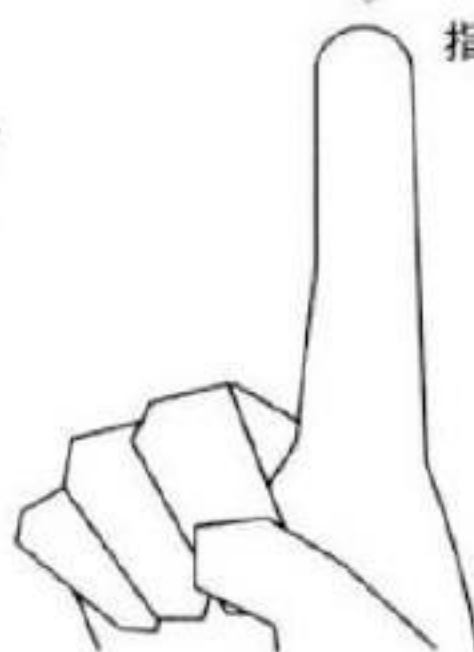


これで  
あたまも完成



指にかぶせます

いや～何とか作ってはみたものの、  
目の折り方はかえるでよくある平  
凡なのだし、あたまとからだはデ  
ザインラインが違うし、指の太さ  
に合わせると体型まで変わってし  
まうし、やっつけ仕事はいけませ  
んねえ。



(17) の折り方の  
角度をかえれば  
こんな感じ

# スミロドン

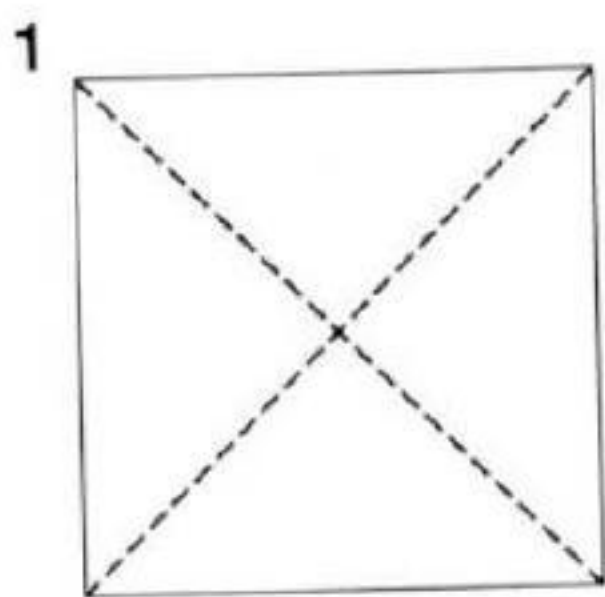
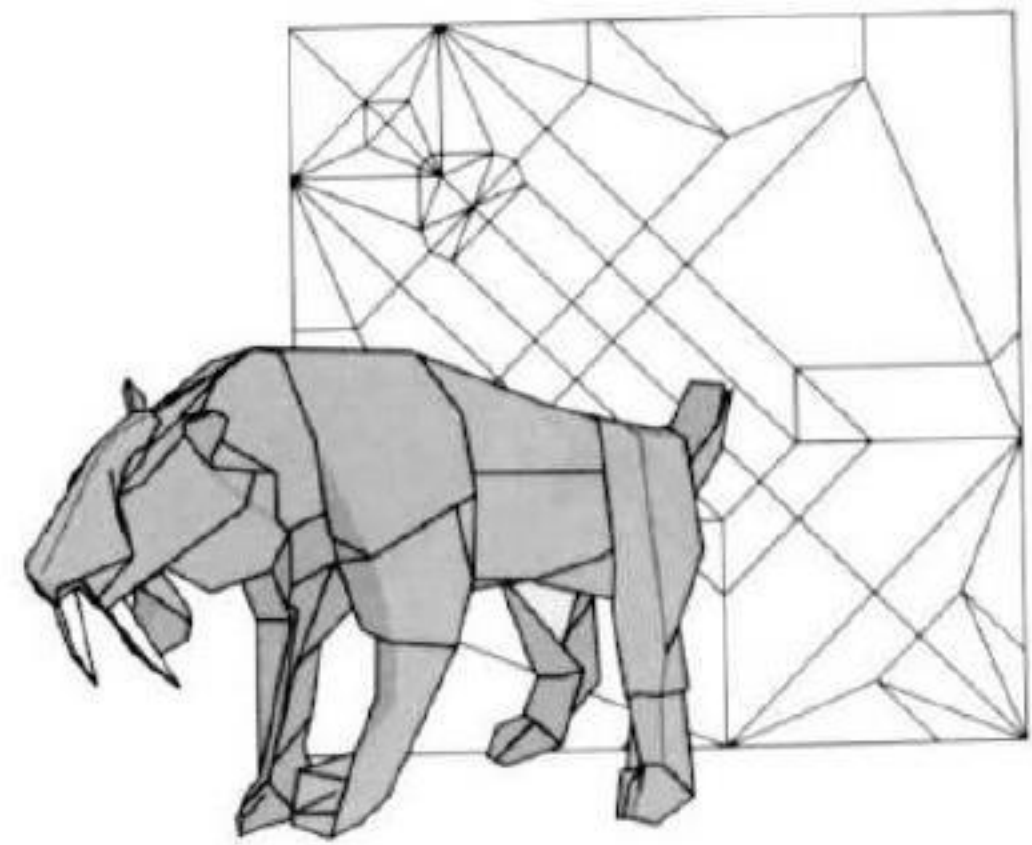
smilodon

神谷哲史

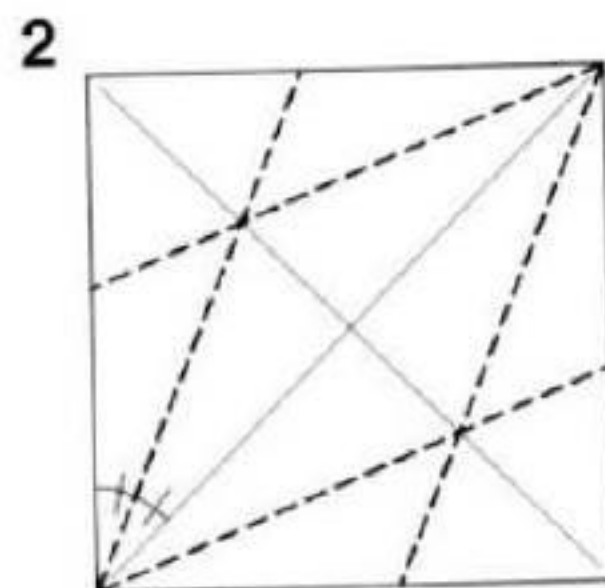
Model & Diagrams by Kamiya Satoshi

作 2001/04/01

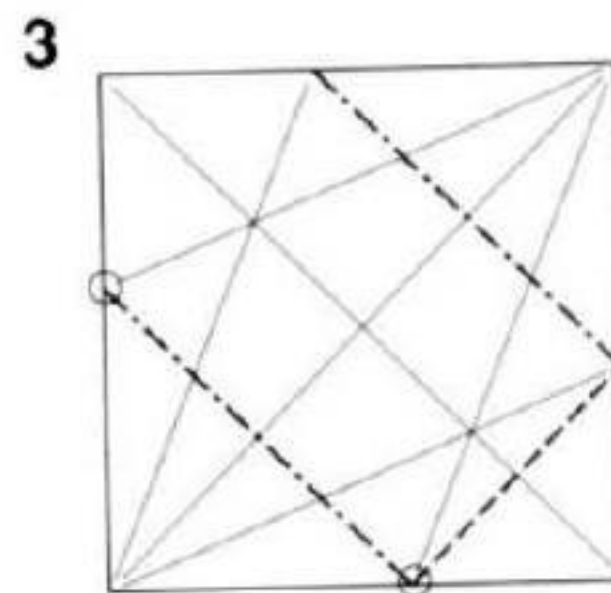
図 2001/06/03



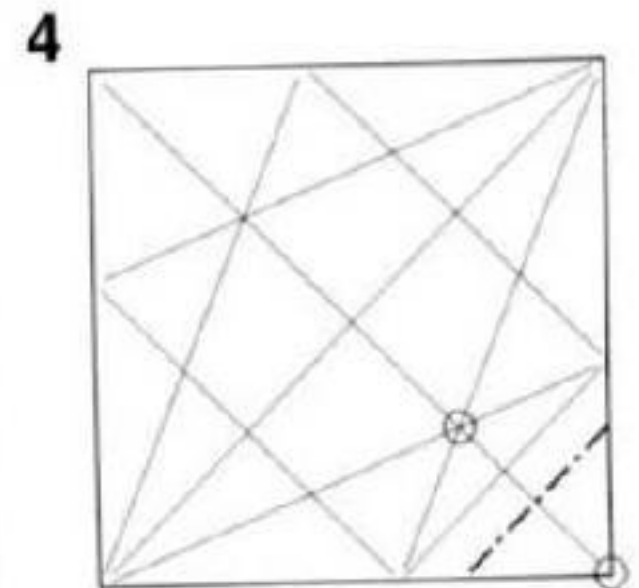
対角線の折り筋をつける



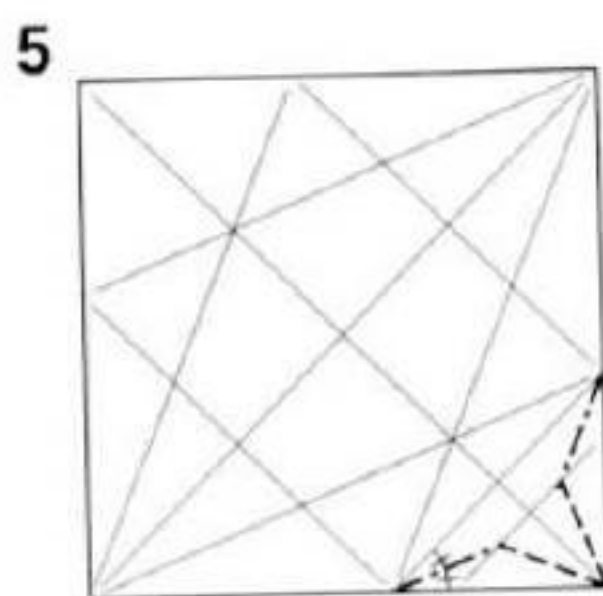
折り筋をつける



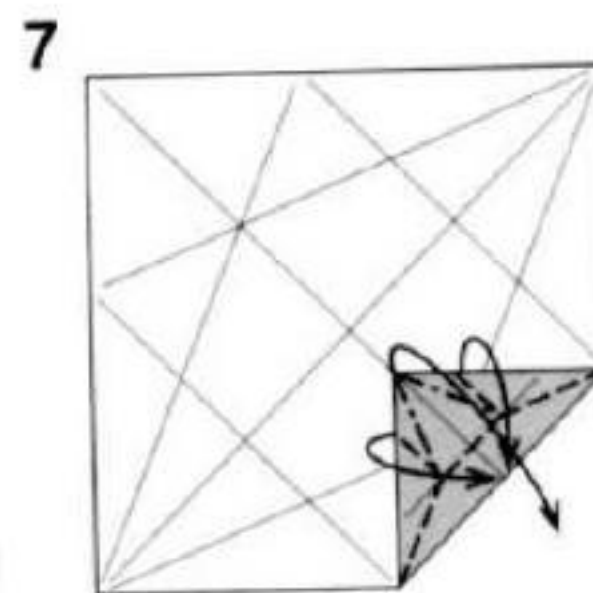
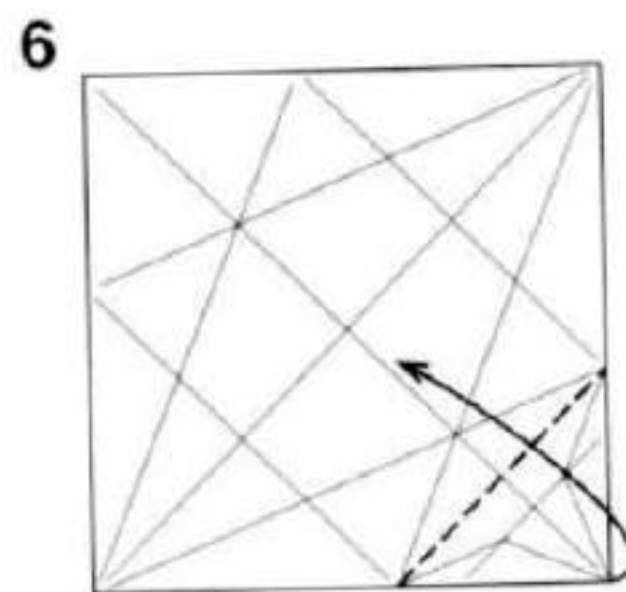
○を基準に折り筋をつける



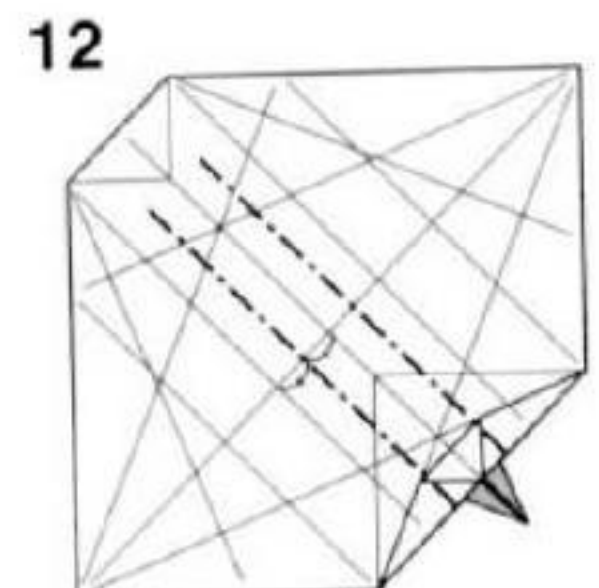
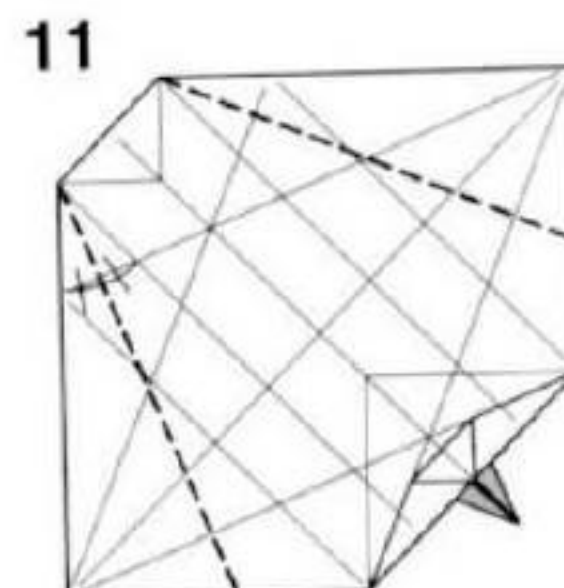
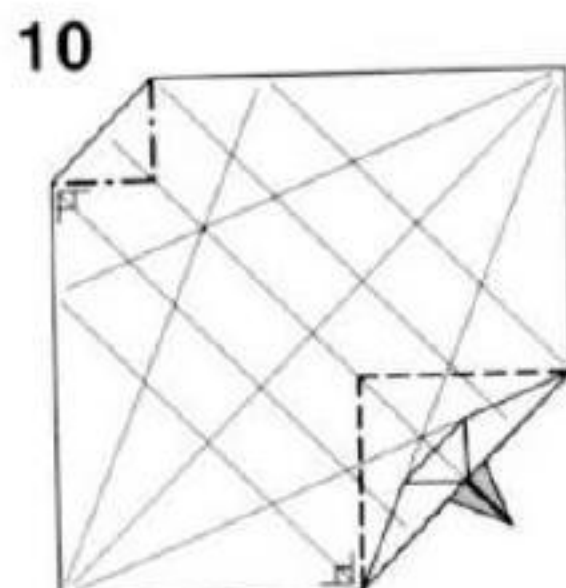
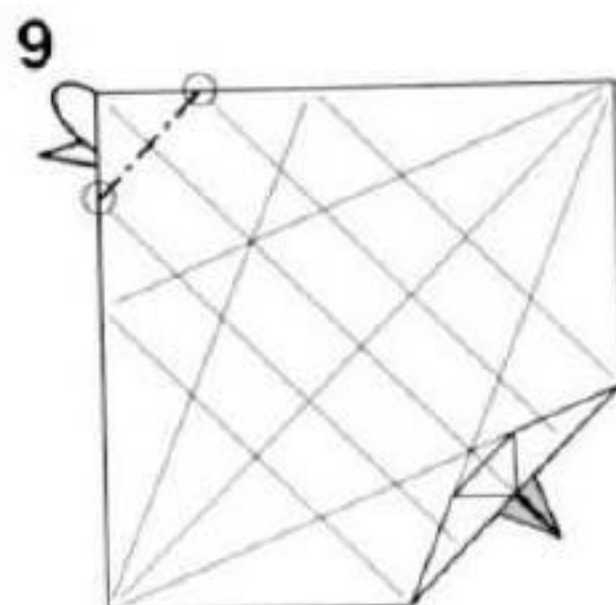
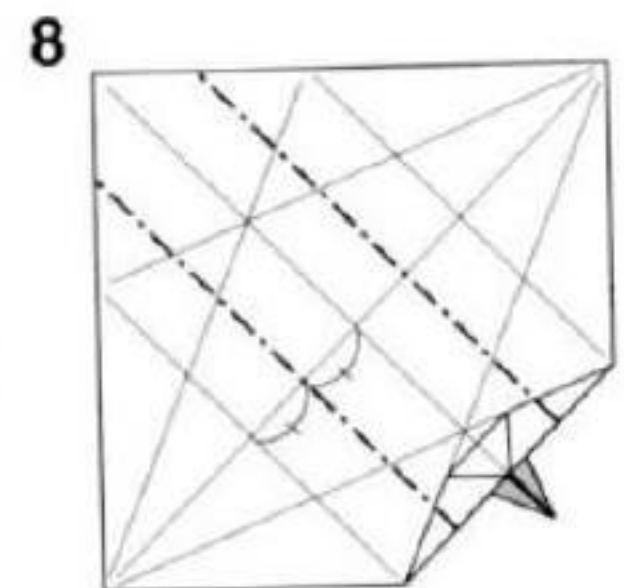
○を合わせて  
折り筋をつける



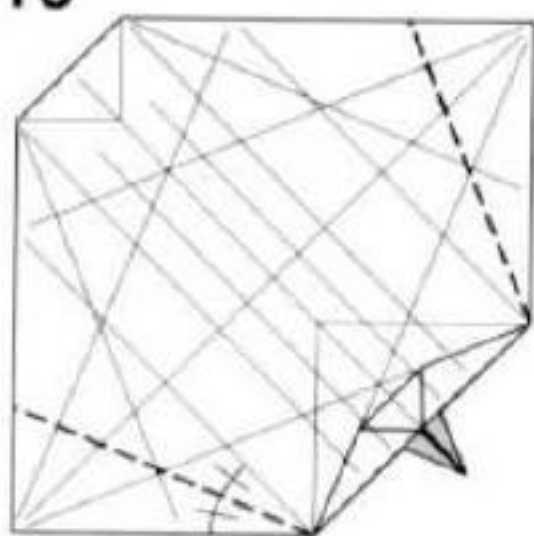
折 (以下略)



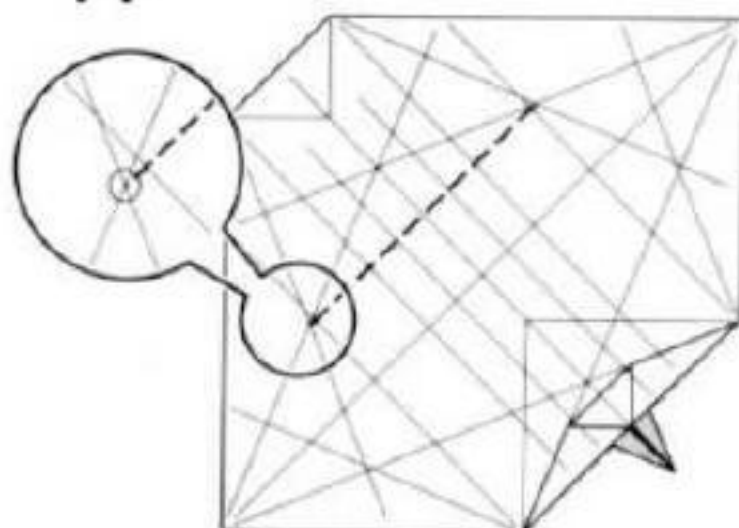
ついている折り筋を  
使ってまとめる



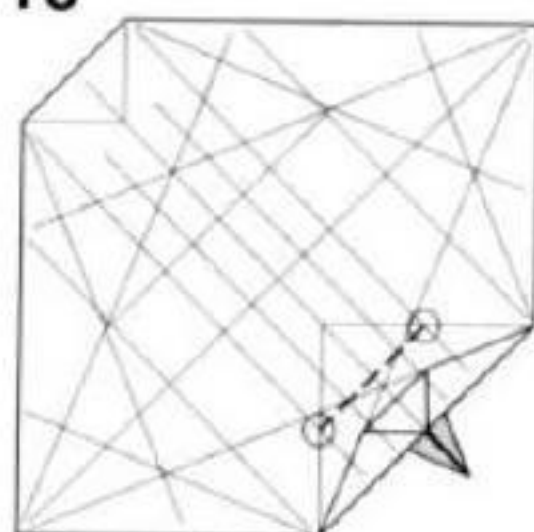
13



14

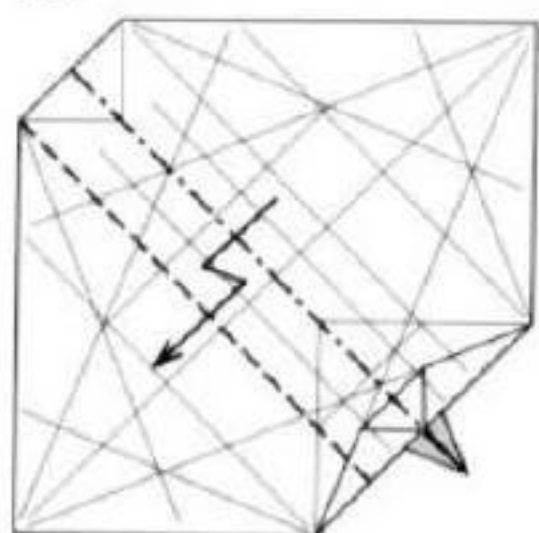


15



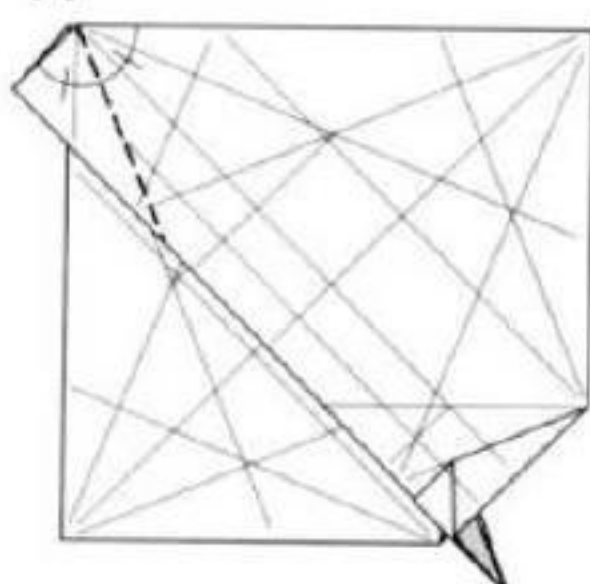
○を基準に折り筋をつける  
細かい位置に注意

16

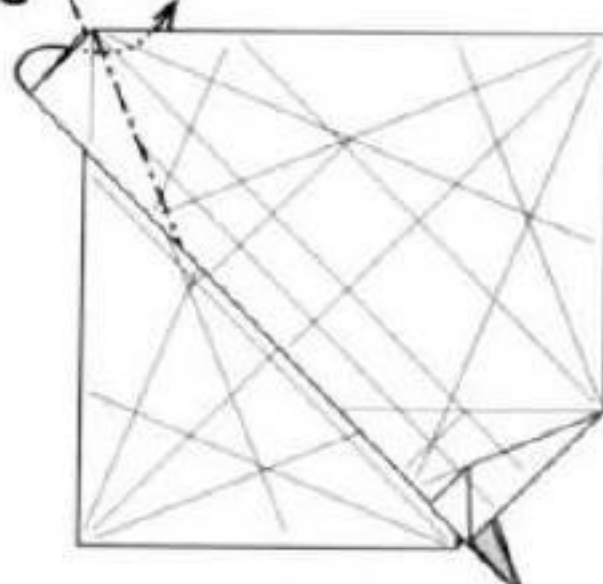


段折り

17

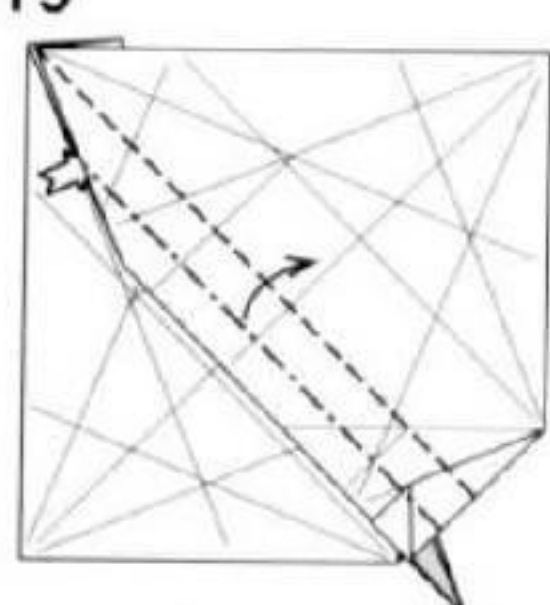


18



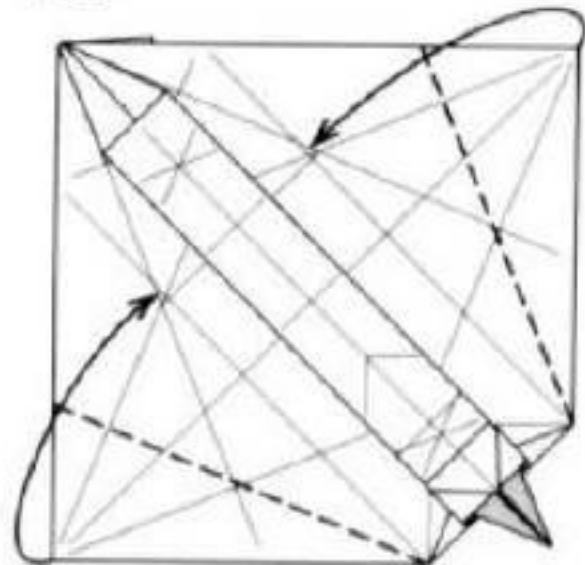
中割り折り

19

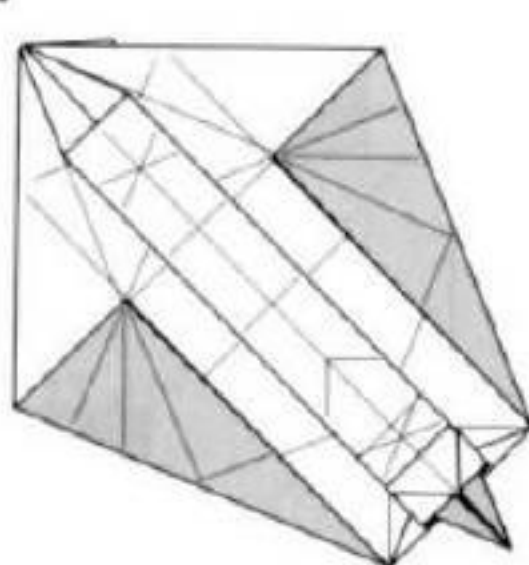


ひだの先の方を開いて  
全体を縦につぶす

20

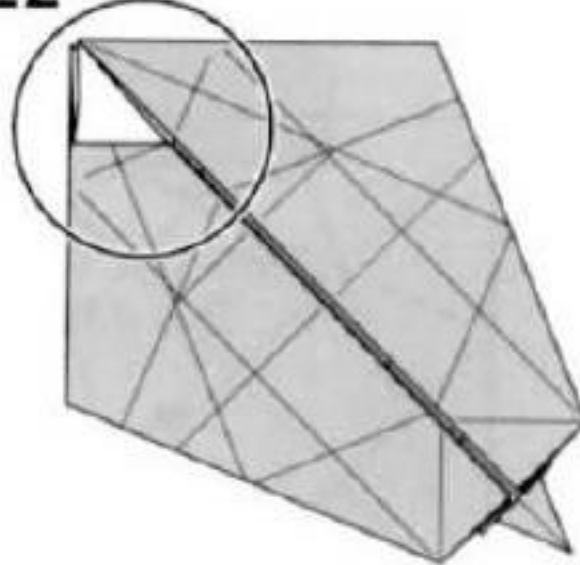


21



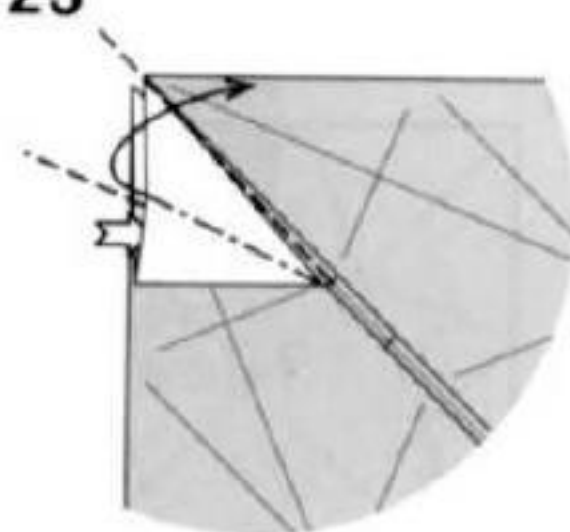
裏返す

22



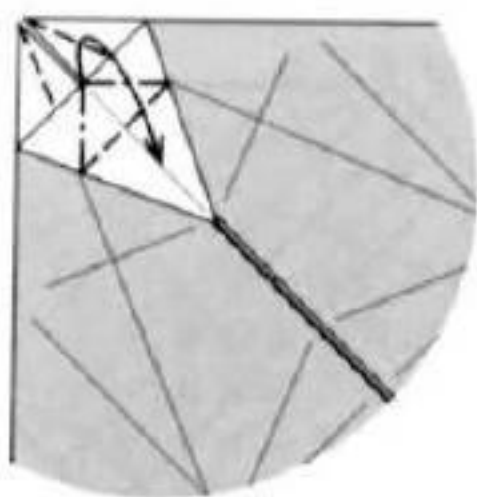
拡大

23



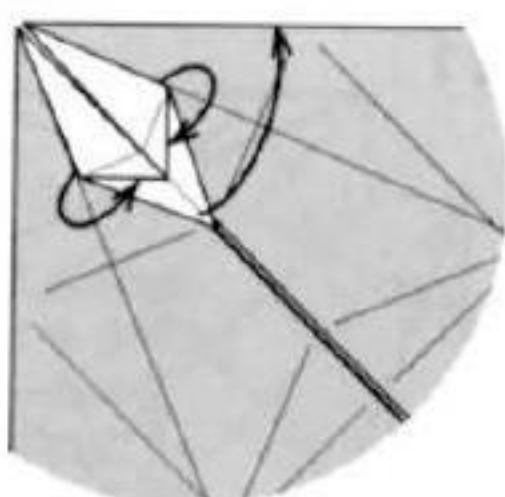
開いて折り畳む

24



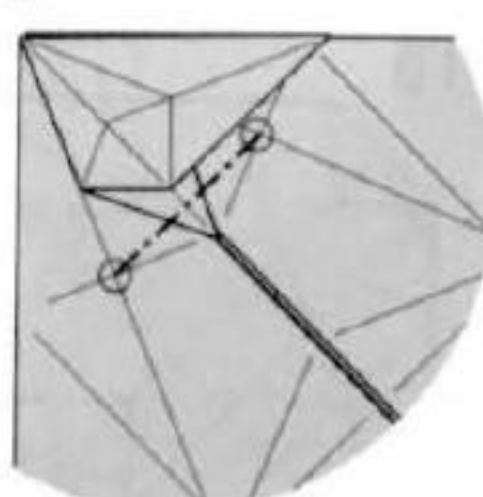
かえるの基本形状に折る

25



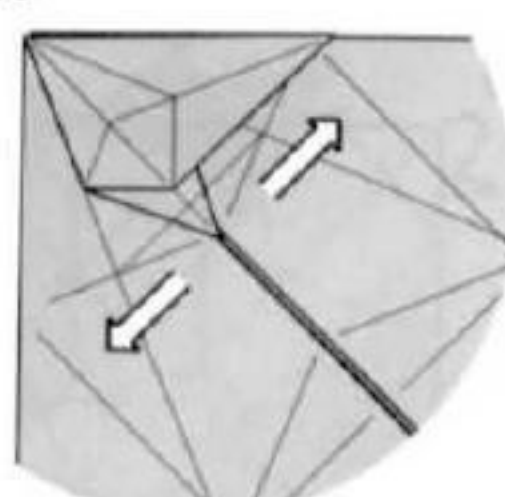
重なっている部分の紙を開く

26



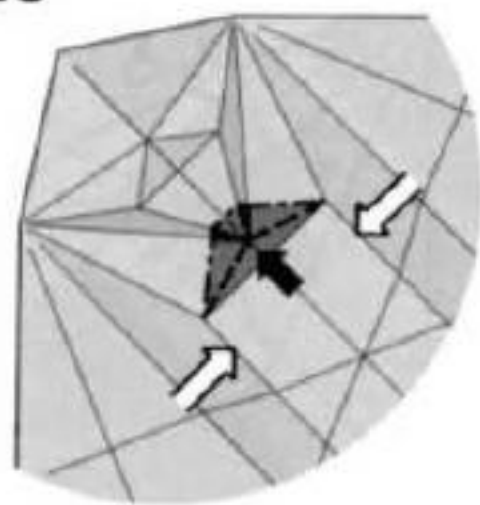
○を基準に折り筋をつける

27



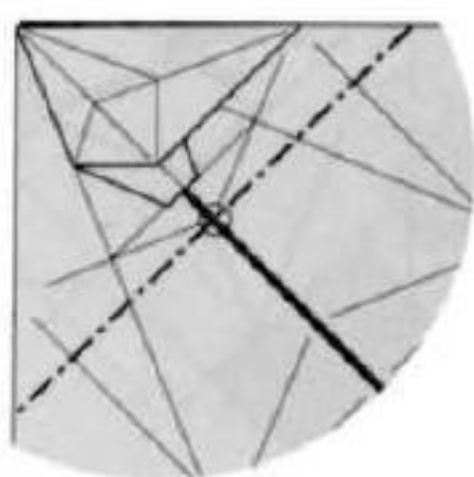
半開状にして……

28



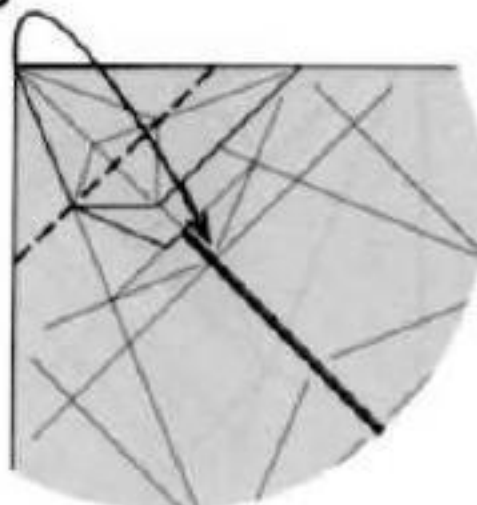
濃い部分をしずめ折りして  
そのまま畳む

29

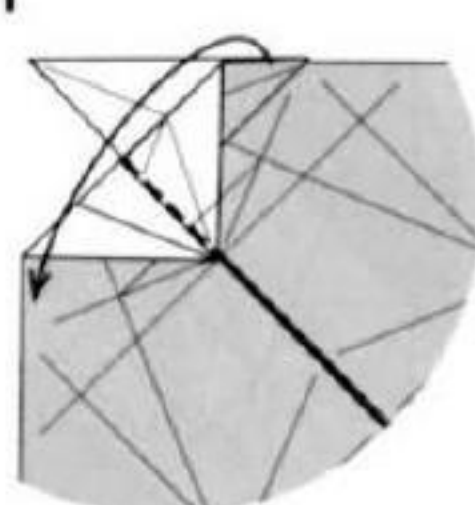


○を基準に折り筋をつける

30



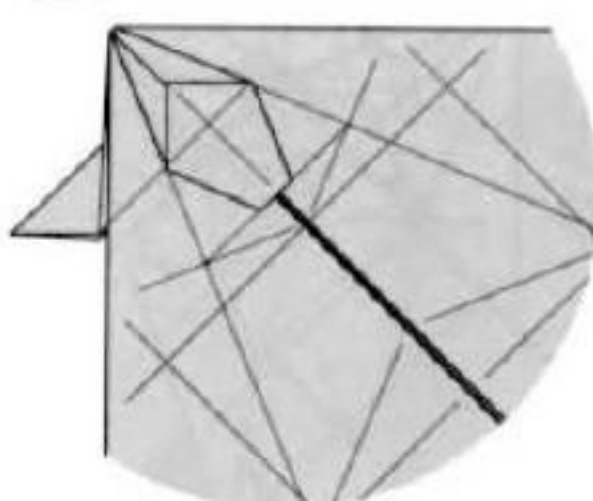
31



32

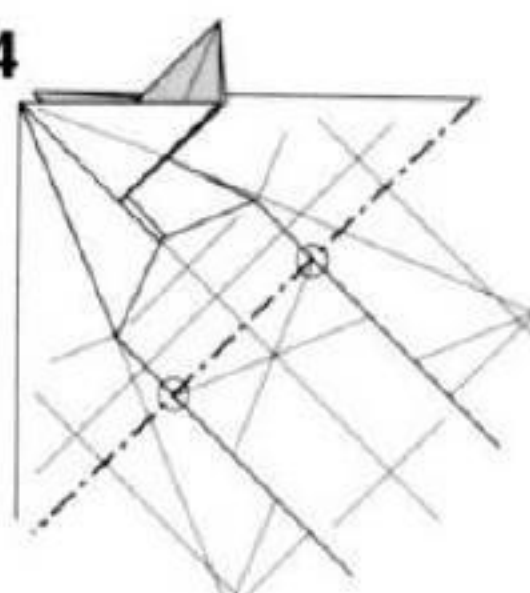


33



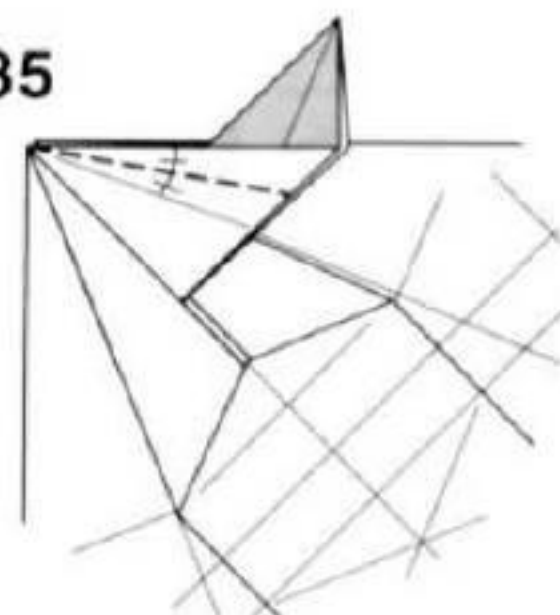
裏返す

34

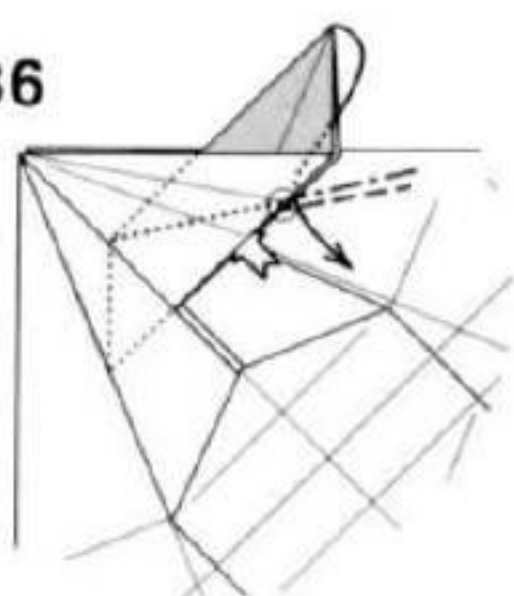


○を基準に折り筋をつける

35

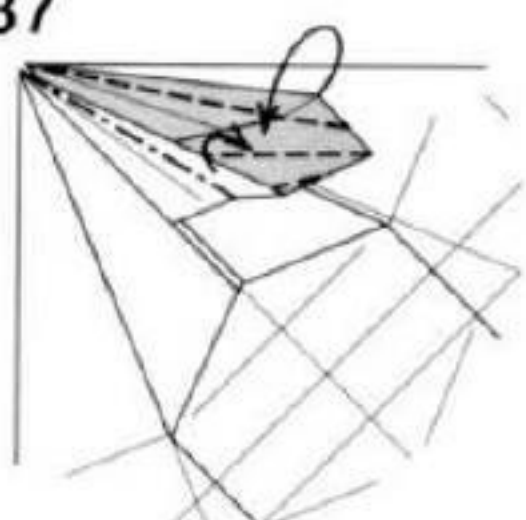


36



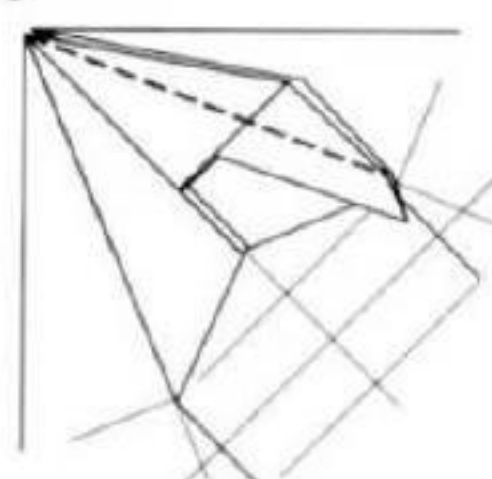
35 でつけた線を基準に  
中割り折りして……

37



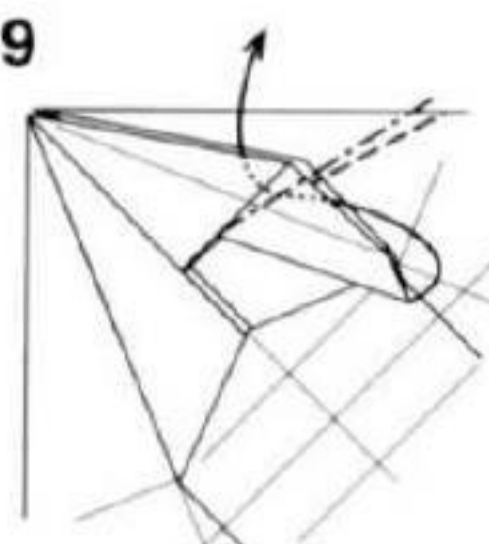
両側を折り込み畳む

38



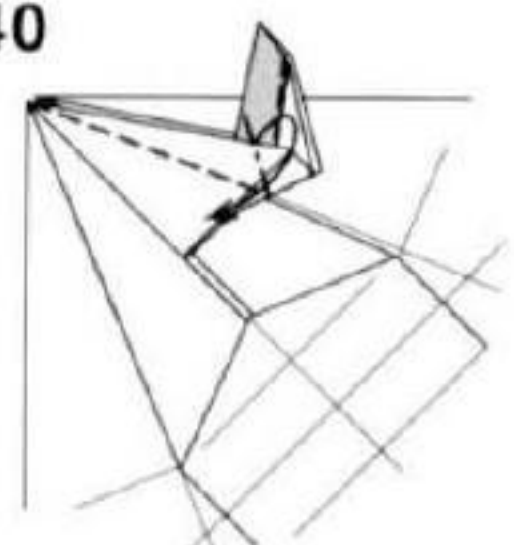
折り筋をつける

39

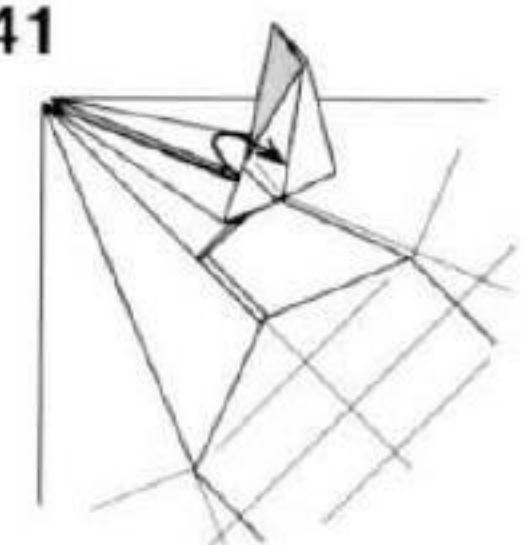


中割り折り

40

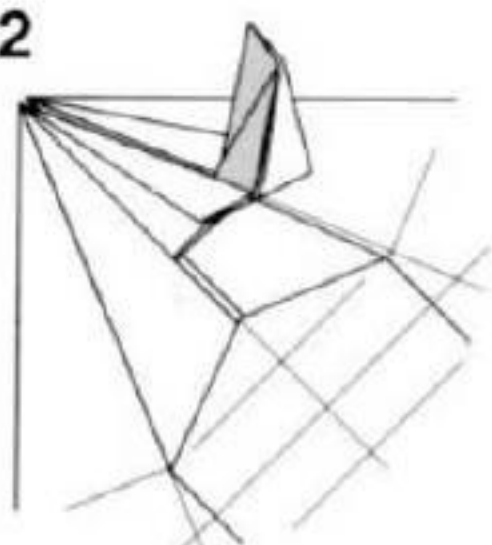


41



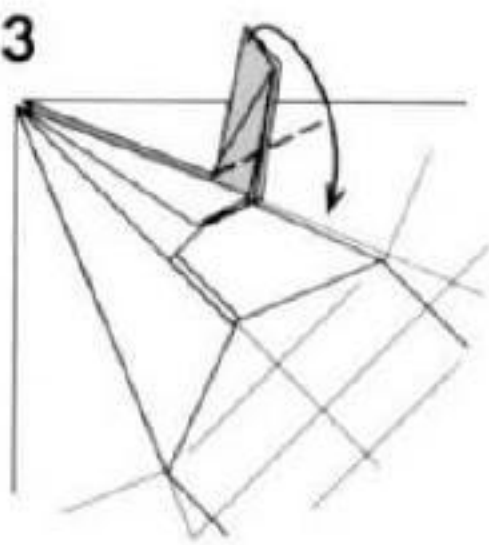
裏側の紙をひっくり返す  
様にして前に出す

42

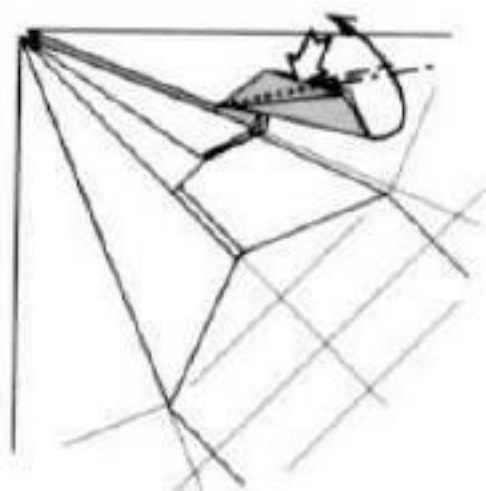


反対側も 40-41  
と同様に折る

43

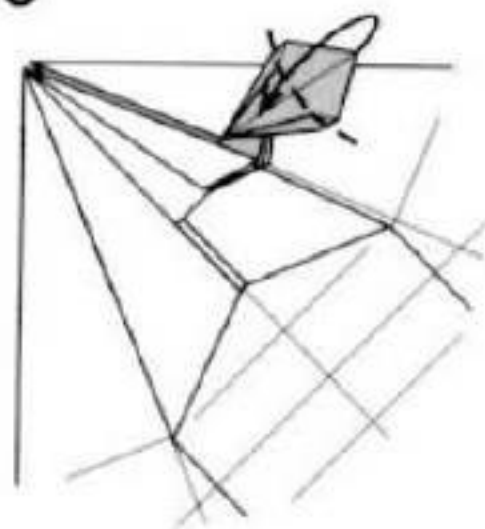


44



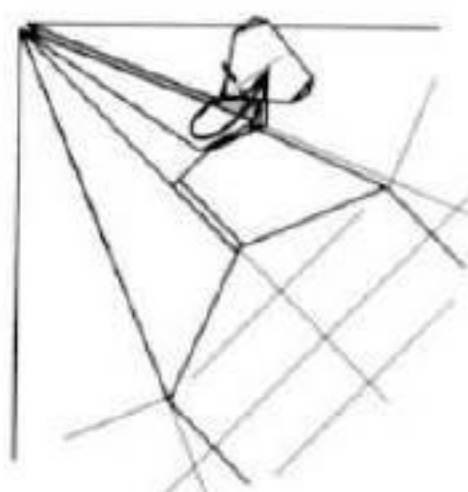
開いてつぶして……

45



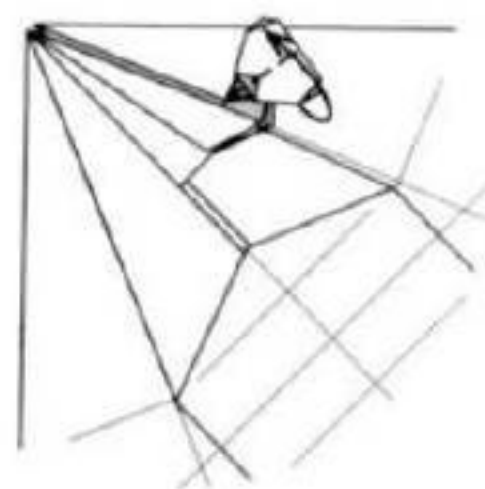
折りたたむ

46

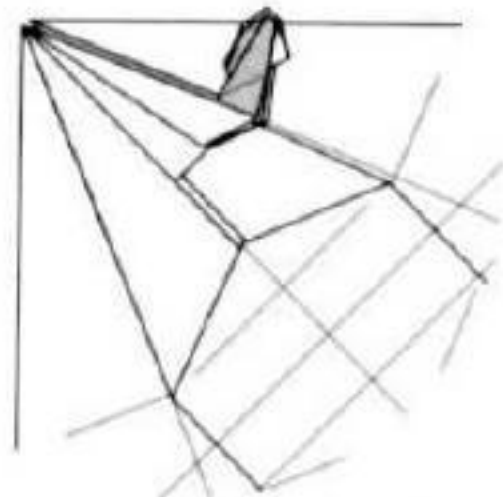


先を少しだけ折る

47

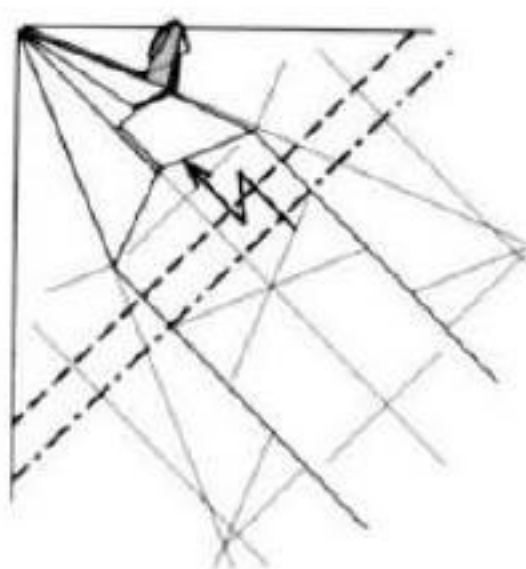


48



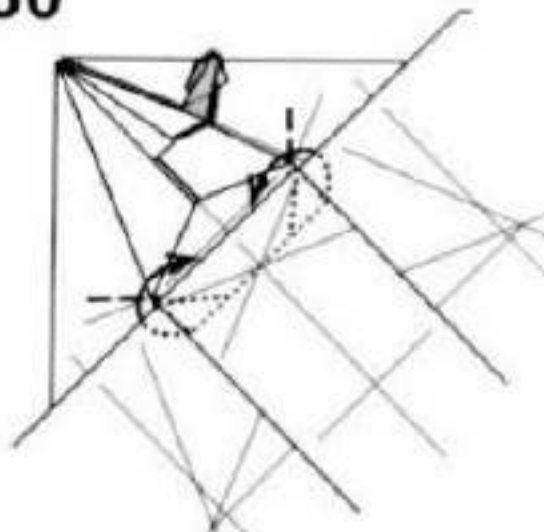
拡大終了

49



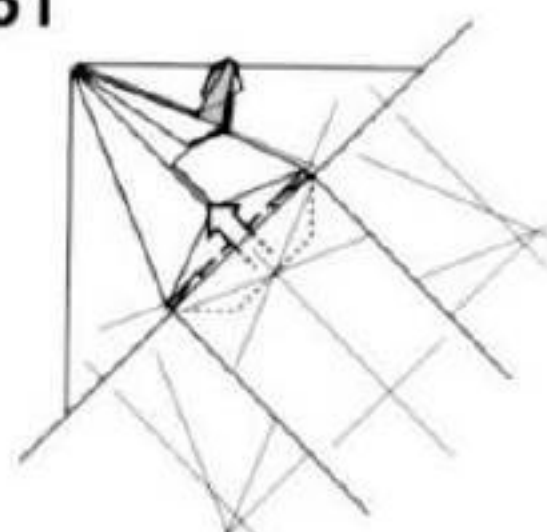
段折り

50



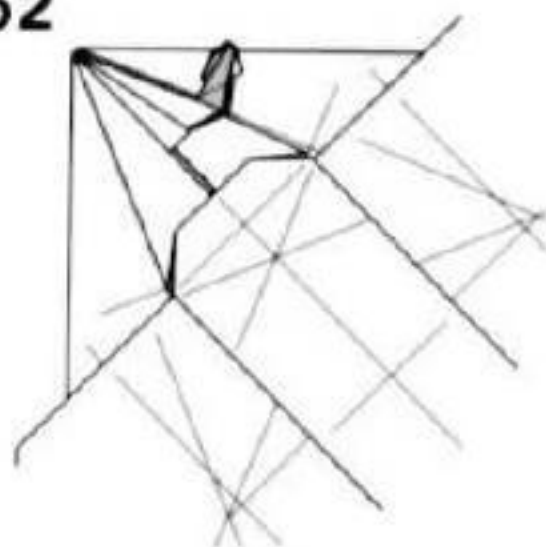
中のひだを中割り折り

51



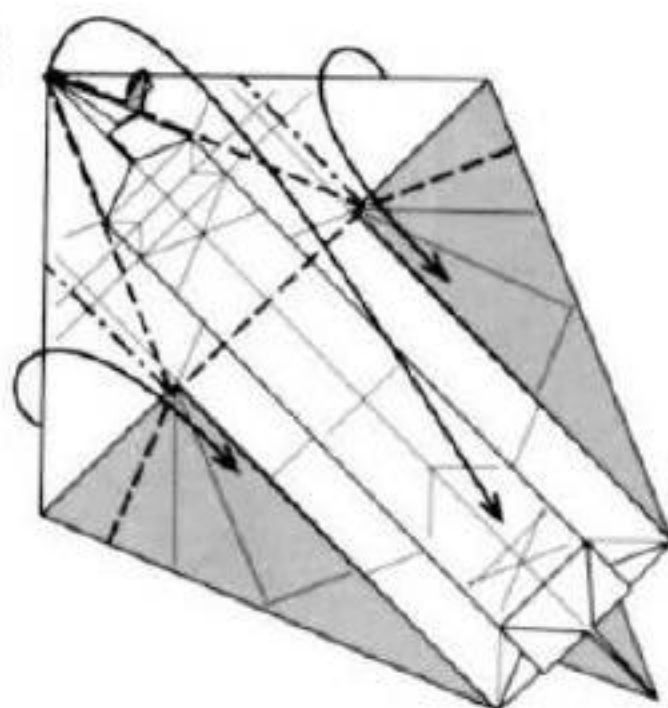
中の紙を裏から押し出す様にして引き出す

52



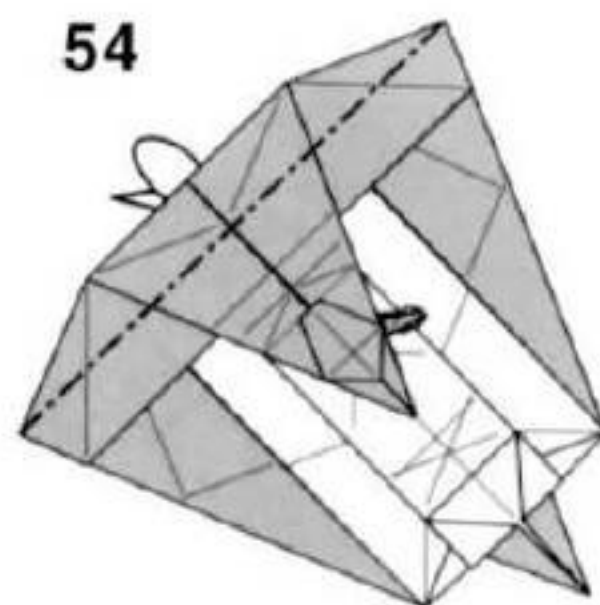
48の状態まで広げる

53

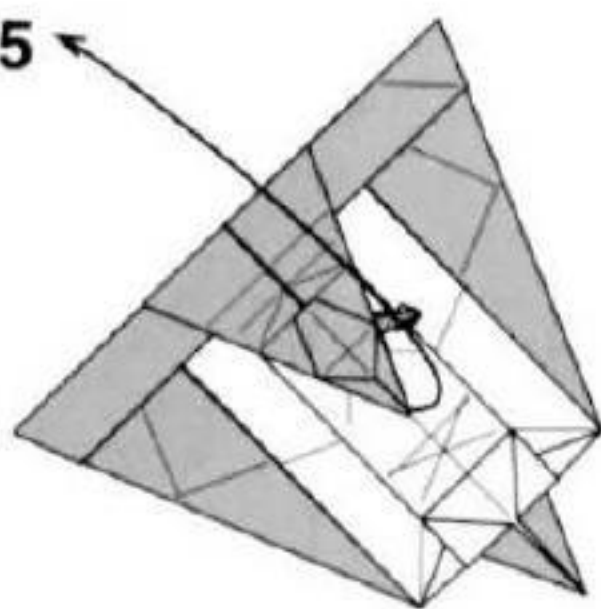


ついている線でまとめる

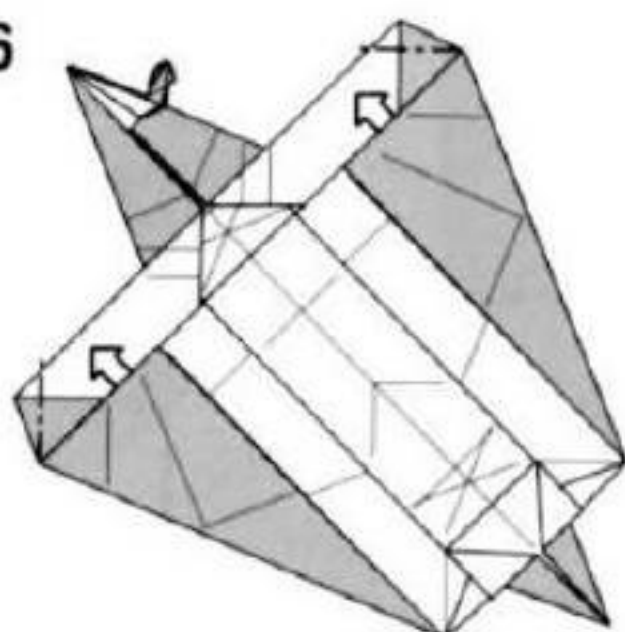
54



55

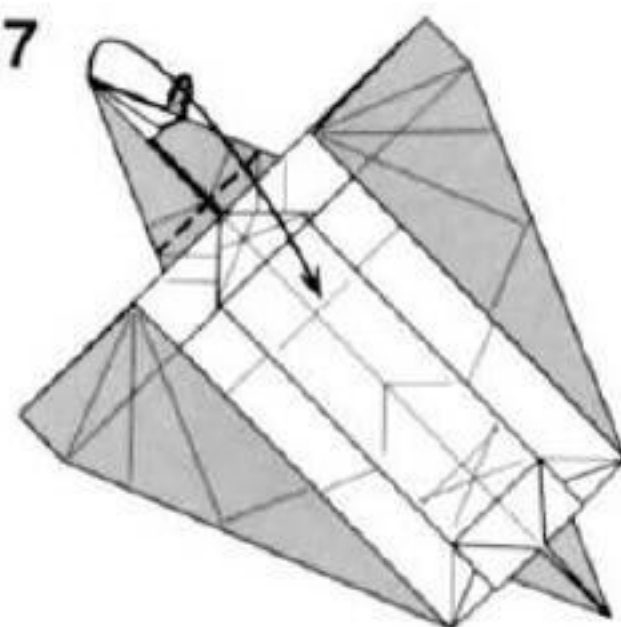


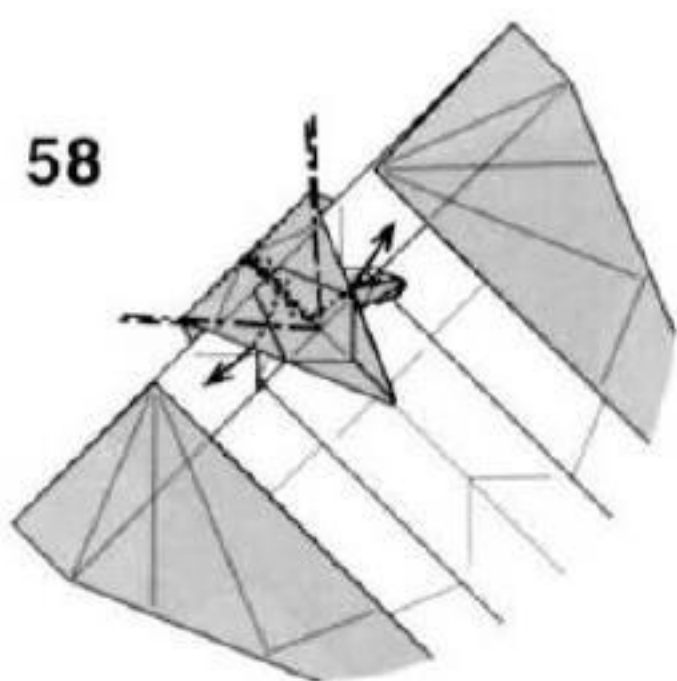
56



中の紙をずらす様にして引き出す

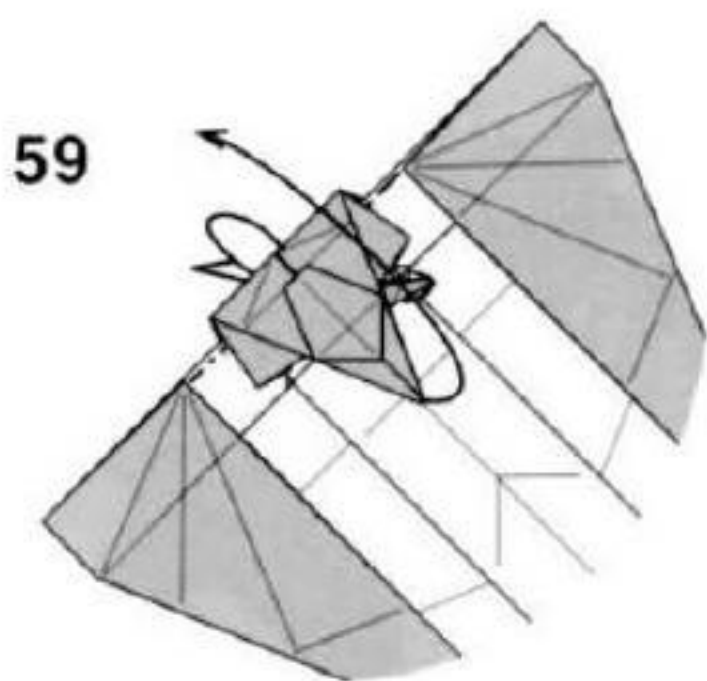
57





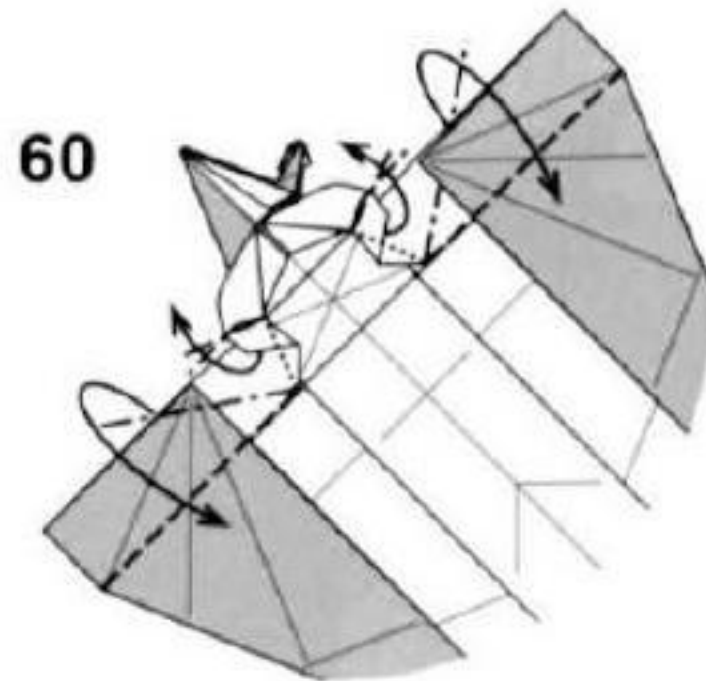
58

中の紙を外側へ中割り折り



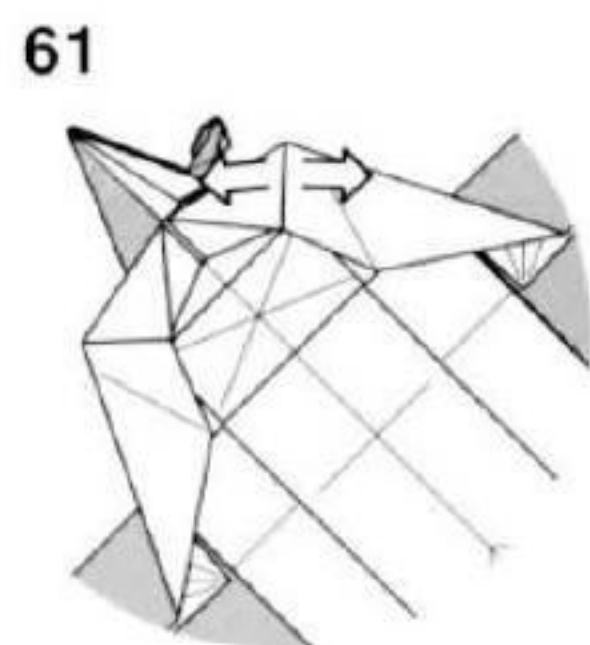
59

上の部分をひっくり返して……



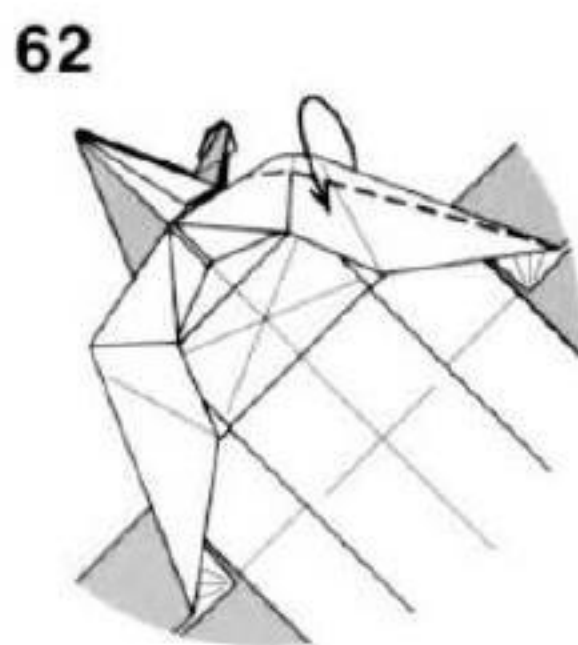
60

できたひだを平面に折りたたむ



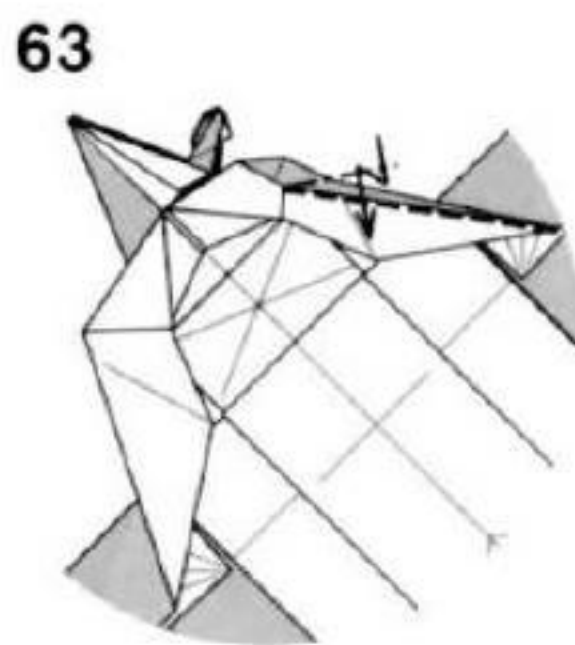
61

ひだの先を開いて……



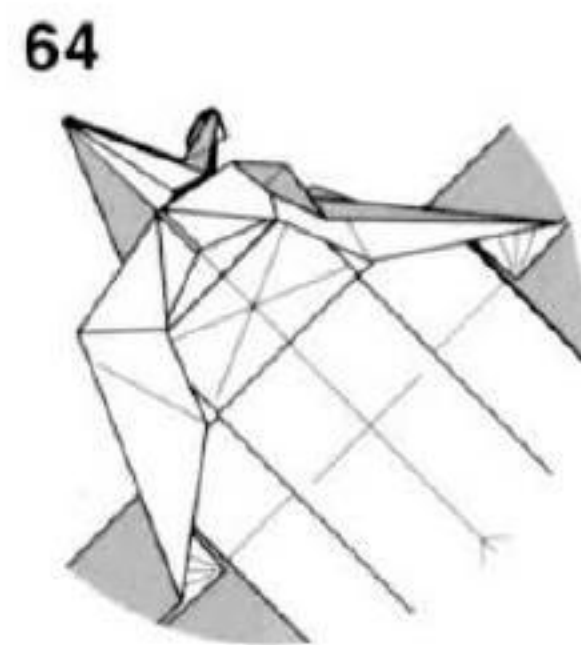
62

はしを少し折り込んで……



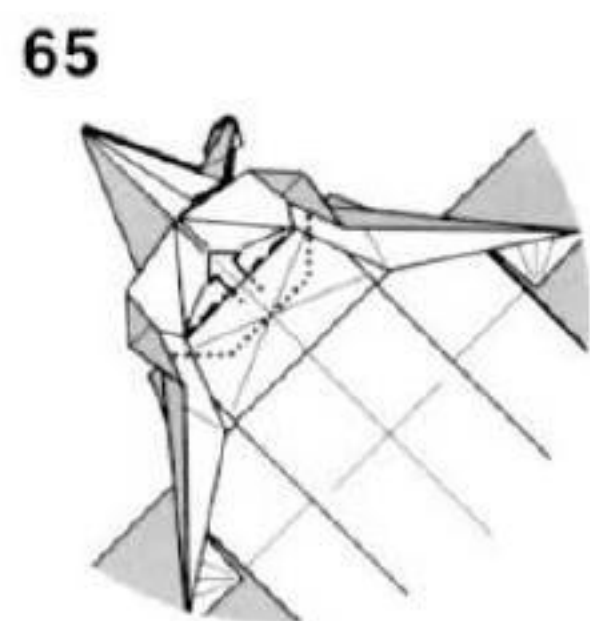
63

平面に折りたたむ



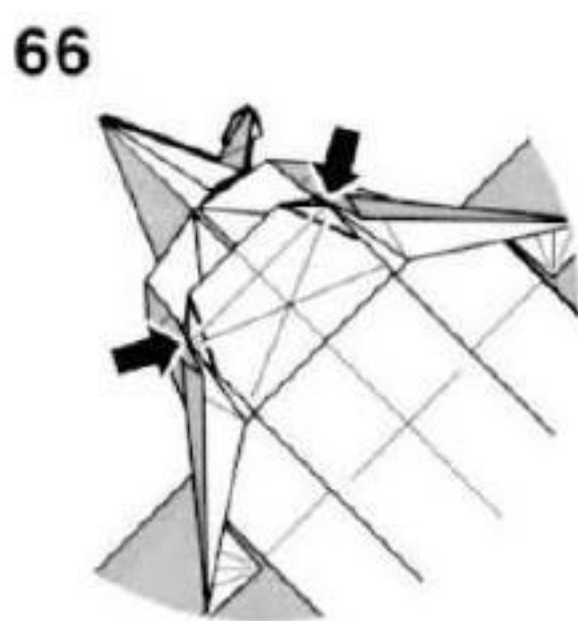
64

反対側も 61-63  
と同様に折る



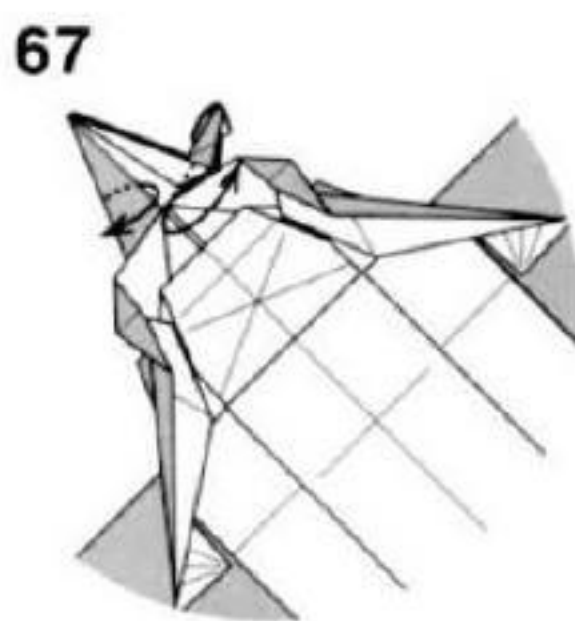
65

51 で折った部分を押し出す  
両側の引っ掛かる部分は……



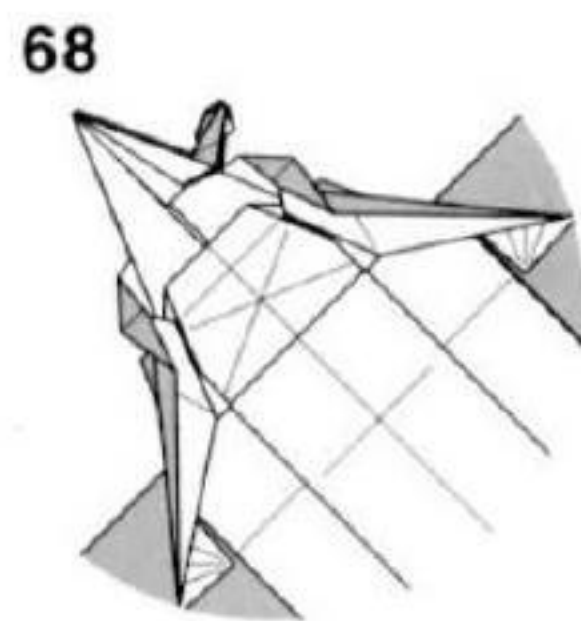
66

しずめ折り



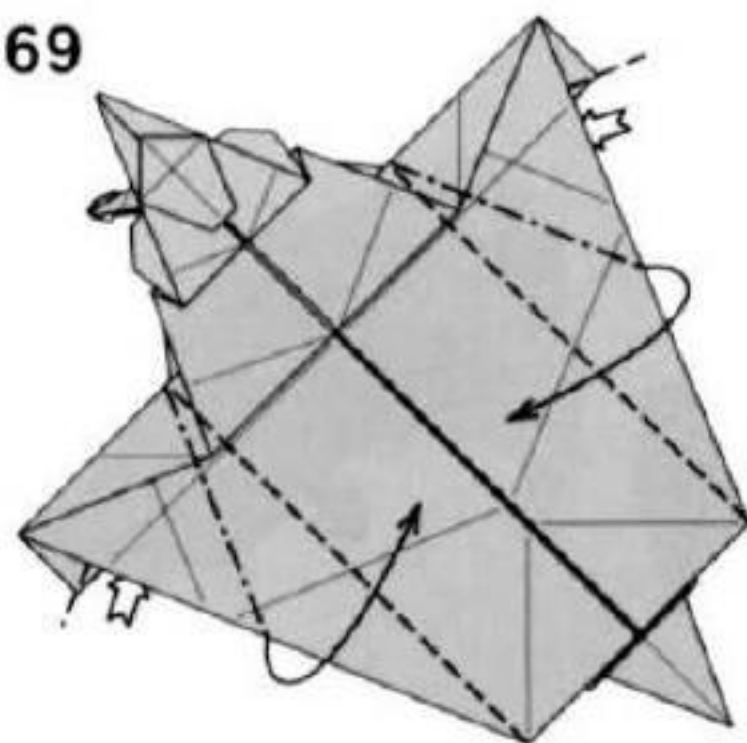
67

上の紙を下のひだに入れる

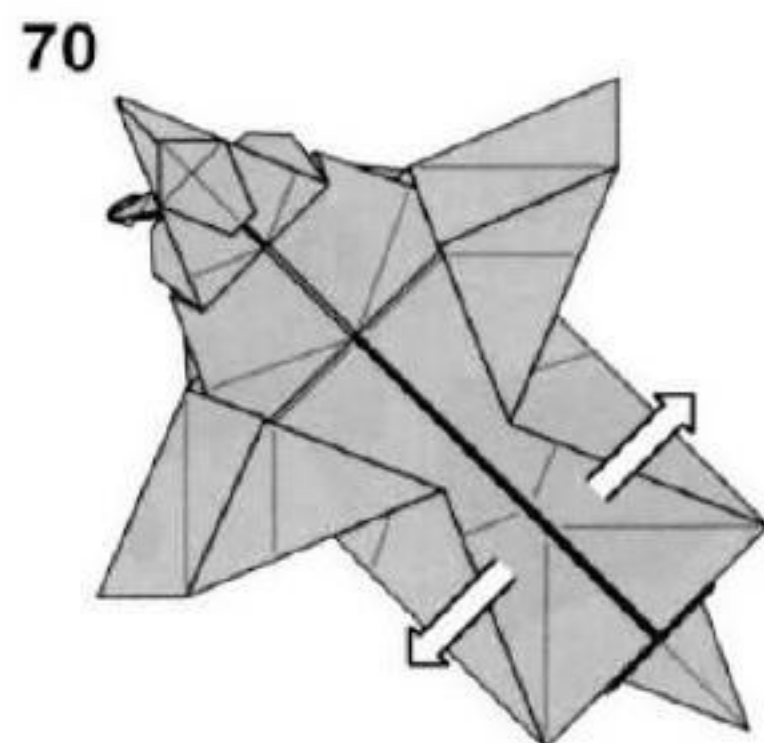


68

拡大終了  
ひっくり返す

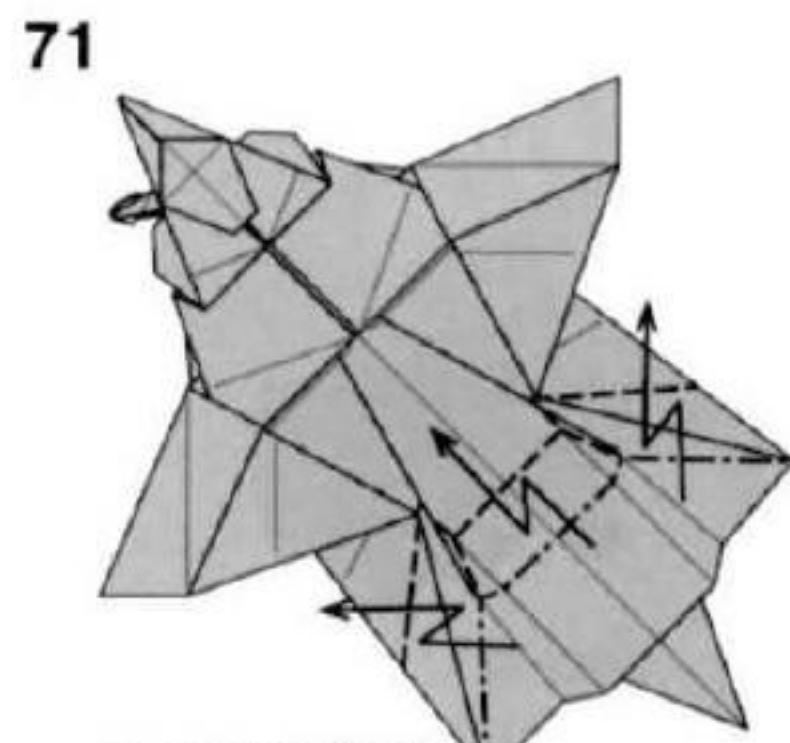


69



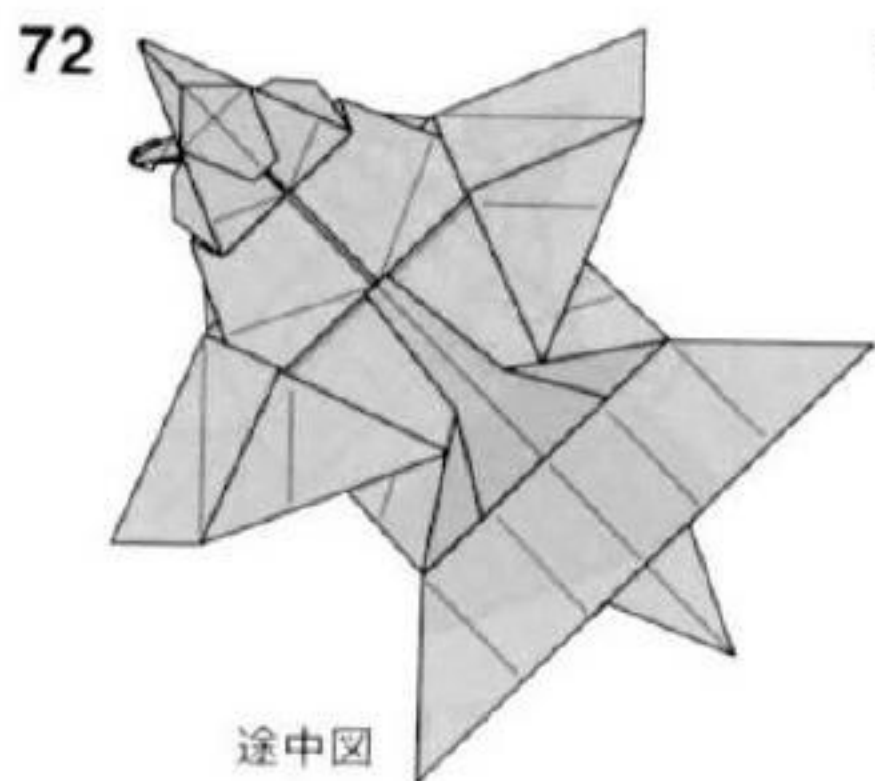
70

下の方を半開状にして……

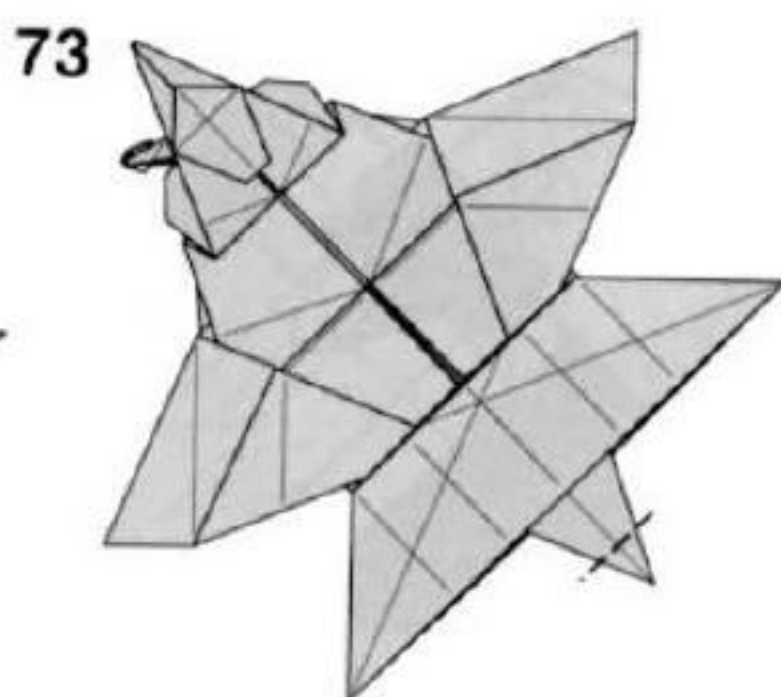


71

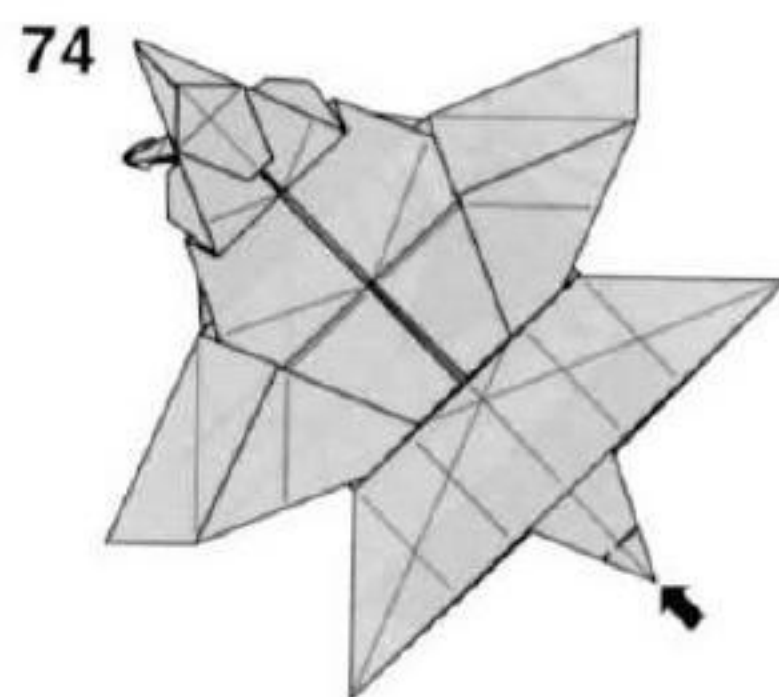
ついている線で  
段折りするようにしてたたむ



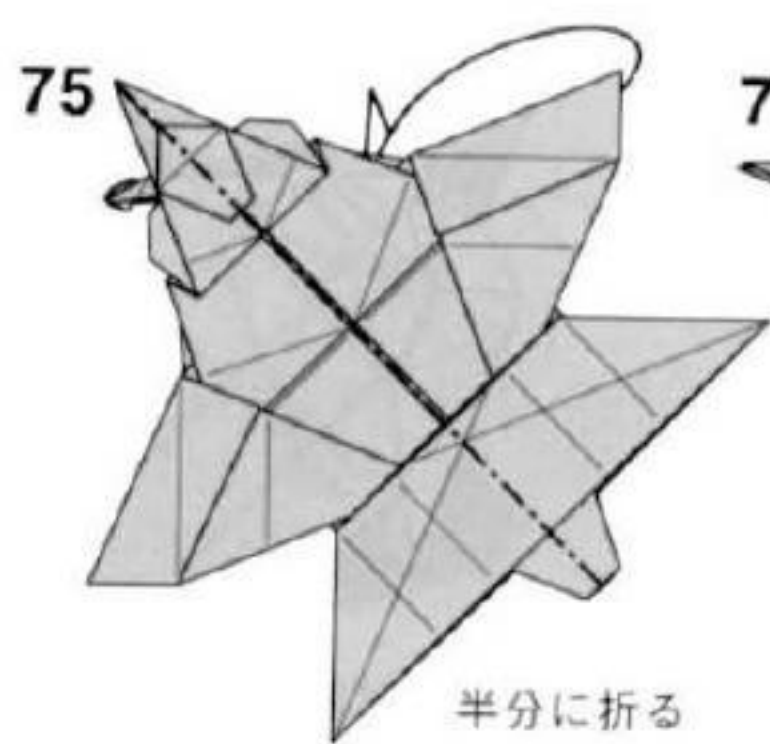
途中図



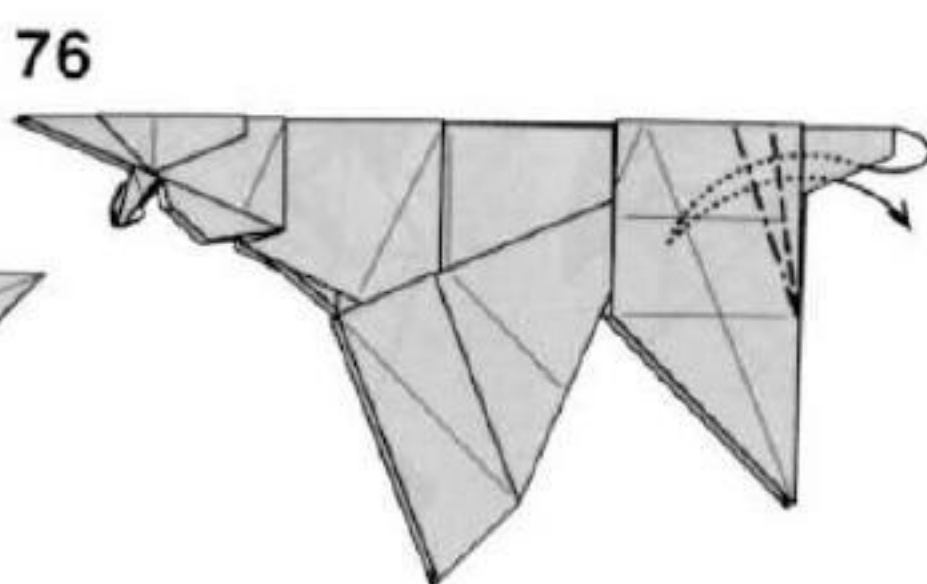
折り筋をつける



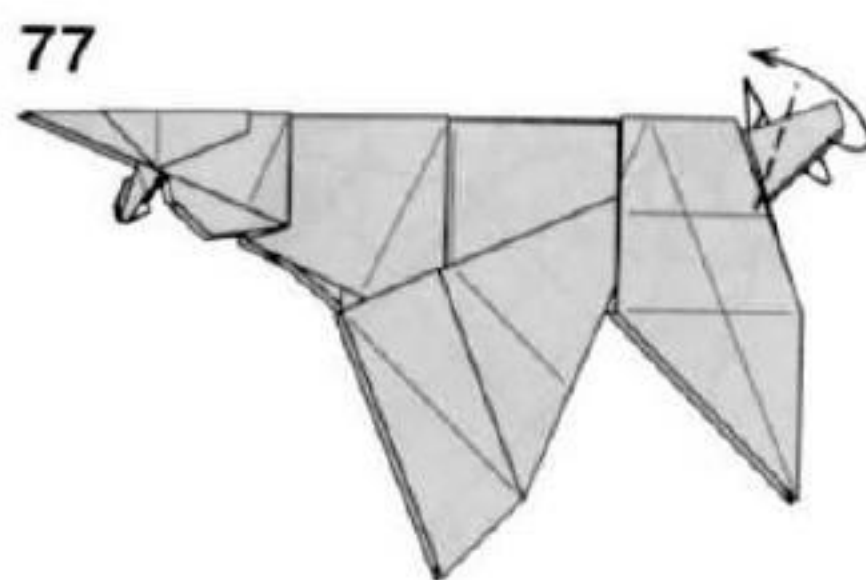
中へ押し込む



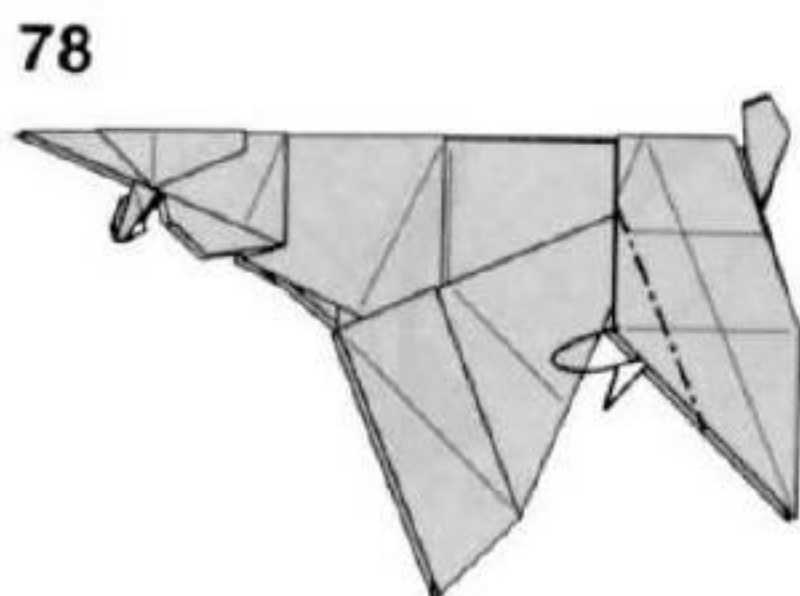
半分に折る



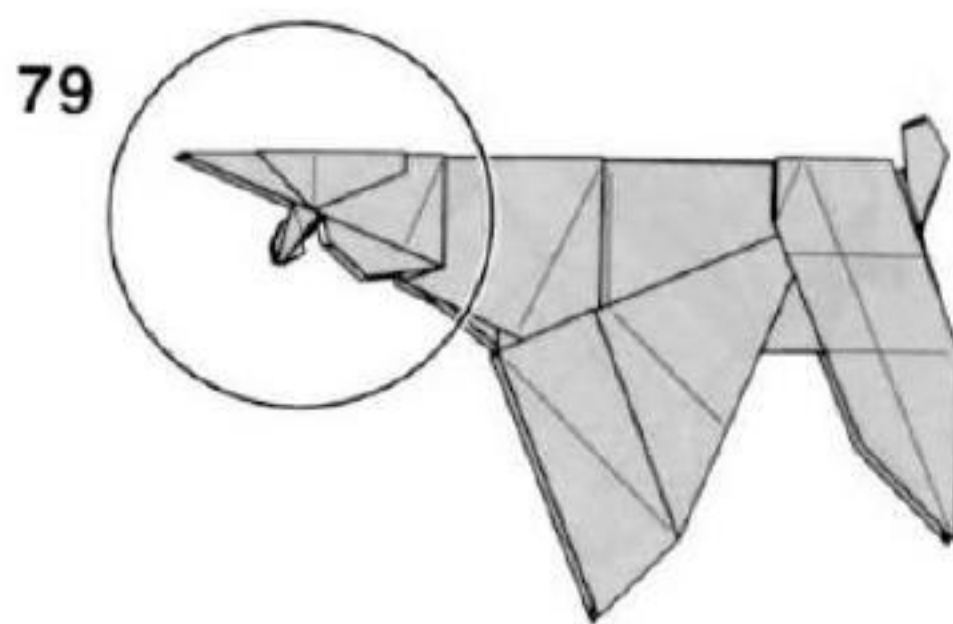
中割り折り×2



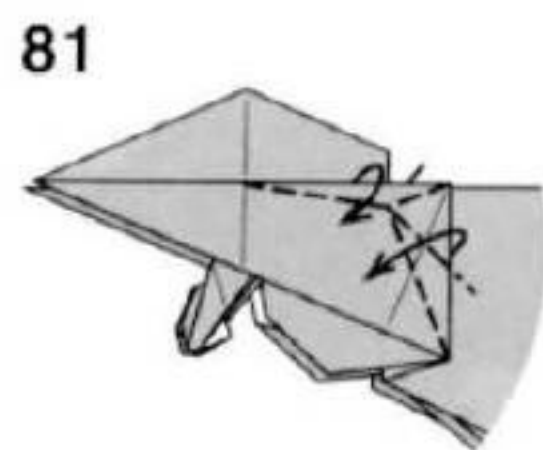
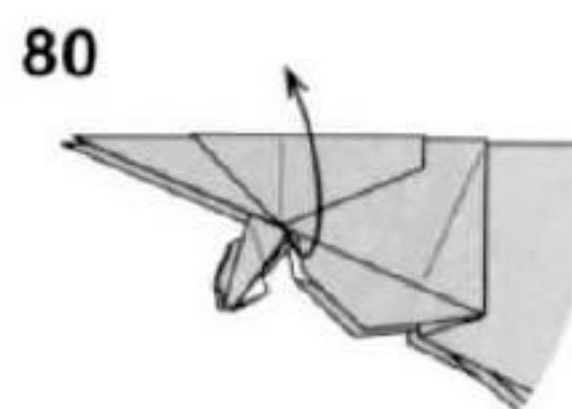
尾の部分をかぶせ折り



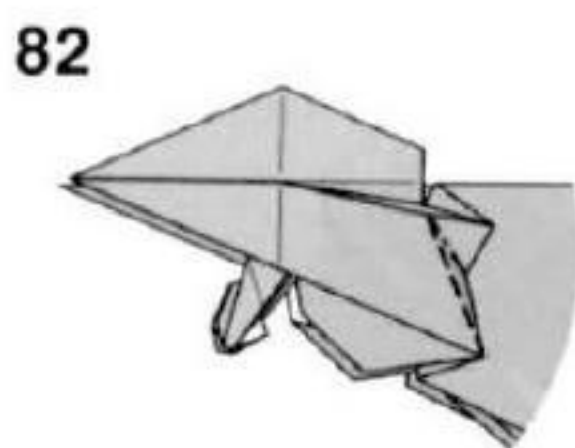
足を細くする様折り込む  
反対側も同様に折る



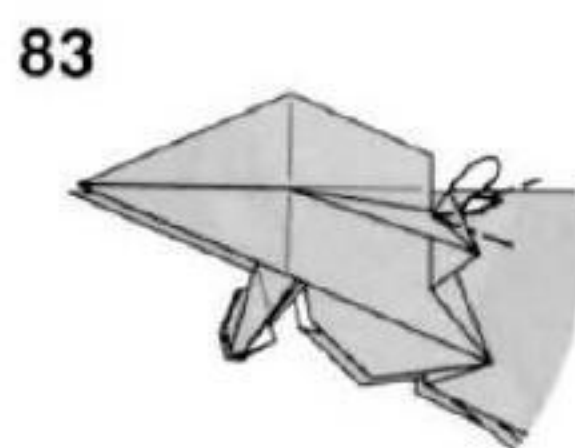
頭部拡大



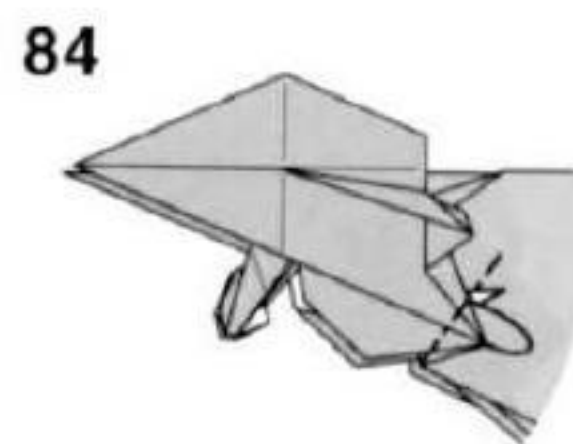
段折りする様にして折り畳む



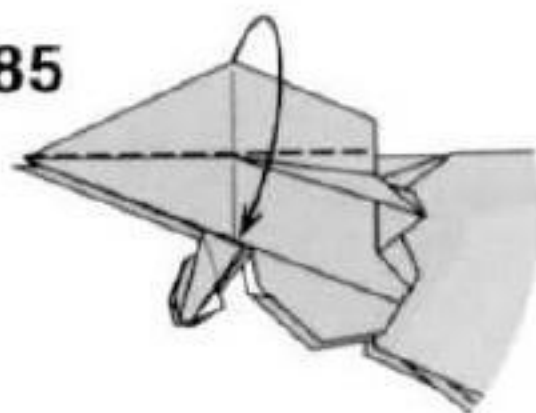
途中図



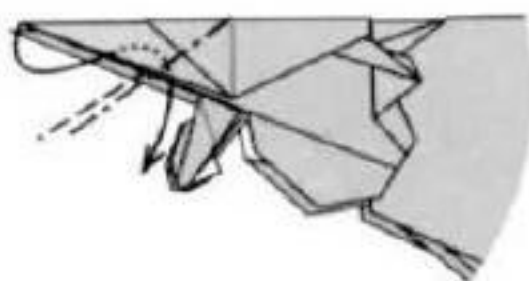
小さく中割り折り



85

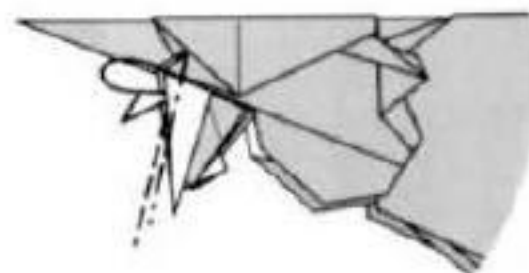


86



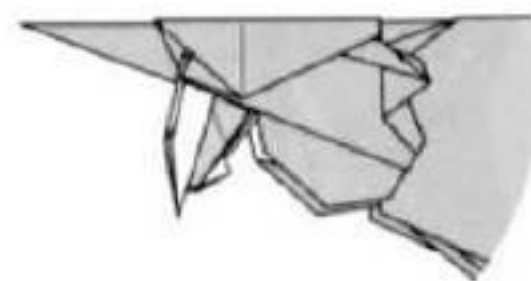
中割り折り

87

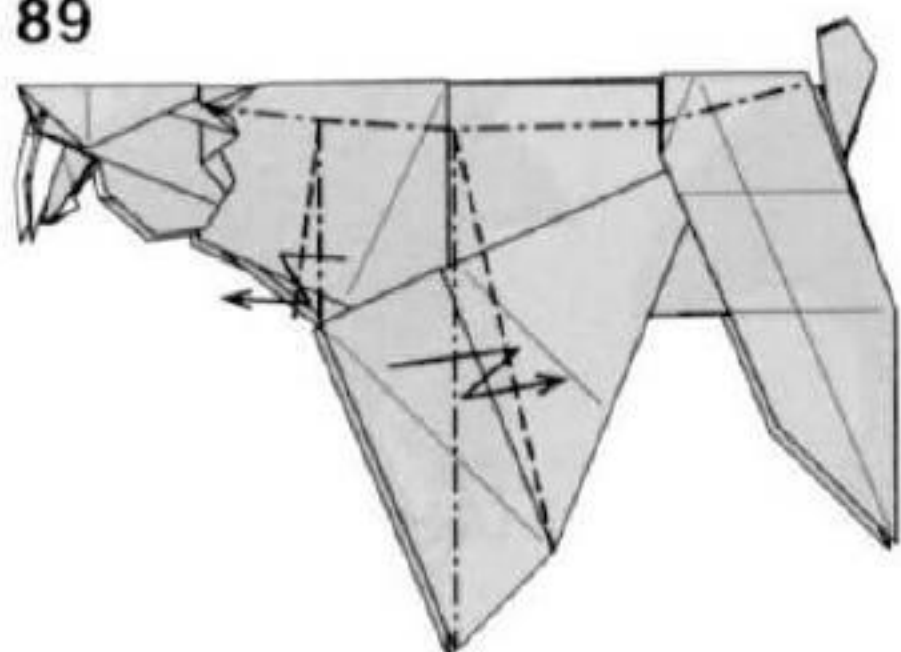


牙を細くする様に両側折り込む

88

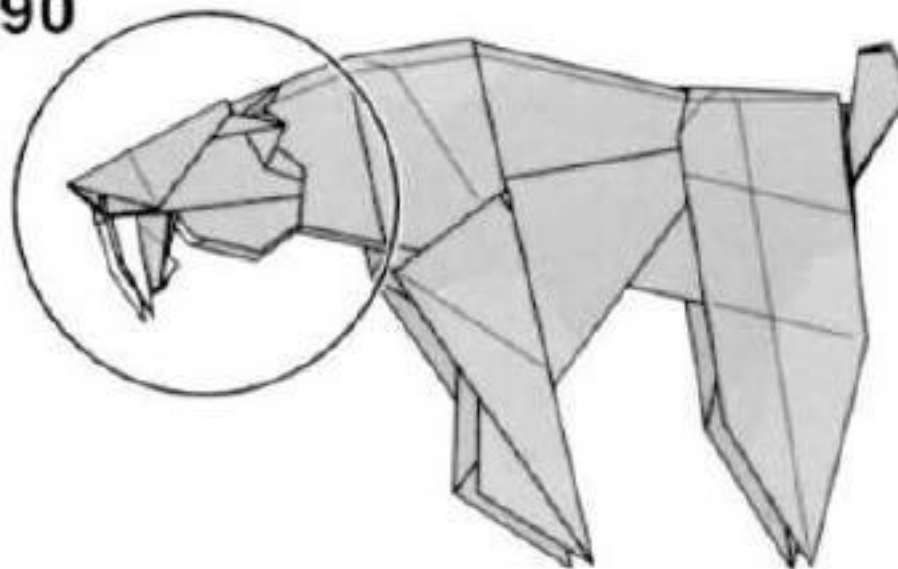
反対側も 80-87  
と同様に折る

89



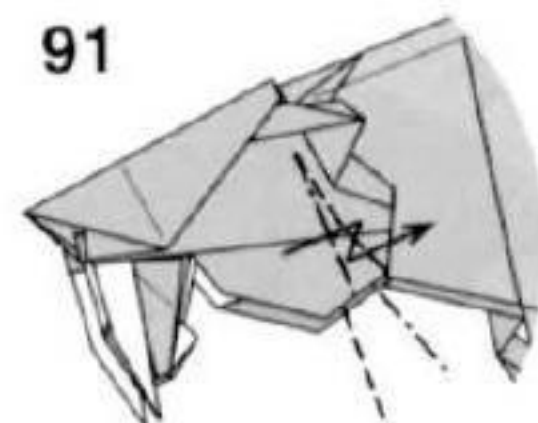
全体を立体化する

90

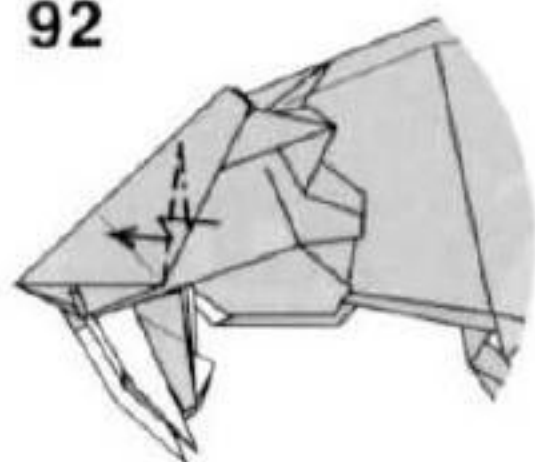


再び頭部拡大

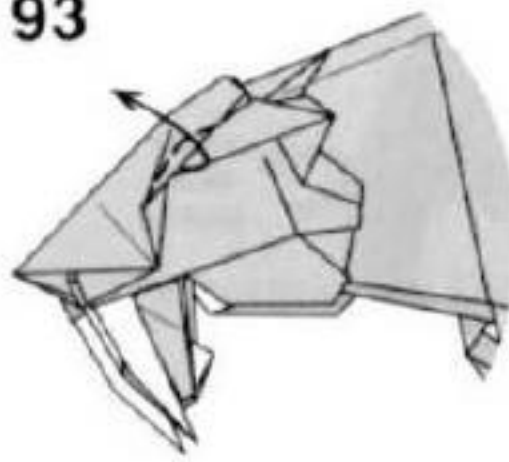
91

段折り  
反対側も同様に折る

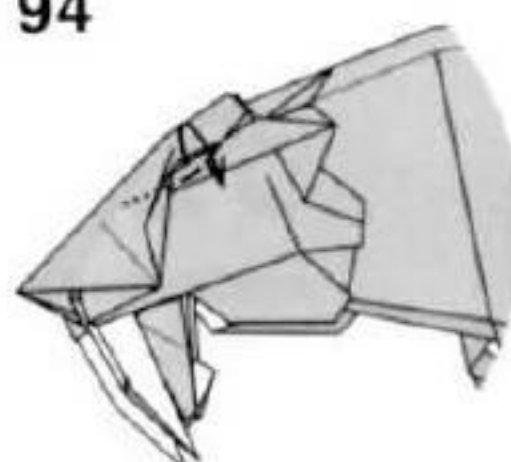
92

段折りでひだを作る  
反対側も同様に折る

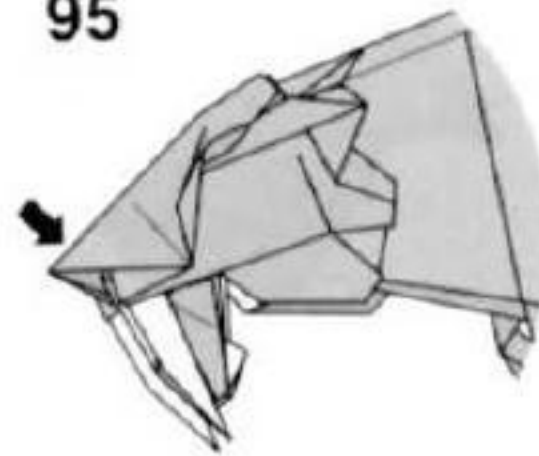
93

目を作る  
反対側も同様に折る

94

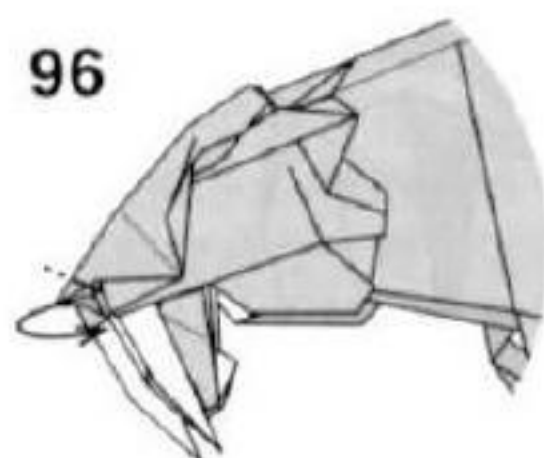
下側も同様  
反対側も同様に折る

95



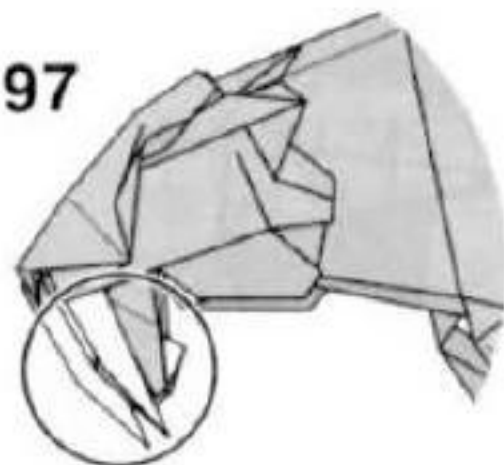
少したいらにして……

96



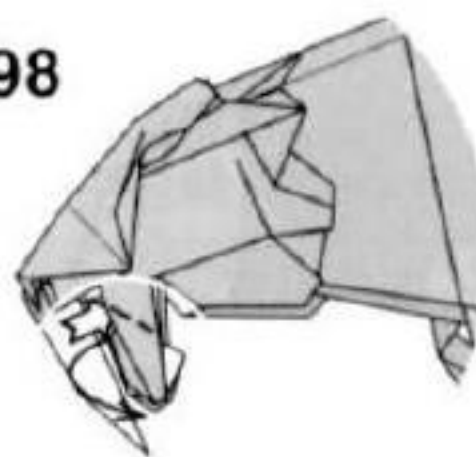
鼻を作る

97



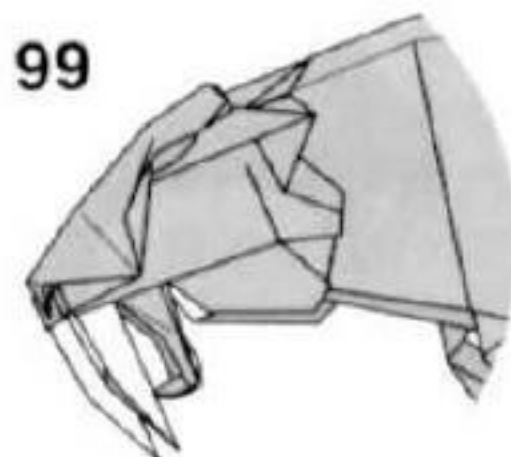
透視……

98



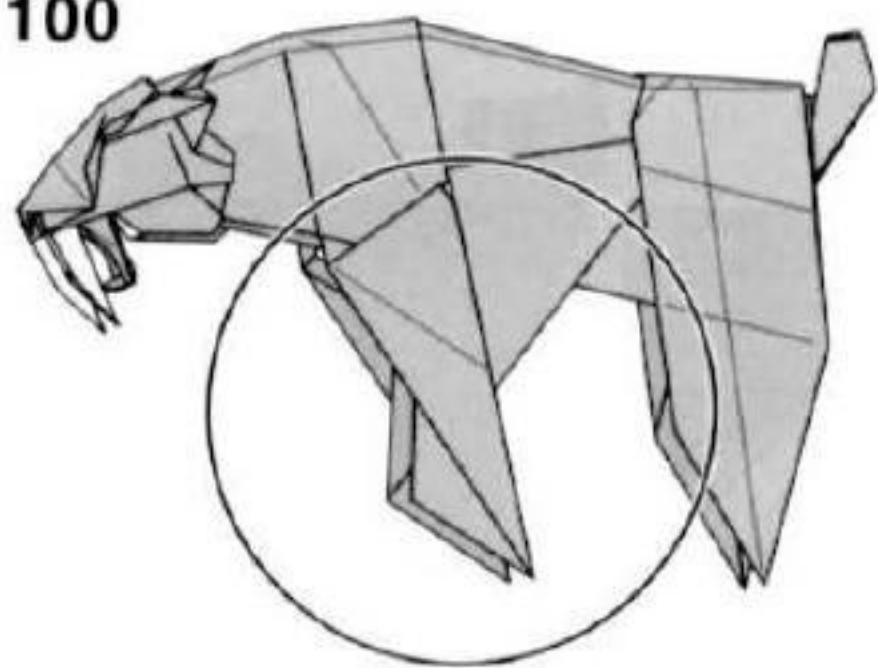
下あごを開く

99



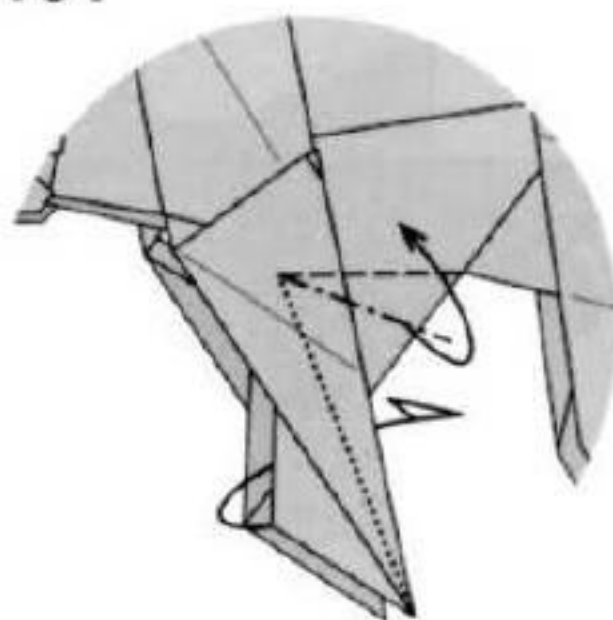
拡大終了

100



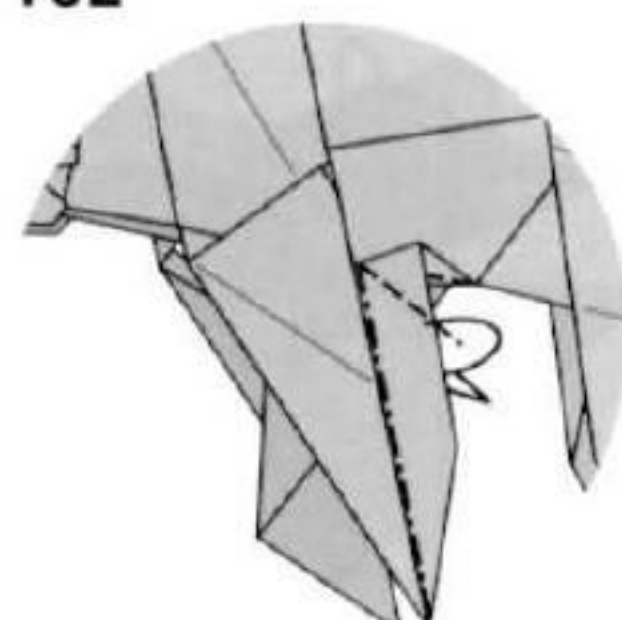
前肢部拡大

101



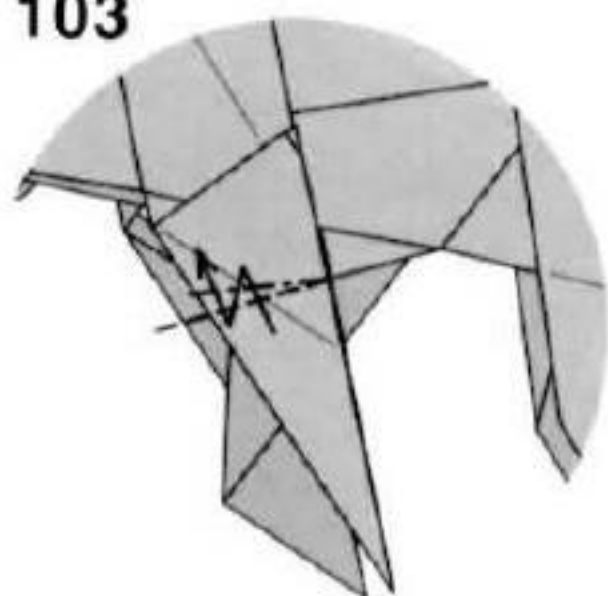
足を細くする様に折る

102



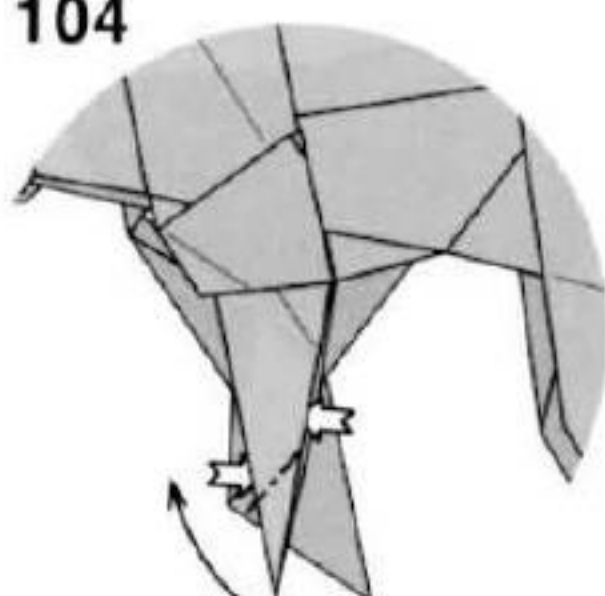
同様に裏側に折る

103

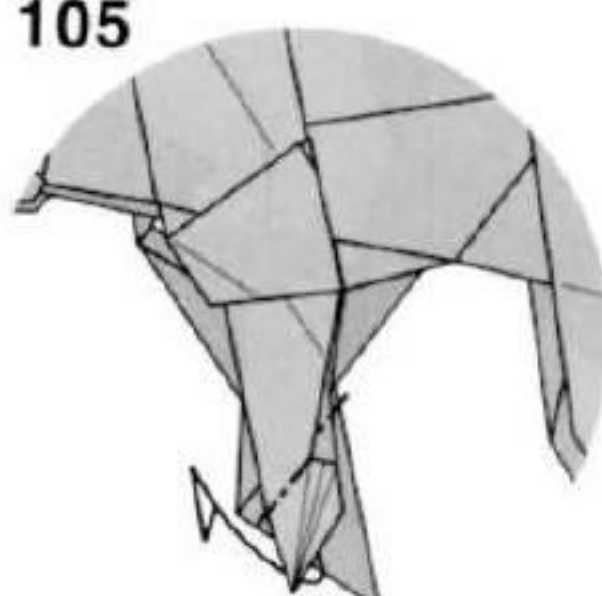


段折り

104

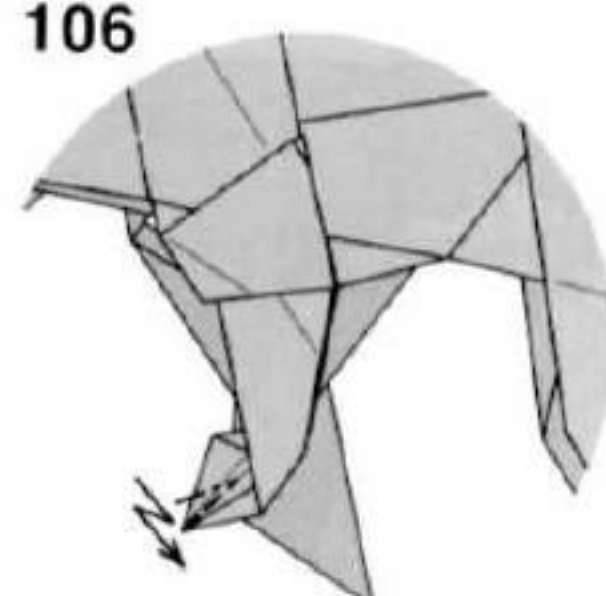
後ろ側を開き  
中割り折りの様にして……

105



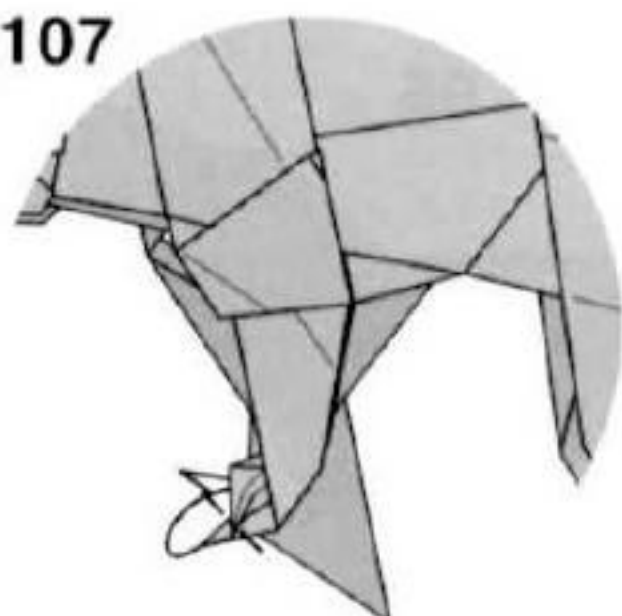
裏側へ折り畳む

106



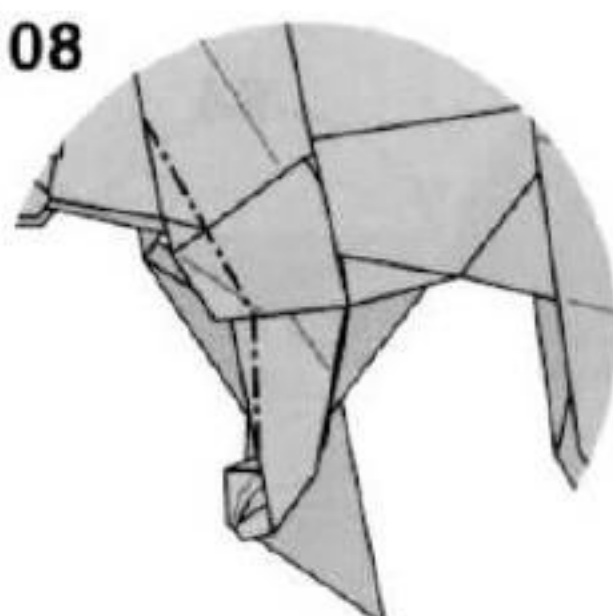
先を段折り

107



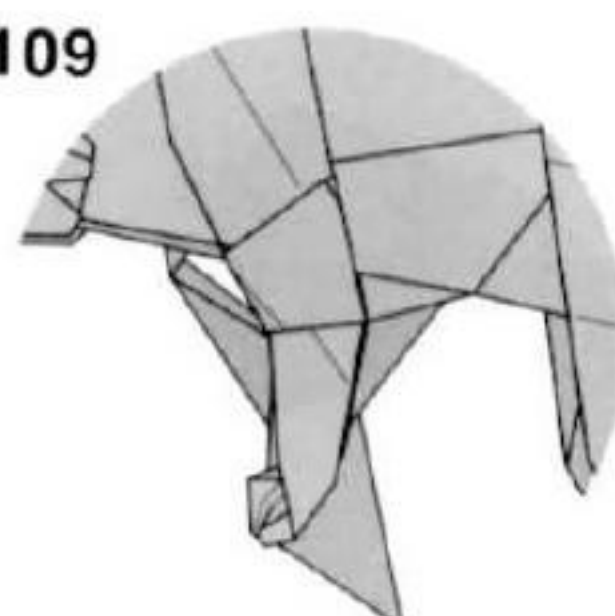
折り込んでとめる

108



前肢全体を立体化

109

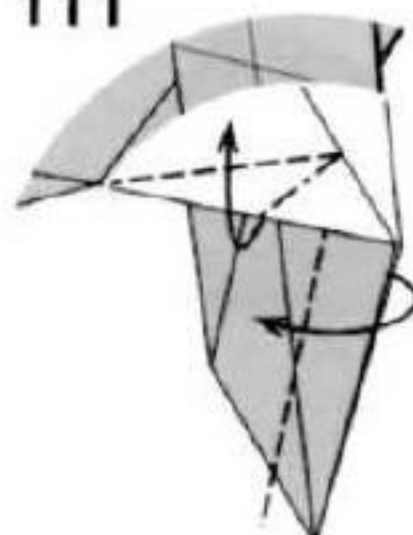
反対側も 101-108 と同様に折る  
拡大終了

110



後肢部拡大と透視

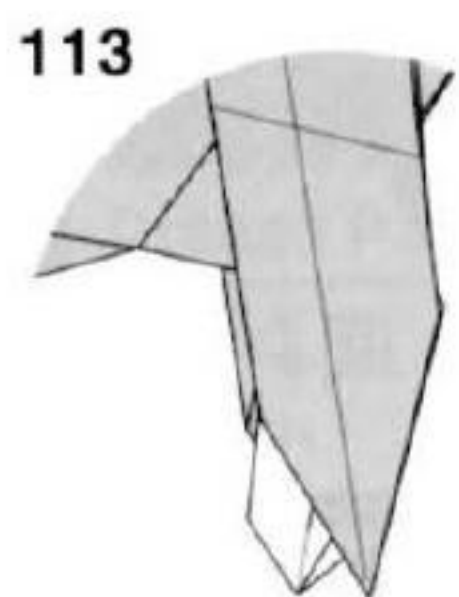
111



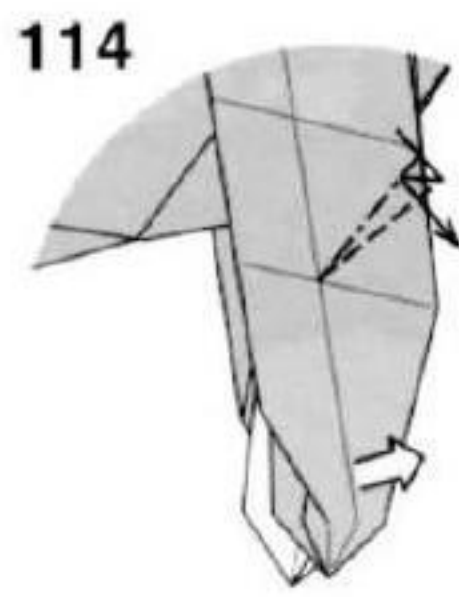
112



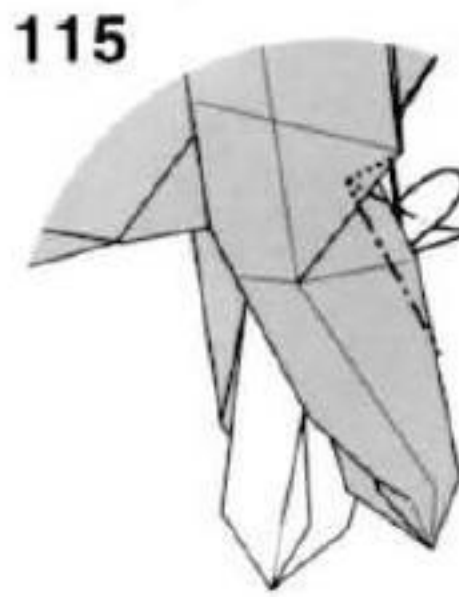
透視終了



113 反対側(手前側)も  
111と同様に折る



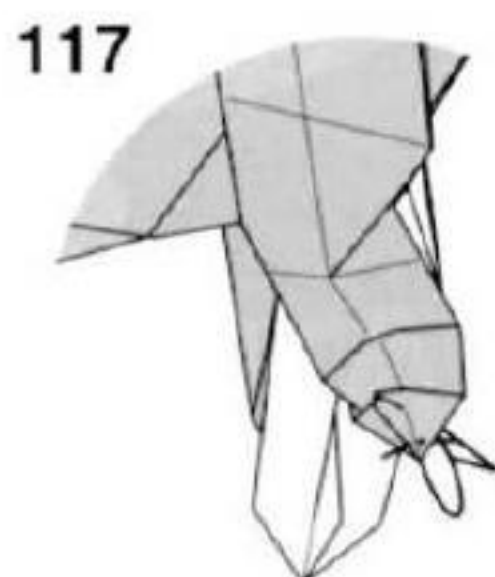
114 段折り



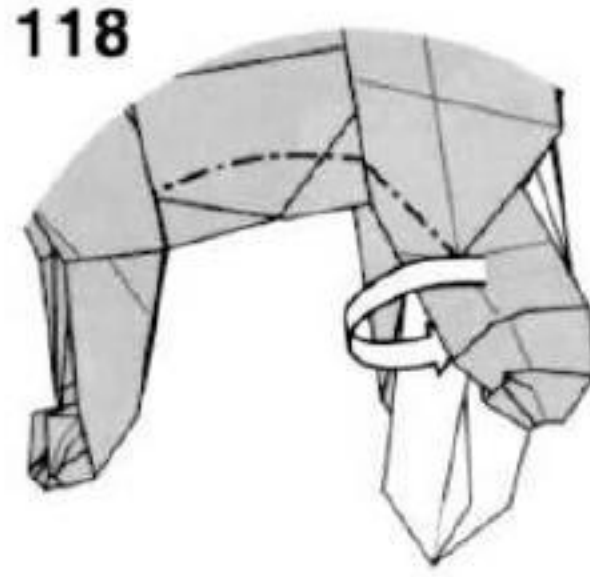
115 足を細くする様に  
裏側へ折り込む



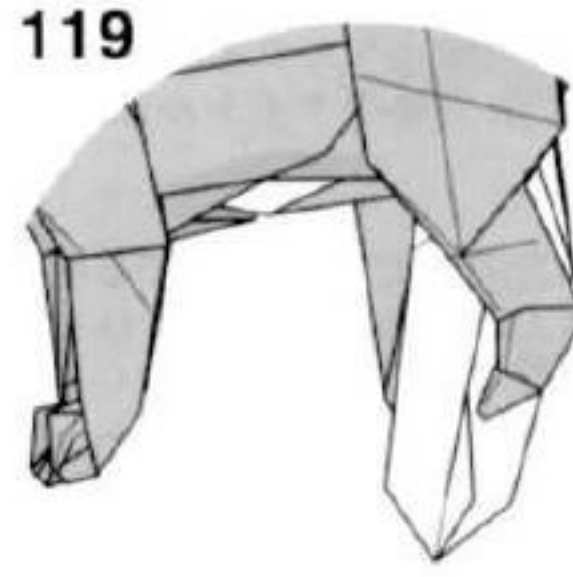
116 段折り



117 先を裏側へ折る



118 後肢と腹部を立体化する



119 反対側も114-118と同様に折る



Orisuzi ("Fold-Creases")

## 三つ子の魂百まで

What Youth Is Used to, Age Remembers.

Suzuki Mieko

鈴木美恵子

年子の二人兄妹として育った私は、インドア系の男子の遊びばかりしていました。なぜ「インドア」と言うのか、兄が病弱だったのと、私の運動神経が鈍かった為です。「サンダーバード」のプラモデルを組み立てたり、ゴム動力飛行機をこさえたり、ボードゲームの類も結構やりました。長い休みには怪獣映画をかかさず見に行ったものです。散髪さえ、小学校5年生までは美容院ではなく理髪店に行っていました。待ち時間に読むのは当然少年マンガ誌です。家ではマンガはご法度だった為、この時とばかりに読みふけた記憶があります。

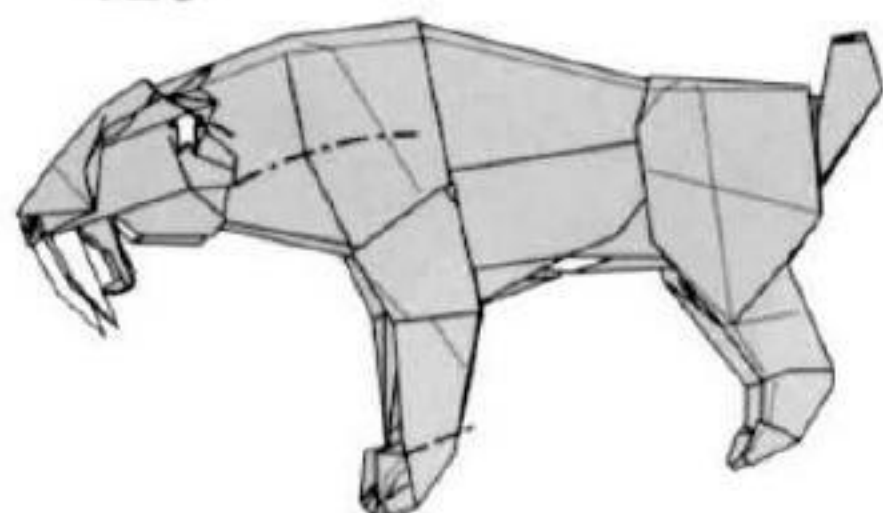
こうした遊びの中に、折紙も含

まれていました。折紙が男の子向き？ 実は遊び方が男っぽかったのです。紙飛行機や、当時「わし」と呼んでいた作者不詳の鳥をたくさん折り、大き目の空き箱を置いて互いの基地に見立てて一機ずつ手に持って発進、「ビューン、バリバリ」の擬音も勇ましく空中戦ごっこをやるのです。わざと衝突させて墜落する機、間髪を回さず「自爆」と称して海(畳です)に突っ込む機。当然使い捨てとなるそれらは主に広告チラシで折っていました。その後、グループ67編『新しい折り紙入門』に出会い、折ることそのものが楽しくなって、物騒な遊びからは次第に遠ざかったものでありました。

中学・高校ともなるとやはり人並

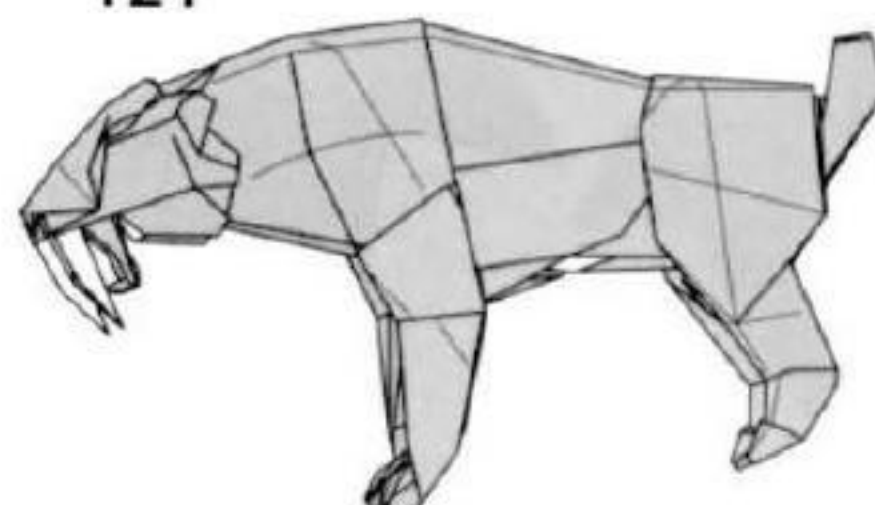
みに(?)熱心に折ることもなくなり、やがて月日は流れ結婚・出産と時を重ねこのままいけば「母と子の折紙」として再会、のはずだったのですが、ある日突然、折紙好きでもない夫が買ってきた『ビバ! おりがみ』によって新しい道が目の前に開けてしまったのでした。やはり悪魔の誘惑は強力なので、聖者でもない私はあっさりとその軍門に降るしかなかったのです。さらに季刊『をる』の創刊もありました。折るしかないではありませんか。なにしろコンプレックス作品は昔大好きだった恐竜や怪獣のオンパレード。複雑な折図に悲鳴をあげつつ、紙と格闘する日々を過ごすハメになったのでありました。

120



細かいところをいじって……

121

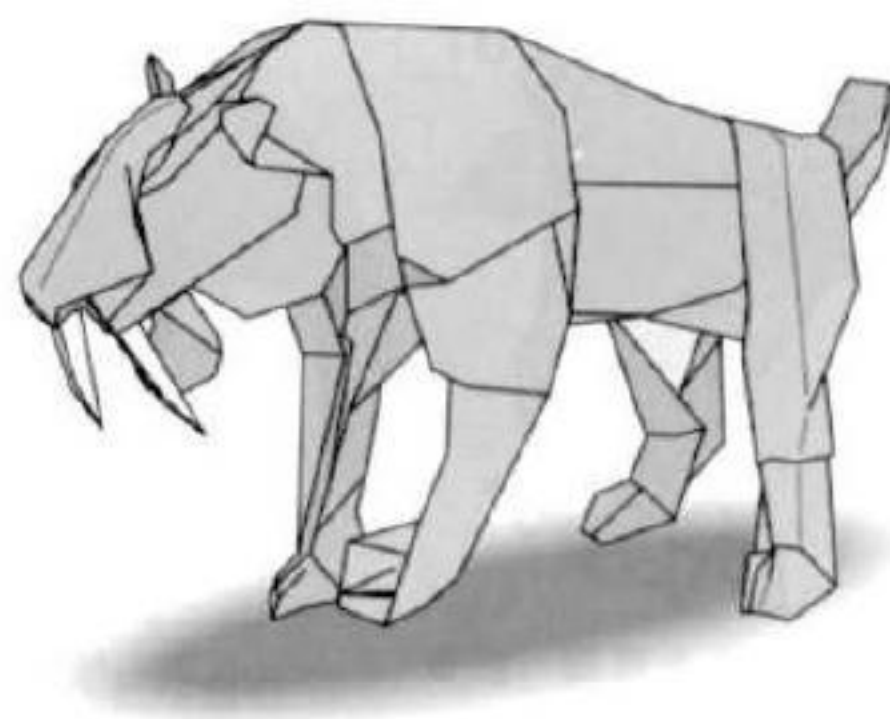


完成

絶滅したほ乳類のなかではマンモスと並んで知名度の高いスミロドンです。「サーベルタイガー」と言うと分かりやすいかも。(でも、古生物のタイトルには学名をつける事になっているので……)

この作品のようにひだで立体化する手法は、背中が薄くなってしまって個人的にあまり好きではないのですが、今回初めて作った縦の線がそれを目立たなくしてくれました。部分ではやはり頭部が最大のポイントで、他の部分より一回り複雑になっています。まあこの辺は「トラの顔は折りの密度が高い」という伝統ですね(……)。とは言うものの、実際折図にしてみたら頭の処理が折図の半分近くあって、自分でも驚いています。

出来てから気がついたのですが、基本構造が小松さんが作る作品にとっても似ています。意識してなくても結構影響を受けているみたいです。そういう事で感謝。



## 折紙三昧 ⑦

Origami-Zanmai ( This Origami and That )

### “カイ”というもの

An Origami Association for the Origami World

今号がお手元に届くのは、第7回折紙探偵団コンベンションの直前にあたります。初日の午前中には、第2回の総会を開き昨年度のご報告をいたしますとともに、会員の皆様から直接ご意見をいただく機会になります。この原稿を書いている時点で、200名以上の皆さまの会員登録がありました。既に11期末の水準に到達しており、日本折紙学会に対する皆さまの期待の大きさに身が引き締まります。さて、手元の辞書で“会”の項を引くと「何かをするために、関係のある人々でつくった組織」とあります。だいたいそんなものだろうということですが、“会”を説明するのに“組織”という言葉を使わなくてはいけな

は、言葉とは難しいものですね。日本折紙学会には、会員の定義があり、「理念に賛同し、会費を納めたもの」と極めて単純です。しかし、雑誌の対価以上に会費を納めるというのは、何かを期待されているということでしょうか、先の辞書の説明からすれば「何をするために」に関して様々な自問もあらうかと思えます。

ところで、カイの同音に“界”があります。ある種の範囲を示す言葉で、なんとなく同音の意味もわからないではありませんが、こちらは組織的に形成されるものではなく、“自然界”、“産業界”など非意図的で自然な姿—しかしながら何か共通性を持った範囲です。“折紙界”という言葉は一般に使われる言葉ではありませんが、そういったものを何となく想定

すれば、日本折紙学会の理念は“折紙界”に貢献したいということになるのだと思います。論文や難解作品の紹介という経済的に成り立ちにくいものを恒常的に情報化するというのが、折紙探偵団新聞時代から通じての主な貢献部分でしょうか。なかなか組織としての実力が伴わず、会員サービスという点では足りない面も多いと思いますが、会員登録をいただいた皆さまの志を無にしないように、“会”の行動が“会”維持の目的のためだけに留まらず、“界”の発展に繋がるよう心がけたいと思っています。

西川誠司 Nishikawa Seiji  
日本折紙学会 評議員代表

# 展開図折りに挑戦!

Crease Pattern Challenge

第14回

Dragon

## ドラゴン

Nishikawa Seiji

西川誠司



**手**に4本、後足に3本のツメ。背中から翼。頭に3本の角と大きく開けた口、そしてトカゲのような尾。リアルタイプの「ドラゴン」としては大方の要素を描いたモデルである。「ドラゴン」の手足のツメが何本であるべきか、尾の長さや翼の大きさがどの程度であるべきかなどは、はっきりした化石が見つかっていないこともあり、これ以上追求しないことにしたい。

作者は、「背中から大きな翼」をデザインの中心に据え、後は全体のバランスを見て考えることにした。展開図の山谷に沿って折れば「ドラゴン」の大まかな形は出てくると思うが、折り工程図の助けが必要なのは、前足の折り出し部分くらいだろうか。とはいえ、準備中の僕の作品集では、丁寧に描いていただいた折り工程図で170ステップ以上のものになっているので、やはり「長手数もの」には違いない。展開図を折り上げたところが全工程の1/3といったところ。そもそも翼を折り出すことから発想していて、「両矢印(⇔)で示した周辺部を仕込み折りした後、正方基本形を折り、頭部と後爪の材料を外に引き出す」という基本骨格(折り感覚)の想起は15年くらい前の世界折紙展(NOA)に出展した第1号に遡る。この仕込みの割合を変化させると、手足、翼、頭、尾のバランスが少しずつ変化する。

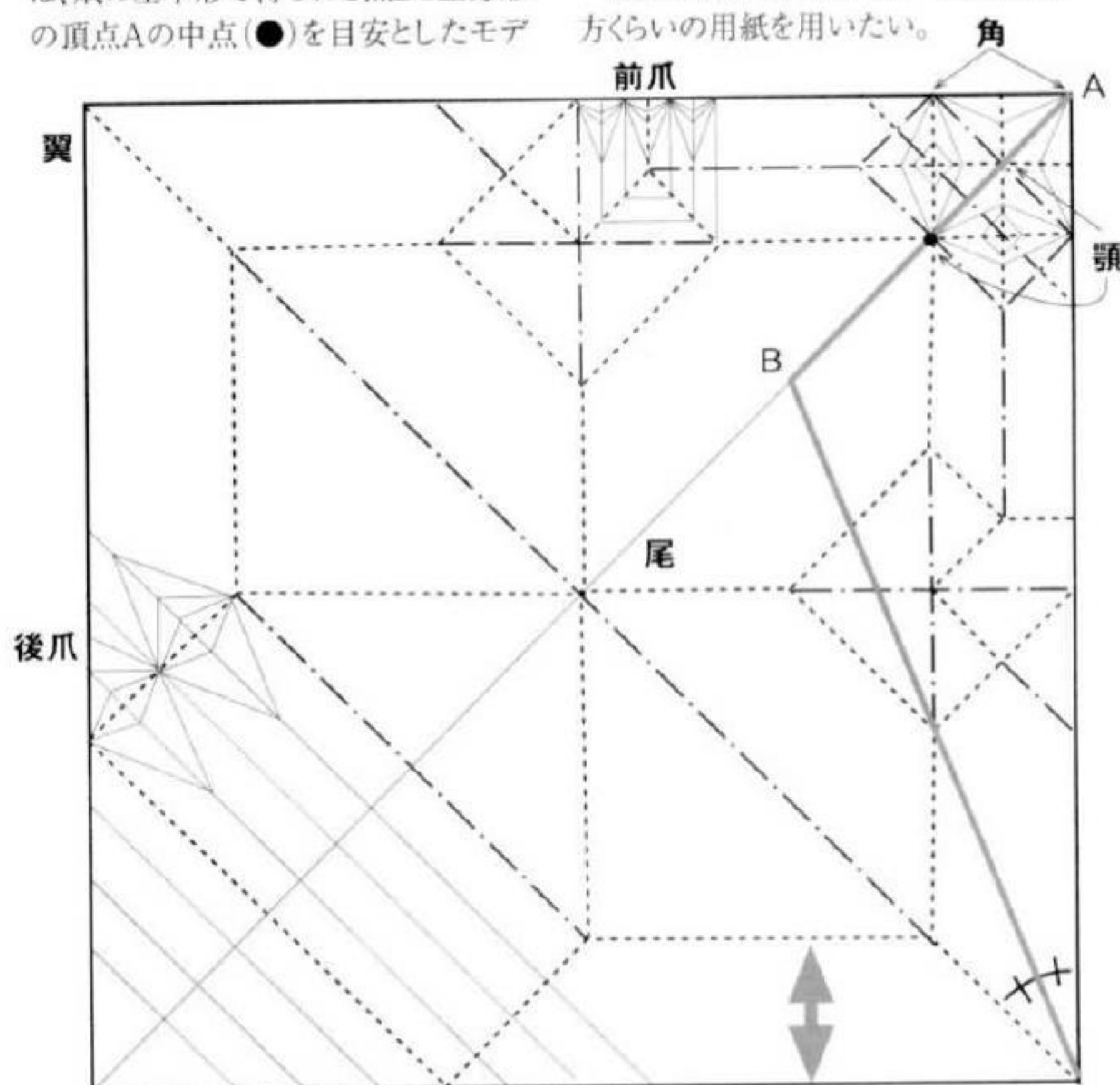
今でも、紙の質、大きさ、厚さによって周辺部の割合を正方形全体の1/6から1/8の

間で連続的に変化させピタッと来るバランスを試す。なんと1/7の仕込みのタイプも折り手順中、ちょっとした出合いがあって面白い。写真作例の標準型

は、鳳の基本形で得られる点Bと正方形の頂点Aの中心(●)を目安としたモデ

ルである。尾と頭部の位置から仕上がり大きさが容易にわかろうが、小さくなるわりに折りやすい作品(多分!?)になっているのは、仕込み折りの割合が変化しても折り感覚がほとんど変化しない構造の自由さ、ゆったりした後爪の配置、最終の段階まで尾の部分を45度の角で残してゆけることなどに起因していると思う。

頭部を細かく仕上げるために30cm四方くらいの用紙を用いたい。



# Rabbit Ear つまみおり information

## ■作品展示

出品者には机と黒いクロスが与えられ、紙で作った飾り台も貸し出される。広い会場で、一般公開もあるとあって、飾り付けにも気合いが入っている。「折紙探偵団」に掲載された作品もいくつか折られており、それぞれが紙の選び方や折り方を工夫して、個性のある作品に仕上がっていた。



▲マニア必見、ジョセフ・ウー氏の新作ドラゴン。5枚使った複合作品

## OrigamiUSAコンベンションレポート

「開催日(6/23-25)一週間前から行ってコンベンション準備の勉強をしてくる」という目的のもと、12日間の休暇をとって行って来た。ご存じの方も多いと思うが、日本折紙学会の夏のコンベンションは、このコンベンションに感銘を受けた山口氏が「日本でも同じ楽しさを」と提案して始めたものである。折紙探偵団コンベンションの参加者が250名くらいであるのに対し、OrigamiUSAコンベンションは600名にもものぼる。

**N**Yに着いた翌日の16日(土)は、参加者への配布物パックを作る作業が行われた。朝10時から約25人のボランティアが集まり、ジューン・サカモト氏の指示で、おりがみや名簿など何種類もの紙が1人分の書類ケースに詰め込まれ、650人セットを用意。午後3時ようやく終了し、サカモト氏は「昨年より少ない人数で早く終わりました。」とにっこり。この後、開催日まで、ボランティアの方々と準備作業に取り組み、またエルメスのショーウィンドウの飾り付けにも参加させてもらう機会に恵まれた。

神谷氏とサカモト氏が折った、モントロール氏の「つばめ」がエルメスに飾られた



## ■夜中の自習室

コンベンション期間中、メイン会場は夜中の1時頃まで解放されている。それでも物足りない人々は、宿泊所である大学寮の自習室に移動し、午前4時頃まで折り紙はつづく。この間に人気の講習作品が受講者によって広められ、「プチ伝承作品」となる。

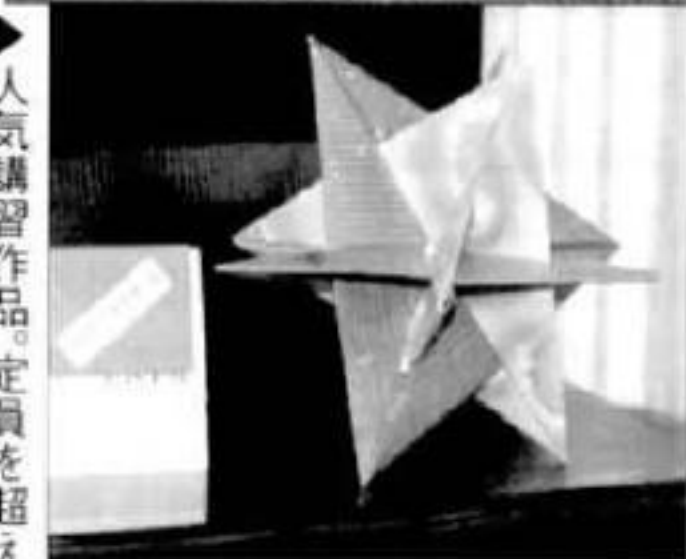


▲P.21に掲載の変形ユニット144枚バージョン

▶個性的な仕上がり  
のミニバハムート。右  
端の白い棒はタバコ



▶人気講習作品。定員を超え  
ると「SOLD OUT」の札が



▲午前3時の風景。折り紙作品が帽子に。山口氏が被っているのは、誰かが80cm四方のホイル紙で折ったデルダス氏の巻き貝

▶山口氏が二日酔いの中講習した「花のブローチ」も好評。「教えて」の声絶えなかった



▲展開図だけで折られたエンシェントドラゴン。小さくてしかもきれいな仕上がり  
この距離約11cm

あっという間の12日間。言葉もろくに分からない状態だったが、地元スタッフや日本人スタッフの方々に助けて頂き、充実した時間を過ごすことができた。今回得たことは、今後の折紙探偵団コンベンションに反映させていきたいと思う。(報告=松浦英子)

## ◆ON PAPER展

**紙を** 製作材料にしている芸術家の仕事を集めた展覧会がイギリスで開かれる。世界中から40名ほどの招待作家として作品を展示。折り紙関係ではJean-Claude Correia、Vincent Floderer、Paul Jackson。日本からは吉澤章氏と布施が参加。他に日本人はKyoko Ibe、Tetsuji Kawamura、Norie Hatakeyamaの各氏。紙によるさまざまな造形、洋服、アクセサリ、靴などもあり、紙の新しい可能性をさぐる意欲的な展覧会である。折り紙のワークショップも行われる。

会期が長いので、夏休み等で渡英の際はぜひ立ち寄りたい。

売らねないを問わず作品に値段をつけることが要求され、即売も行われるようである。私も作品に値段をつけたが、これに関してはまたどこかで述べる機会もある。

輸送に際しての保険をはじめ、美術品としてこんなにきちんとした扱いを受けたのは初めての経験であったことを申し添えておく。  
(布施知子)

### ON PAPER展

会期:2001年 7月5日～9月2日  
会場:Crafts Council Gallery  
44a Pentonville Road

## Koshiroの折り紙海外情報便 羽鳥公士郎

**ただ** いまイギリスでは、Japan 2001 という大規模な祭典が進行中です。これは、日本の文化と日本人の生活をイギリスの人々に紹介し、日英の交流をより深めようという催しで、今年の5月から来年の3月にかけて、全英各地でさまざまなイベントが行われています。

イギリスの折り紙団体 British Origami Society も、この祭典に協力しており、今年秋の BOS コンベンションは Japan 2001 の一環として開かれることになりました。9月7日(金)から9日(日)にかけて、ロンドンはグリニッジにあるグリニッジ大学エイブリーヒル・キャンパスで行われます。

今回のスペシャルゲストは、イタリアの David Derudas さんです。

物理学者の伏見康治さん(日本折紙学会顧問)夫人で、折り紙における氏の共同研究者であった伏見満枝さんが、6月26日、82才で亡くなられた。葬儀は、時折強い陽射しが照りつける6月29日に、しめやかにとりおこなわれた。葬儀会場の一角には、折り紙の作品が飾られ、参列者には、折り紙の発展に画期をなしたおふたりの著作『折り紙の幾何学』(日本評論社)の「あとがき」(文:満枝さん)のコピーが配られた。そこに、こんな言葉があった。

「創意工夫の結果、自分が思いもつかなかった見事な状態が表れて来た時、苦労が実ったという以上に、自然の摂理に胸を打たれました」

「自然の摂理」という言葉に、生前自らそうおっしゃっていたように、「理科系」の感受性を強く持った方

Islington London N1 9BY

火～土曜 11時～6時 / 日曜 2時～6時

月曜休館 / 入場無料

地下鉄ANGEL駅より徒歩5分

URL: [www.craftscouncil.org.uk](http://www.craftscouncil.org.uk)

Derudas さんは、一昨年の探偵団コンベンションに招待されて来日したので、日本のみなさんにもおなじみですね。食事のほかに、モーニングコーヒーとアフタヌーンティーの時間が設けられているところが、いかにもイギリスらしいところです。のんびりとした雰囲気の中、折り紙教室のほか、おしゃべりや余興を楽しむことができます。

参加するためには、BOS の会員である必要があります。また、食事や宿泊はあらかじめ予約しておく必要があります。詳しいことは、BOS のウェブサイトをごらん下さい。参加申込書もウェブサイトにおいてあります。

BOSウェブサイト

<http://www.britishorigami.org.uk/>

## 訃報 - 伏見満枝さん逝く

であったことが偲ばれる。

コピーには伏見康治さんの言葉も添えられていた。その最後の部分。「定年後の二人だけの生活の中で生まれてきた折り紙の作業は、思いもかけず二人の生活を豊かにしてくれました」

故人のひとがらと、折り紙が持つ力、そして「自然の摂理」に思いをはせ、謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。  
(前川 淳)



## ◆メビウスの卵展

各地で開催され好評の、子どもも大人も楽しめるアート&サイエンスの展覧会「メビウスの卵展」において、色を変える彫刻や、不思議な音のする「卵」など、光や音や幾何学のアートに交じって、折り紙が展示され(てい)ます。作品を寄せた作家は、池上牛雄、鈴木邦雄、布施知子、前川淳の各氏。近々では、以下の会場が予定されています。

◇小布施展◇千曲川ハイウェイミュージアム(小布施ハイウェイオアシス内)、6月29日(金)～9月3日(月)無休

◇品川展◇O美術館(最寄り駅:JR大崎駅)、7月21日(土)～8月1日(水)木曜休館

◇多摩展◇バルテノン多摩(最寄り駅:京王・小田急多摩センター駅)、9月29日(土)～10月14日(日)無休

◇富山展◇北陸電力エネルギー科学館(最寄り駅:JR富山駅)、11月3日(土・祝)～11日(日)月曜休館

※展示物は会場によって異なります

## ◆「ブラジル日本移民」折り紙展レポート

**5月** 24日から6月1日まで、浜松に引き続き、折り紙展示「ブラジル日本移民」がブラジル大使館(東京都港区)で開催されました。

これは、ブラジルの「サンパウロ折り紙研究グループ(GEO)」が、日本人移民の歴史について、資料及び情報収集したうえで、折り紙で表現したものです。GEOメンバーは、日系人の方が多いそうです。

1908年に日本人移住者がブラジルに着いた所から、現在までの様子が、26の場面に折ってありました。各場面の大きさはそれほど大きくはないのに、じっと見ているとどんどん想像が広がっていきましました。色や構成など細かいところにまで、気が配ってありました。実際にこの歴史があったからこの折り紙が作られたのだと思うと、心に染みま

した。ブラジルの方が折ったからこそ、伝えられる何かがあると感じました。約100年前に、日本から折り紙を楽しむ心もブラジルに運ばれ、今に続いているなんてすごいことだと思いました。この展示のために、はるばるブラジルから、GEO責任者のカネガエマさんと、アベケイコさんが来日されていました。日本での開催は、日本人と日本在住のブラジル人にも移住者の歴史を伝えなかったからとのこと。

カネガエさんは、「折り紙は、年齢、人種、国境、の違いを飛び越えることのできる橋のようなものであり、重要なコミュニケーションの方法の1つだと思う。」と話されていました。また、「もうこれと同じものは、作ろうとしても作れないのよ。」とおっしゃっていたのが印象的でした。(島村麗子)

## ◆富山大学 公開講座 『21世紀自然科学と折り紙への旅』

富山大学において折り紙に関する公開講座を開催します。

講師・講義題目：笠原邦彦「21世紀折紙立方体の旅」／布施知子「折紙スパイラルへの扉」／川崎敏和「バラと折紙と数学と」／前川淳「折紙設計の話」／鈴木邦雄「昆虫の世界と折紙」。

日時・場所：9月29日(土)・30日(日)9～17時、富山大学理学部10番教室

定員：50名(先着順／定員に達し次第、切りります)

受講料：6800円(国庫に納める規定費用)

修了者には富山大学から修了証書を授与。参加ご希望の方は、必ず葉書で、「公開講座受講希望」と書き、「氏名／年齢／〒番号・住所／電話／E-mailアドレス」を明記の上、〒930-8555富山市五福 富山大学理学部 鈴木邦雄宛にご連絡ください。電話などでの申し込みはご遠慮ください。後日、当方より案内書や正式の申込書などを送付致します。

9月28日または9月30日夜、講師の方々との懇親会も計画しています。

(鈴木邦雄)

## ◆例会のお知らせ ※おりがみ用紙は各自持参をお願いします。

### 東京友の会

会場＝文京区シビックセンター地下一階 生涯学習センター

参加費＝300円(中学生以下100円)

講習会＝午後2時～ 研究会＝午後4時～

●8月／折紙探偵団コンベンションのため 例会はありません

●9月1日(土)「アトリエ」で行います

講師：未定／作品：未定

最寄り駅／都営三田線・大江戸線＝春日駅、丸の内線・南北線＝後楽園駅

おたより大募集 E-mail webman@origami.gr.jp

113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216

ギャラリー・おりがみはうす内 折紙探偵団編集部

### 静岡友の会

やさしい折り紙の好きな主婦を中心としたグループです。気軽に遊びに来て下さい。

●8月27日(月) 13時～15時

●9月17日(月) 13時～15時(24日祝日の為) お問い合わせは16時以降、054-254-4541(増武内 山口)

会場＝増武ビル 静岡市呉服町1-3-6

### 関西友の会

8月26日(日) 14:00～17:00

●1部＝長岡京市産業文化会館

参加費：500円 講師：未定

●2部＝17:00から場所を変えて懇親会

参加費：4,000円程度



ミニチュア作品で構成されたジオラマは、すべて60×40×15cmの箱に収まる。背景は箱のフタに貼り込んであり、展示の際に組み合わせて使うようになっている

## ◆新刊紹介

インターネットで入手可能

<http://www.amazon.co.jp> で洋書検索

## ORIGAMI THE COMPLETE GUIDE TO THE ART OF PAPERFOLDING



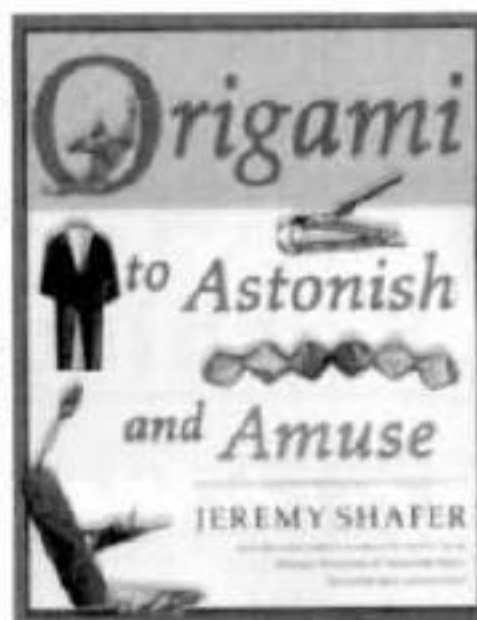
Rick Beech・著 14.95 ポンド

世界のシンプル作品を、美しいフルカラー写真で折り方と共に紹介。日本人の作品も紹介されている。

## Origami to Astonish and Amuse

Jeremy Shafer・著 19.95 USドル

シェイファー氏の魅力が詰まった待望の作品集。「をる」で写真だけ紹介されたアーミーナイフも出ている。



折紙探偵団ホームページ公開中

<http://www.origami.gr.jp/>

団員パスワード／Pyramid(大文字・小文字別)

## 折紙探偵団

2001年7月25日発行

第12巻2号通巻68号

発行所／日本折紙学会

〒113-0001

東京都文京区白山1-33-8-216

Phone & Fax / 03-5684-6080

発行人／西川誠司

編集人／山口 真

編集スタッフ／田尻敦士 松浦英子

デザイン／おりがみはうす

発売元／おりがみはうす

●本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

定価 600 円

■ORIGAMITANTEIDAN / No.68 / Published on 25, July 2001 by Japan Origami Academic Society, 1-33-8-216  
Hakusan Bunkyo-ku 113-0001 Tokyo JAPAN / Cover Photo: "Smilodon" Produced by Kamiya Satoshi: Photographed by Sato Hitoshi / Publisher: Nishikawa Seiji / Editor in Chief: Yamaguchi Makoto / Editor: Tajiri Atsushi, Matsuura Eiko / Editorial Design: ORIGAMI HOUSE

# I♥ORIGAMI おりがみはうす商品案内

※このページの商品の取扱いはいすべて「おりがみはうす」です。折紙探偵団の口座とは別になります。



## 第6回折紙探偵団 コンベンション 折り図集VOL.6 大好評発売中!!

B-5判256ページ  
定価2,000円(税込)  
送料420円(梱包込)

※郵便振替の場合は  
用紙の「通信欄」に  
必ず「第6回折り図集」  
とご記入下さい。

神谷哲史氏の「パロサウルス」「天馬」、本誌60号に掲載された川村みゆき氏の「クイックスナップ」同じく60号表紙、西川誠司氏の「ドラゴン」、昨年の静岡コンベンションで作品が展示された川畑文昭氏の「ムース」、木村良寿氏現役復活作「ちびけらとぶす」、62号の展開図に登場した小松英夫氏の「うさぎ」、笹出晋司氏の「巨大鳥型生物(ギャ○ス)」、吉野一生基金招待者ダニエル・ロビンソン氏の「シュモクザメ」、ポール・ジャクソン氏のシンプル作品などなど66作品収録。



## ■ 折紙図鑑「昆虫I」

B5判/全196ページ  
カラー口絵 4ページ  
定価: 3,100円(税込)  
送料: 460円(梱包込)

川畑文昭、西川誠司・共著 山口 真・編

昆虫大戦争の熱い日々が今甦る。カラーページに全作品掲載。折り図の冒頭には口絵とは異なるアングルから撮った作品のモノクロ写真と作者のコメント掲載。



## ■ 折るころ

A4判 全108ページ  
フルカラー48ページ  
指導: 岡村昌夫  
定価: 1400円(税込)  
送料: 420円(梱包込)

本誌57号岡村氏の連載で詳しく紹介された「折紙の歴史展」の図録。折紙の貴重な歴史的資料満載で、折紙博士を自称するなら必携の一冊。

好評発売中

## 折り紙色紙百花 田中具子・著

女性に大人気! 色紙折り紙のバイブル。  
B-5判/120ページ/カラー口絵8ページ  
定価2,500円(税込) 送料390円(梱包込)

## 面~The Mask~ 布施知子・著

作者がまだユニット折り紙に出会う前の情熱の作品群。  
B-5判/200ページ/全27作品カラー写真紹介  
定価3,300円(税込) 送料460円(梱包込)

## 一生スーパーコンプレックスおりがみ

B-5判200ページ カラー口絵8ページ 吉野一生 著  
定価2,900円(税込) 送料460円(梱包込)

只今制作中

西川誠司作品集/西川誠司 著・西川折り紙の集大成。

折紙図鑑「昆虫II」/北條高史、前川 淳、目黒俊幸共著  
世界で一番難しい折り紙の本第2弾。

折紙図鑑「犬」/佐野康博・著 犬折り紙第一人者の作品集  
一所懸命制作中です。気長に待っていて下さい。

## 『折紙探偵団』専用ファイル

変形B-5判/箔押しロゴ入/雑誌「折紙探偵団」1年分(6冊)収録可能  
定価750円(税込) 送料250円(梱包込)

## はうすオリジナル 折り紙専用和紙

### 和紙両面おりがみ

2枚の民芸紙を貼り合わせて作りました。折り筋が付きやすく、もみ紙の風合いが作品づくりの幅を広げます。

サイズ/30cm×30cm 5色調/20枚入 定価1,350円  
送料: 1セット/390円(梱包込) 2セット/580円、3~4セット/700円

※和紙両面おりがみは見本をお分けしています。

御希望の方は80円切手を同封の上、おりがみはうすまで。

## 絵はがきセット 限定50部

### 布施知子ユニット作品絵はがきセット

1セット18枚組(18種類) 定価1500円 送料160円  
美しい自然と調和するユニット作品を絵はがきにしました。

## ●商品の申し込み方法●

郵便振替か現金書留で料金(商品価格+送料)を送って下さい。

ご希望の商品名と連絡先の記入をお忘れのない様お願いします。

(郵便振替の場合は振替用紙の「通信欄」に記入して下さい。)

入金を確認次第、商品を発送させていただきます。

郵便振替番号 00120-9-715400

加入者名 おりがみはうす

※折紙探偵団とは  
口座が異なります

GALLERY ギャラリー



おりがみはうす

〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216  
TEL: (03) 5684-6040 FAX: (03) 5684-6080  
E-mail: origamih@remus.dti.ne.jp

■複数商品ご注文の場合は、送料が変わってきます。電話又はメールでお問い合わせください。

# 超迫力恐竜おりがみ



**新発売**

¥300 表示価格には消費税は含まれておりません。

恐竜おりがみ(15.0)  
パノラマステージ付

5種類の恐竜が各々  
2体ずつできます。

商品写真は印刷物ですので現物とは多少  
色合いが違ふことがあります。

リアルな柄印刷で迫力ある太古の恐竜世界を再現。  
組立式パノラマステージでジオラマが簡単に完成。



専営歌・日・美工・色票・装演・撮影・手藝・各類圖書期刊

・古瓏驛企業有限公司 高雄市新興區華南路42-1號  
郵撥帳號：41560159 戶名：古瓏驛企業有限公司  
TEL:(07)2358849 FAX:(07)2358838  
E-mail: jade.ford@msa.hinet.net  
・台南店 台南市長榮路二段55號1樓  
TEL:(06)2752759 FAX:(06)2753938  
・古通今股份有限公司 台北市重慶南路一段63號4樓  
郵撥帳號：19178347 戶名：古通今股份有限公司  
TEL:(02)23148603 FAX:(02)23618589  
E-mail: ewgbooks@ms10.hinet.net

区内店1-35-4 TEL.03-3882-8161(代) FAX.03-3888-9604  
市新寧町1-15-3 TEL.0729-97-8455 FAX.0729-98-5405  
手町熊田1202 TEL.0561-61-1801 FAX.0561-61-1803  
区本通り4丁目南1-10 TEL.011-864-5125 FAX.011-864-2621  
中1丁目6-16 第1館ビル1F TEL.082-273-2830 FAX.082-273-2837  
名島2丁目28-14 TEL.092-671-4833 FAX.092-671-4702